

# 京都私立病院報

No.739－臨

一般社団法人 京都私立病院協会

## 第11回通常総会

開催日時 2023年5月24日（水）

午後3時30分

開催場所 ホテル日航プリンセス京都

# 一般社団法人京都私立病院協会第11回通常総会

開催日時 2023年5月24日〔水〕 午後3時30分  
開催場所 ホテル日航プリンセス京都

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

### 3. 議長選出についての提案

### 4. 議長挨拶

### 5. 議 事

議事録署名人の選任について

#### 【協議事項】

- 第1号議案 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに  
正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件 (P.121)
- 第2号議案 一般社団法人京都私立病院協会定款の変更に関し承認を求める件 (P.138)
- 第3号議案 一般社団法人京都私立病院協会第6期役員の選出に関し承認を求める件 (P.148)
- 第4号議案 一般社団法人京都私立病院協会第6期会長及び副会長候補者の選出に関し  
承認を求める件 (P.149)

#### 【報告事項】

- 第1号報告 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会事業報告について (P. 1)
- 第2号報告 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会公益目的支出計画  
実施報告について (P.136)
- 第3号報告 令和5年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について (P.150)
- 第4号報告 令和5年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに  
正味財産増減予算書について (P.155)

### 6. 閉 会

# 第11回通常総会を迎えて

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎

京都私立病院協会第11回通常総会を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

会員並びに関係者の皆様には令和4年度も当協会に多大なるご支援・ご協力を頂き、会務を円滑に進めることができましたことを心より御礼申し上げます。

本総会では、協議事項として定款変更、令和4年度の歳入歳出決算、第6期役員の選出、第6期会長及び副会長候補者の選出をご提案するとともに、令和4年度事業に係る各報告、令和5年度事業計画・予算をご報告いたします。皆様のご審議を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、我々民間医療機関は、令和4年度も新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、オミクロン株 BA.1/2系統主体の第6波の下降局面、同株 BA.5系統主体の第7波・第8波の流行を経験しました。京都府内の医療提供体制は、各病院の努力により、令和4年度末で軽症から中等症に対応する入院病床は1,027床、重症病床は175床（うち、高度重症病床51床）にまで拡大し、隔離解除後の療養支援、外来診療・検査体制の充実、ワクチン接種にもご協力を頂きました。当協会では、令和3年度に続いて令和4年度も一年間を通して、会員施設等のご協力を得て京都府の宿泊療養施設、京都市のワクチン集団接種会場への医療従事者の派遣を行いました。しかし、特に第7波では、これまでの波を上回る規模で感染が拡大し、医療がひっ迫する事態となりました。感染者に占める重症患者、死亡者の割合は減少したものの、感染拡大時における医療のひっ迫は避けられず、我々は運営面、財政面でも大きな負担を強いられていることに変わりはありません。令和4年度の冬のシーズンは、新型コロナウイルス感染症のみならず、3年ぶりにインフルエンザが流行しており、様々な感染症との同時流行にも備えておかねばなりません。

こうした中、国は本年5月8日からの5類感染症への移行を決め、これに伴い、幅広い医療機関で診療できる医療体制、入院医療コントロールセンターから医療機関間による入院調整へと段階的に移行し、患者負担、医療機関への公費支援も段階的に縮小することを示しました。社会経済活動はコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、我々は診療体制の充実、医療機関同士の更なる連携体制の構築が求められるとともに、公費支援が縮小されることにより、大変厳しい経営を迫られることは必至です。

これに追い打ちをかけるように、物価高騰も医療機関の経営に深刻な影響を及ぼしています。公定価格が決まっている保険診療においては、コスト増を価格に転嫁することはできません。当協会が実施した調査においても、殆どの医療機関で物価高騰による影響を受けていることが明らかとなり、京都府、京都市に財政的な支援を求める緊急要望を行いました。これに対し、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した支援が行われましたが、交付金でコスト増を賄うことはできず、持続性、且つ、実効性のある対応を要望しているところです。

地域医療構想は、2025年に目指すべき医療提供体制まで、2年を切りました。京都府では病床

の機能分化と連携が少しずつ進められてきたものの、計算上では、未だ急性期機能の病床が多く、回復期機能の病床が少ない状況です。国は、公立・公的病院のみならず、民間病院も含めて「自院の機能・規模が、地域医療構想に照らして妥当なものとなっているのか」を再検証し、一定の診療実績が少ない場合、診療実績の類似する病院が近接する場合は再編統合を検討することを求めています。また、在宅医療の大幅な増加見込みへの対策、更には令和5年度に延期となった外来機能報告、紹介受診重点医療機関の協議への対応も必要となっています。

これまで、新型コロナ対応、地域医療構想の推進ともに、会員施設が京都府内の各地域で大きな役割を果たしてきたことは述べるまでもありませんが、こうした新たな課題にもしっかりと対応していくことが自院の存在意義を更に高めていくことに繋がると考えます。その実現のために、当協会では今後も会員施設の機能向上、会員施設に従事する方々のスキルアップ、京都府内の医療に関わる課題解決に鋭意取り組んでまいります。

令和5年度は、令和6年度からの京都府保健医療計画や高齢者健康福祉計画等の見直しに向けての議論に参画し、保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応し得る計画となるよう民間病院の立場から意見を述べるとともに、診療報酬・介護報酬の同時改定に向け、その対策も含めて、迅速な情報収集・情報発信に努めたいと考えております。医師の時間外労働の上限規制適用は、令和6年4月からの開始まで待ったなしの状況であり、当協会が京都府より受託運営する京都府医療勤務環境改善支援センターでは、病院の宿日直許可の取得、特例水準の申請病院には医療勤務環境評価センターによる評価受審、京都府への指定申請もサポートし、京都府内の全ての病院が上限規制適用までに間に合うよう支援を続けていますので、是非とも京都府医療勤務環境改善支援センターをご活用いただきますようお願いいたします。

その先の2030年に向けては、全国医療情報プラットフォームの創設、電子カルテ情報の標準化、診療報酬改定DXを同時並行で進めていくとする医療DXが始動しています。オンライン診療はコロナ禍で急速に普及し、医療機関同士、行政その他関係機関との連携も情報通信技術が活用されています。令和5年1月からは電子処方箋が運用開始となり、4月からのオンライン資格確認システムの原則導入義務化にも対応しなければなりません。医療DXに向けた技術導入のみならず、セキュリティ対策も合わせて取り組んでいく必要があります。

医療を取り巻く課題は山積していますが、当協会では、会員施設の研鑽の場、相互連携を深める機会を積極的に確保するとともに、会員の皆様と共に考え、京都府、京都市、関係機関とも連携して解決に向けて尽力する所存ですので、今後とも皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 第1号報告

# 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会 事業報告について

### 【総務部】

I	組織の現状と執行体制	
A	会員関係	4
B	役員及び業務分担	4
C	第10回通常総会	7
D	理事会	7
E	幹事会	7
II	会員相互の連携と組織強化	
A	表彰	8
B	事務長会	9
C	看護部長会	14
D	薬剤師部会	17
E	放射線技師部会	18
F	臨床検査部会	19
G	栄養士部会	20
H	リハビリテーション部会	21
I	臨床工学技士部会	22
J	部会連携会議	23
K	全体会議	23
L	創立58周年記念式典	24
M	新春会員懇親会	24
III	情報活動	
A	協会ホームページ	24
B	ファックス通信	25
IV	病院職員の確保対策への取り組み	
A	看護師等養成事業	25
B	メディワークセンター事業	26
V	環境問題・禁煙推進等の取り組み	27
VI	病院団体との交流	
A	近畿病院団体連合会	27
B	中央における病院団体	28
VII	京都府内における医療関係団体との連携	
A	京都府医師会	29
B	京都府病院協会	30
C	京都精神科病院協会	31
D	京都府慢性期医療協会	31
E	その他	32
VIII	行政への対応	
A	京都府	34
B	京都市	38

IX	関係団体との連携	39
X	職員人事（令和5年4月1日現在）	
A	京都私立病院協会	39
B	京都保健衛生専門学校	40
C	京都府病院協同組合	40
D	京都府病院企業年金基金	40
E	（専）京都中央看護保健大学校	40

## 【保険部】

I	医療保険	
A	医療保険をめぐる状況	42
B	入院基本料等施設基準	42
C	生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会い	43
D	診療報酬委員会	43
II	介護保険	
A	介護保険をめぐる状況	43
B	介護保険委員会	44
C	介護サービス第三者評価事業	45
D	京都市新規介護認定調査事業	46

## 【地域医療部】

I	地域医療構想への取り組み	
A	地域医療構想をめぐる状況	48
B	地域医療構想検討委員会	48
II	救急・休日・時間外診療体制の推進	
A	京都府下における二次病院群輪番制	49
B	京都府周産期医療情報システム	51
C	京都府精神科救急医療システム	52
D	京都府救急医療情報システム	52
III	救急医療への取り組み	
A	救急医療をめぐる状況	53
B	救急医療検討委員会	53
C	交通事故医療	54
D	災害医療	54
IV	医療安全対策への取り組み	
A	医療安全対策をめぐる状況	55
B	医療安全対策委員会	55
V	感染症対策への取り組み	
A	感染症をめぐる状況	56
B	感染症対策委員会	58
VI	京都式地域包括ケアシステムの推進	
A	在宅療養あんしん病院登録システム	60
B	府民リハビリテーション啓発支援事業	61
C	病院認知症対応力向上事業	63
D	病院地域包括ケアシステム強化事業	70
E	地域連携型在宅医療支援病院事業	72

Ⅶ 人材確保・定着への取り組み	
A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業	73
B 医療労務管理支援事業	75
C 勤務医勤務環境改善体制整備事業	76
D 看護人材早期復職支援事業	76
E きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム	79
F 京都市離職看護師能力再開発事業	80
G これからの社会保障を考えるセミナー	80
H 医療従事者勤務環境改善体制整備事業	81
I 医療従事者確保強化事業	82

### 【学術研修部】

Ⅰ 京都病院学会	
A 第57回京都病院学会	86
B 第58回京都病院学会の開催に向けて	87
Ⅱ 教育・研修	
A 教育研修基礎コース	88
B 看護卒後教育	88
C 保健医療管理者養成講座	91
D 医師臨床研修・専門医制度への取り組み	92

### 【経営管理部】

Ⅰ 病院経営	
A 民間病院に対する補助制度への対応	93
B 融資斡旋	93
Ⅱ 病院管理	
A 環境問題委員会	94
B 会員病院との情報ネットワークシステム	95
C 病院機能向上委員会	95
D 情報セキュリティ向上対策事業	96
Ⅲ 税制	98

### 【厚生部】

Ⅰ 会員交流	
A 第58回病院対抗野球大会	99
B 第43回病院対抗バレーボール大会	99
C 第15回病院対抗フットサル大会	99
D 第9回会員親睦ゴルフコンペ	99
Ⅱ 京都私立病院報	100

【政策委員会】	101
---------	-----

【京都府地域医療介護総合確保基金(京都私立病院協会実施分)の説明】	102
-----------------------------------	-----

### 〈参考〉

学校法人京都保健衛生専門学校	104
京都府病院協同組合	108
京都府病院企業年金基金	109
学校法人京都中央看護師養成事業団	111

# 【総務部】

## I 組織の現状と執行体制

### A 会員関係

1 会員数	令和5年3月31日現在		
	会 員	135施設	
	特別会員	9施設	
2 病床数（介護医療院は療養床数）	令和4年3月31日現在		
	会 員	一 般	13,768床
		療 養	3,245床
		精 神	4,845床
		結 核	12床
		介護医療院	2,375床
		計	24,245床
	特別会員	一 般	19床
		計	19床
3 入 会			
	聖ヨゼフ医療福祉センター		令和5年1月
	京都新町病院		令和5年2月
4 退 会			
	森産婦人科医院		令和4年7月

### B 役員及び業務分担

1 役 員			
会 長	清水鴻一郎	副会長	久野 成人
副会長	富士原正人	副会長	武田 隆久
副会長	富田 哲也	副会長	小森 直之
副会長	石丸 庸介	副会長	藤澤 明生
副会長	真鍋 由美		
理 事	茨木 孝二	理 事	近藤 泰正
理 事	清水 聡	理 事	清水 史記
理 事	畑 典男		
幹 事	赤木 博	幹 事	明石 純
幹 事	市場 真澄	幹 事	菊地 三弥
幹 事	児玉 直俊	幹 事	武田 敏也

幹事 仲田 昌司

監事 大槻 秧司

監事 津田 政典

顧問 大川原康夫

監事 清水 紘

顧問 武田 隆男

## 2 業務分担

### <政策委員会>

清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美

### <渉外・広報>

清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久

### <総務部>

部長／武田隆久 副部長／小森直之

#### ・地区別組織

- 1) 京都市域／武田隆久
- 2) 北部地区／富士原正人
- 3) 南部地区／石丸庸介

#### ・職種・職務別組織

- 1) 事務長会／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司
- 2) 看護部長会／石丸庸介、藤澤明生
- 3) 薬剤師部会／畑 典男
- 4) 放射線技師部会／菊地三弥
- 5) 臨床検査部会／武田敏也
- 6) 栄養士部会／児玉直俊
- 7) リハビリテーション部会／児玉直俊
- 8) 臨床工学技士部会／武田敏也
- 9) 部会連携会議／明石 純、茨木孝二

#### ・ネットワークセンター事業運営委員会／畑 典男、市場真澄、仲田昌司

#### ・近畿病院団体連合会委員会／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美

#### ・近畿病院団体連合会事務長会／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司

#### ・四病院団体協議会／武田隆久、小森直之

### <保険部>

部長／久野成人 副部長／富士原正人

- ・診療報酬委員会／富士原正人、仲田昌司
- ・介護保険委員会／久野成人、茨木孝二、赤木 博、菊地三弥
- ・介護サービス第三者評価事業／久野成人、赤木 博

- ・京都市新規要介護認定調査事業／久野成人、赤木 博

#### <地域医療部>

部 長／武田隆久 副部長／富田哲也

- ・地域医療構想検討委員会／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美
- ・救急医療検討委員会／武田隆久、富士原正人、清水 聡、清水史記
- ・二次病院群輪番制／京都市域：清水史記  
山城北：石丸庸介
- ・感染症対策委員会／清水 聡、清水史記、菊地三弥
- ・医療安全対策委員会／小森直之、武田隆久
- ・医療事故調査制度／富士原正人、小森直之
- ・在宅療養あんしん病院登録システム／久野成人、富士原正人
- ・府民リハビリテーション啓発支援事業／富士原正人、武田隆久、児玉直俊
- ・医師臨床研修／武田隆久、清水 聡
- ・病院認知症対応力向上事業／武田隆久、富田哲也、近藤泰正、畑 典男
- ・看護人材早期復職支援事業検討委員会／富士原正人、武田隆久、茨木孝二
- ・看護職確保プロジェクトチーム／茨木孝二
- ・離職看護師能力再開発事業／石丸庸介、藤澤明生
- ・京都府医療勤務環境改善支援センター／清水鴻一郎、石丸庸介、真鍋由美、清水 聡、清水史記
- ・医療労務管理支援事業／清水鴻一郎、石丸庸介、真鍋由美、清水 聡、清水史記
- ・医療従事者キャリア向上事業／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美
- ・医療従事者勤務環境改善体制整備事業／武田隆久、仲田昌司
- ・医療従事者確保強化事業／畑 典男、茨木孝二
- ・病院地域包括ケアシステム強化事業／久野成人、近藤泰正、菊地三弥
- ・地域連携型在宅医療支援病院事業／石丸庸介、武田隆久、富士原正人

#### <学術研修部>

部 長／石丸庸介 副部長／藤澤明生

- ・京都病院学会理事会／清水鴻一郎、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美、近藤泰正、清水 聡、清水史記
- ・看護卒後教育／石丸庸介、藤澤明生
- ・幹部教育（中堅幹部職員研修）／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司
- ・初級教育（教育研修基礎コース）／真鍋由美  
北部地区：富士原正人
- ・保健医療管理者養成講座運営委員会／石丸庸介、真鍋由美、清水史記

## <経営管理部>

部長／藤澤明生

- 環境問題委員会／藤澤明生、市場真澄、明石 純
- 病院機能向上委員会／富士原正人、明石 純、武田敏也
- 税制・補助金／小森直之、武田隆久、明石 純

## <厚生部>

部長／富士原正人

- 私病報編集委員会／近藤泰正
- 野球大会実行委員会／市場真澄
- バレーボール大会実行委員会／真鍋由美
- フットサル大会実行委員会／武田敏也
- 会員親睦ゴルフコンペ／富士原正人、茨木孝二

## C 第10回通常総会

令和4年5月25日 於：リーガロイヤルホテル京都

### 【協議事項】

- 第1号議案 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件

### 【報告事項】

- 第1号報告 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会事業報告について  
第2号報告 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会公益目的支出計画実施報告について  
第3号報告 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について  
第4号報告 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに正味財産増減予算書について

審議の上、全議案が承認可決された。

## D 理事会

理事会は理事・監事をもって構成しており、令和4年度は計3回開催した。

協会の定款に基づき、理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議・協議した。

第5期：(Web併用) 第4回(4/27)、第5回(11/16)、第6回(3/15) 計3回開催

## E 幹事会

幹事会は理事、幹事、監事で構成し、毎月第1、第3水曜日を定例開催日として協会の定款に基づき、協会の各委員会等が提案する意見・報告、日常会務の運営に関する事項を審議・協議した。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響下において民間病院が直面している課題解決に向

けた要望書や光熱費・食材費等に関する緊急要望、医療・介護に関わる京都府・京都市予算、その他関係する事案について、幹事会で協議し、積極的に意見・提言を行った。

第5期：(Web併用) 第17回(4/6)～第36回(3/15) 計19回開催

[要望書]

・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望 5/26 (資料1)

・民間病院における光熱費(電気・ガス・燃料)及び食材費に関する緊急要望 10/20 (資料2)

[その他]

・2024年9月28日から29日に国立京都国際会館で開催の「第65回全日本病院学会 in 京都」は、全日本病院協会京都府支部の事務局を担う京都私立病院協会が、2024年に迎える協会創立60周年の記念事業の一環として学会運営を担うこと並びに学会役員を京都私立病院協会役員が担うことを決定した。

## Ⅱ 会員相互の連携と組織強化

### A 表彰

国や地方自治体等より依頼のある各種表彰の推薦を行い、会員関係では以下の方々が表彰された。(敬称略、所属・職名は表彰日現在)

◇産科医療功労者厚生労働大臣表彰

川俣 潔(京都田辺中央病院産婦人科部長・当協会推薦)

◇公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰

畑 典男(長岡病院院長・当協会推薦)

◇公衆衛生事業功労者・一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

土井章一(京都桂病院元化学療法部部长・当協会推薦)

◇優良看護職員厚生労働大臣表彰

矢田貴子(堀川病院看護部長・当協会推薦)

◇京都府保健医療功労者表彰

個人の部/久野成人(京都久野病院理事長・当協会推薦)

団体の部/京都ルネス病院(福知山市・当協会推薦)

◇京都府救急医療功労者表彰

個人の部/近藤泰正(堀川病院理事長・当協会推薦)

武田 純(武田病院院長)

団体の部/宇治武田病院(宇治市・当協会推薦)

太秦病院(右京区)

◇京都府看護功労者表彰

中澤美知子(なぎ辻病院看護部長・当協会推薦)

後藤幸代(宇治武田病院看護部長)

南田喜久美（京都九条病院看護部長）

## B 事務長会

事務長会は、常任委員会を中心として各種事案を協議するとともに、教育・研修部会、総務・企画部会、調査・研究部会の3つの部会体制のもと、日常業務等に係る諸問題への対応に取り組んでいる。

### 1 常任委員会

常任委員会は、事務長会の中核機関として、事務長会独自の企画はもとより、幹事会をはじめ協会内各委員会からの要請事項に対応するなど、多くの案件について協議・検討を行っている。

また、医療情勢を分析しながら情報交換なども活発に行い、病院医療が直面する諸問題に対し、解決を求める努力を重ねている。

幹事会方針に基づいた各種事業にも積極的に参画し、多くの委員会等に代表を派遣するなど全面的な協力体制を取るとともに、各会員病院の病院経営および日常業務の向上に資するべく活動を行った。

#### <役員>

委員長：茨木孝二（亀岡病院）

副委員長：山田正明（堀川病院）、市場真澄（いわくら病院）、仲田昌司（三菱京都病院）、  
中川正之（なごみの里病院）、金岩孝也（京都民医連中央病院）、  
廣瀬良太（洛和会音羽病院）

常任委員：浅田 淳（長岡病院 ～令和4.5）、麻田博之（蘇生会総合病院）、  
荒井達雄（シミズ病院 ～令和4.5）、池内研二（医聖会本部）、  
上垣昭宏（宇治武田病院）、小嶋明彦（もみじヶ丘病院）、海藻 達（京都回生病院）、  
坂本裕里（相馬病院）、篠田浩之（京都桂病院）、末廣健児（京都田辺中央病院）、  
杉浦隆史（京都南病院）、谷口明弘（洛西ニュータウン病院 令和4.6～）、  
中野 哲（長岡病院 令和4.6～）、藤井本龍弘（桃仁会病院 ～令和4.5）、  
古田智史（京都博愛会病院）、益野秀樹（京都久野病院）、  
三好智和（京都九条病院 令和4.6～）、山口浩二（京都ルネス病院）、  
山口寛士（京都リハビリテーション病院）

#### <各委員会への派遣委員>

- ・メディワークセンター事業運営委員会：山口浩二、麻田博之
- ・救急医療検討委員会：末廣健児、篠田浩之
- ・医療安全対策委員会：坂本裕里、山口寛士
- ・看護人材早期復職支援事業検討委員会：益野秀樹
- ・京都府医療勤務環境改善支援センター事業運営委員会：山田正明、古田智史
- ・医師事務作業補助者研修会運営委員会：廣瀬良太、荒井達雄（～令和4.5）、杉浦隆史、上垣昭宏、  
三好智和（令和4.6～）
- ・診療報酬委員会：篠田浩之、海藻 達

- ・介護保険委員会：中川正之
- ・保健医療管理者養成講座運営委員会：池内研二
- ・教育研修基礎コース（北部地区）：小嶋明彦
- ・環境問題委員会：金岩孝也
- ・病院機能向上委員会：山口寛士（～令和4.5）、三好智和（令和4.6～）
- ・私病報編集委員会：藤井本龍弘（～令和4.5）、浅田 淳（～令和4.5）、山口寛士（令和4.6～）、  
中野 哲（令和4.6～）
- ・会員親睦ゴルフコンペ実行委員会：山田正明、上垣昭宏
- ・中堅幹部職員研修会プロジェクトチーム：茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、  
中川正之、小嶋明彦、山口浩二、末廣健児
- ・医事業務研修会プロジェクトチーム：茨木孝二、山田正明、市場真澄、金岩孝也、廣瀬良太、  
荒井達雄（～令和4.5）、海藻 達、杉浦隆史、  
谷口明弘（令和4.6～）
- ・事務職のためのマネジメント研修プロジェクトチーム（令和4.6～）：  
仲田昌司、中川正之、小嶋明彦、山口浩二、末廣健児、池内研二、坂本裕里、上垣昭宏
- ・南部地区事務長会：末廣健児、上垣昭宏
- ・北部地区事務長会：小嶋明彦、山口浩二

#### a 定例委員会

毎月第2金曜日を定例日とし開催している。令和4年度は新型コロナウイルスの影響下であったが、ウェブでの開催形式も取りながら、9回の委員会を開催した。また、毎回事前に正副委員長会議を開き、委員会の運営等に関して協議している。委員会では、種々の企画立案をはじめ、情報・意見交換を行い、私病協ならびに各病院の抱える諸問題の解決に努めた。さらに、常任委員会のメーリングリストを活用し、病院運営や人事労務に関する内容等、日常業務における課題や悩みについて、積極的に情報の交換・共有、提供を行った。

また、委員会での主な協議事項については、必要に応じ会員病院の事務長に報告した。

開催日：(Webのみ) 4/8 6/10 7/8 9/9 (Web併用) 10/14 1/13

(会場のみ) 11/11 12/9 3/10 計9回

#### b 総会 5月13日 於：私病協会議室（Web併用）

令和3年度の事業報告ならびに令和4年度の事業方針等について承認された。

#### c 全体会議

\*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

#### d 研修会

##### 1) 2月14日 於：私病協会議室（Web併用）

会場参加/10名 オンライン参加申込/90名 計100名

テーマ/「次世代事務長に必要な資質とその育成手法」

講師/裴 英洙（ハイズ株式会社代表/慶應義塾大学大学院特任教授）

e 他府県病院協会事務長会との交流

1) 近畿病院団体連合会事務長会

・第1回 9月30日 於：オンライン開催

提案議題：

テーマ①「電気・ガス料金等の高騰による病院経営への影響と経費削減の取り組みについて」

テーマ②「医師の働き方改革について」

特別講演：

テーマ／「万葉集入門 - 飛鳥・藤原・平城 -」

講師／阪口由佳（奈良県立万葉文化館主任研究員）

・第2回 3月9日 於：オンライン開催

提案議題：

テーマ①「地域医療構想の推進及び医療法人の経営情報データベースの構築について」

テーマ②「コロナ禍における看護師・看護助手の確保状況について」

特別講演：

テーマ／「初心者のための能楽講座」

講師／金春穂高（重要無形文化財能楽総合指定保持者）

2 部会活動

a 教育・研修部会

1) 部長／山田正明

副部長／廣瀬良太

部員／麻田博之、荒井達雄（～令和4.5）、海藻 達、末廣健児、谷口明弘（令和4.6～）、  
藤井本龍弘（～令和4.5）、三好智和（令和4.6～）

2) 開催日 （Webのみ）6/10 7/8 9/9 （会場のみ）10/14 11/11 1/13 3/10

3) 主な活動

会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや、病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした以下の研修会の企画・検討を行った。

（1）事務長会研修会「次世代事務長に必要な資質とその育成手法」（計1回）

b 総務・企画部会

1) 部長／仲田昌司

副部長／金岩孝也

部員／浅田 淳（～令和4.5）、池内研二、坂本裕里、杉浦隆史、中野 哲（令和4.6～）、  
山口寛士

オブザーバー／茨木孝二

2) 開催日 （Webのみ）6/10 7/8 9/9 （会場のみ）10/14 11/11 3/10

3) 主な活動

（1）事務長会総会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。

(2) 日常業務等に関わる各種調査(以下4件)を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。

- ・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について (8月実施)
- ・ 入院時食事療養費について (8～9月実施)
- ・ 看護職員処遇改善手当について (10月実施)
- ・ 冬期賞与の支給状況について (12～1月実施)

c 調査・研究部会

1) 部長／市場真澄

副部長／中川正之

部 員／上垣昭宏、小嶋明彦、篠田浩之、古田智史、益野秀樹、山口浩二

2) 開催日 (Webのみ) 6/10 9/9 (書面) 7/8 (会場のみ) 11/11 3/10

3) 主な活動

(1) 令和3年度分経営分析調査の実施とその集計

10月実施 協力54病院

平成3年度の調査も、前年度と同じ調査項目を用いて実施した。調査の集計結果には解説を添付し協力病院に発送した。

(2) 令和4年度分賃金労働条件等実態調査の実施とその集計

10月実施 協力68病院

集計表の頒布開始 3月31日

d 医事業務研修会プロジェクトチーム

医事業務研修会は、事務長会メンバーで構成されたプロジェクトチームで研修の内容について企画・検討を行っている。令和2年度からは、研修内容を、従来の医事業務研修会のカリキュラムの一つとして実施していた「診療報酬請求事務能力向上勉強会」のみに絞り、クラス別(入院・外来・初心者)に、半日の単発研修を各クラス2～3日間、計7日間の日程で開催した。

1) プロジェクトチーム会議

開催日 (Webのみ) 5/30 10/7 1/30 計3回

\* 打ち合わせ会議 (会場のみ) 7/29 8/16 8/22 9/12 9/29 10/13

2) 研修会

開催日／(入院クラス) ①10月17日 ②10月24日

(外来クラス) ①9月26日 ②10月31日

(初心者クラス) ①10月21日 ②10月25日 ③11月17日

会 場／私病協会議室

参加者／46施設99名

講 師／浅田健文(京都桂病院医事2課係長)、佐々木良太(いわくら病院医事課課長)、  
山越心輔(京都南病院医事課係長)、稲本哲也(医仁会武田総合病院医事部3課係長)、  
国場翔一(亀岡病院医事課課長)、  
真下 崇(医仁会武田総合病院医事部2課課長代理)、

川口尚子(堀川病院医事課課長)、桑子ふみ(京都民医連中央病院診療事務課副主任)、  
二瓶由希彦(洛和会音羽病院管理課課長)

e 事務職のためのマネジメント研修プロジェクトチーム

令和4年度に新しく立ち上げた本チームは、事務長会のメンバーで構成され、事務職のためのマネジメント研修の企画立案および運営を担当している。

本研修会は、事務のエキスパートとして活躍するために必要な基礎的知識や、組織の一員としてのあり方を学ぶとともに、自院の組織活性につながるヒントを得ることを研修会の目標として、オンラインによる講義およびグループディスカッションの計4コマ・2日間のカリキュラムで実施した。

1) プロジェクトチーム会議

開催日 (Webのみ) 9/28 2/13 計2回

2) 研修会

開催日 / (Webのみ) ①3月14日 ②3月16日

参加者 / 26施設41名

研修内容 / ①テーマ / 「事務職としての他部門との関わり方・事務長会の紹介」

講師 / 茨木孝二 (亀岡病院理事・事務長会常任委員会委員長)

②テーマ / 「『組織』をどのように考えるか」

講師 / 松原為人 (京都民医連中央病院院長)

③テーマ / 「アンガーマネジメント～心身のリフレッシュのために」

講師 / 林 たみ子 (洛和会音羽病院臨床心理室主席課長)

④情報交換会

\* 地域医療構想について

説明 / 「地域医療構想 (京都府地域包括ケア構想)

— 京都府の人口・患者動態から — (事務局)

3 地区活動

a 南部地区事務長会

宇治・城陽・八幡・京田辺・久御山・精華地区会員21施設を対象とする南部地区事務長会を開催し、地域固有の話題をはじめ、医療情勢、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行った。

開催日 (Webのみ) 6/30 (会場のみ) 12/13 於: 宇治市産業会館 計2回

b 北部地区事務長会

中丹、丹後地区の会員11施設を対象とする北部地区事務長会を開催し、医療情勢、経営管理全般にわたる問題や北部地区固有の問題について協議・情報交換した。

開催日 (会場のみ) 10/21 於: ホテルロイヤルヒル福知山

3/17 於: 天橋立ホテル 計2回

c 京都・乙訓・南丹地域

今年度より、南部・北部地区以外の府内会員施設を対象とした事務長会を4ブロックに分けて開催し、医療情勢、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行うとともに、施設間の連携強化を図った。

開催日（すべて会場のみ）

北区・上京区・左京区ブロック 3/7 於：堀川病院

中京区・下京区・南区ブロック 10/25 於：喜美商事ビル

山科区・東山区・伏見区ブロック 10/20 於：喜美商事ビル

右京区・西京区・向日市・長岡京市・亀岡市・南丹市・船井郡ブロック

11/25 於：三菱京都病院

## C 看護部長会

令和4年度は定例会を約2か月に1回、Zoom ミーティングを使用してハイブリット形式にて開催した。ハイブリット形式でも従来通り各研修会、関係事業所からの報告・地域医療構想の説明に加え、タイムリーな情報提供及び情報交換を行った。

<役員>

部会長：南 京子（新京都南病院）

副部会長：矢田貴子（堀川病院）、小河陽子（京都きづ川病院）、

畑田宏美（シミズ病院 ～令和4.10 洛西ニュータウン病院 令和4.11～）

担当役員：石丸庸介、藤澤明生

### 1 総会

開催日 5月27日 於：京染会館（Web併用）

### 2 定例会

開催日 （Web併用） 4/20 5/27 7/26 9/20 11/21 1/17 3/22 計7回

### 3 相互研修

4月「2022年度改定と看護部への影響」（講演）

講師／濱中洋平（株式会社日本経営NKアカデミー事業統括マネージャー）

7月「令和4年度診療報酬改定を受けての取り組み」（事例発表）

事例／①「感染対策向上加算1について」

②「看護補助体制充実加算取得のための職員への院内研修について」

講師／①谷口文代（京都桂病院看護部長）

②田中雅子（川越病院看護部長）

9月「看護と法律～管理者として知っておきたい法的知識」（講演）

講師／友納理緒（弁護士・看護師）

11月 看護管理者リフレッシュ研修を相互研修として開催

3月「看護部長のナラティブ」（事例発表）

発表者／衣川あおい（綾部ルネス病院看護部長）

永野裕子（吉川病院看護部長）

永島直俊（丹後中央病院看護部長）

## 5 委員会活動

### a 総務委員会

令和4年度は定例会・相互研修の検討・企画・運営を行った他、「看護補助者の活用と成長支援」をテーマに看護補助体制充実加算の所定の研修となる看護管理者研修、看護管理者リフレッシュ研修を企画、運営した。新規研修として、京都府生涯現役クリエイティブセンターが開催しているリカレント研修の「医療人材（看護補助者）育成コース」を担当し、コース内容・企画等、全て総務委員会で検討の上、開催した。また、医療従事者確保強化事業の看護補助者確保推進事業として実施している一般市民を対象とした「看護補助者説明会」についても新たな動画撮影の企画・制作を行い、2回の動画配信を行った。当委員は教育委員会・福利厚生委員会の委員も兼ねており、各委員会の企画・運営に関しても検討した。

委員長：南 京子

委員：矢田貴子、小河陽子、畑田宏美、春日かほる（京都田辺中央病院）、谷口文代（京都桂病院）、桐畑宏子（西山病院）

開催日（Web併用） 4/20 5/27 7/26 9/20 11/21 1/17 3/22 計7回

### b 教育委員会

看護卒後研修の企画、開催形式の検討、運営を行った。

委員長：小河陽子

副委員長：春日かほる、谷口文代

委員：矢田貴子、長谷川寿子（京都博愛会病院）、田中雅子（川越病院）、浦野貴子（洛西シミズ病院 ～令和4.10 亀岡シミズ病院 令和4.11～）、山崎真奈美（西京都病院）、堤 恵子（京都南病院）、上山さゆみ（脳神経リハビリ北大路病院）、福島朋樹（新河端病院）、山本美紀（医仁会武田総合病院）、阿形奈津子（京都中央看護保健大学校）、谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校）

オブザーバー：南 京子

開催日（Web併用） 4/20 5/27 7/26 9/20 11/21 1/17 3/22 計7回

### c 福利厚生委員会

例年、会員病院の看護職相互の親睦を目的として研修旅行および懇親会などを企画しているが、令和4年度は中止となったため、看護部長同士がコロナ禍でも連携を持ち、つながることができる企画として5月は「振り返るな前を向こう看護部長 ～アフターコロナにやりたいこと～」、1月は「ちょっと教えて管理のコツ」をテーマにオンライン上で懇親会を開催した。

委員長：畑田宏美

副委員長：桐畑宏子

委員：松田保子（伏見岡本病院 ～令和4.5）高橋鈴子（相馬病院 ～令和4.5）、  
木村克美（蘇生会総合病院 ～令和4.5）、谷中淑恵（長岡京病院 ～令和4.10）、  
大塚安子（加藤山科病院 令和4.6～）、高比良伸子（同志社山手病院 令和4.6～）、  
岩田裕花（伏見岡本病院 令和4.6～）

オブザーバー：南 京子

開催日 （Web 併用） 4/20 9/20 11/21 1/17 3/22 計5回

## 6 研修旅行

\*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

## 7 懇親会

\*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

・オンライン上で懇親会を開催（5/27・1/17）

## 8 看護補助者説明会（企画・運営）

・詳細別記（Ⅵ 京都式地域包括ケアシステムの推進 H 医療従事者確保強化事業）

## 9 京都府生涯現役クリエイティブセンターリカレント研修「医療人材（看護補助者）育成コース」 （企画・運営）

・詳細別記（Ⅵ 京都式地域包括ケアシステムの推進 H 医療従事者確保強化事業）

## 10 看護管理者研修（Web 併用）

12月2日 於：京都経済センター

会場参加／10名 オンライン参加／85名

テーマ／「看護補助者の活用と成長支援」

内 容／①看護補助者活用に関する制度等の概要

－看護補助者の活用と業務改善から地域医療構想に対応する－

②看護補助者の雇用形態と処遇

③看護職員との連携と業務整理

④看護補助者の育成・研修・能力評価

講 師／①濱中洋平（株式会社日本経営 NK アカデミー事業統括マネージャー）

②松浦総太郎（株式会社日本経営組織人事コンサルティング部参事）

③矢田貴子（堀川病院看護部長）

④鳴海あゆみ（堀川病院副看護部長）

## 11 看護管理者リフレッシュ研修（Web のみ）

11月21日 オンライン参加申込／93名

テーマ／「ドラえもんは最後に何をした－生きる意味とスピリチュアルペイン－」

講 師／佐藤泰子（京都大学大学院人間・環境学研究科研究員）

## 12 各委員会への派遣委員

・私病報編集委員会：中澤美知子（なぎ辻病院）、佐伯昭子（西陣病院）

・ネットワークセンター事業運営委員会：桐畑宏子、細越万里子（がくさい病院）

- ・保健医療管理者養成講座運営委員会：木村克美（～令和4.5）、長谷川寿子（令和4.6～）
- ・環境問題委員会：高橋鈴子（～令和4.5）、矢田貴子、岩田裕花（令和4.6～）
- ・病院機能向上委員会：齋藤文代（宇治徳洲会病院）、塚本美晴（武田病院グループ）
- ・介護保険委員会：田中悦子（向日回生病院）、村中和美（木津屋橋武田病院介護医療院）
- ・感染症対策委員会：永野裕子（吉川病院）、谷口文代
- ・医療安全対策委員会：坂田 薫（京都民医連中央病院）
- ・救急医療検討委員会：南 京子（～令和4.5）、岩田裕花（～令和4.5）、坂田 薫（令和4.6～）、  
下岡美由紀（京都岡本記念病院 令和4.6～）
- ・診療報酬委員会：福島朋樹
- ・京都府医療勤務環境改善支援センター：高橋鈴子（～令和4.5）、和田めぐみ（六地藏総合病院）、  
岩田裕花（令和4.6～）
- ・看護人材早期復職支援事業検討委員会：植村ひかる（京都田辺中央病院）、山本美紀
- ・京都病院学会実行委員会：矢田貴子、畑田宏美（令和4.6～）

## D 薬剤師部会

薬剤師部会では、近年、高度・複雑化した医療に対応する為に日常業務の向上を図るとともに、病院経営に積極的に参加し、貢献することができる薬剤師の育成を目指し、各種研修会等を企画・運営している。

令和4年度は、京都府の担当者より麻薬等の取扱いについてご講演いただいた他、薬剤師と協働している施設の管理栄養士2名にご講演いただき、これからの多職種連携の一環を示す講演会を企画した。

また、薬剤師復職支援プロジェクトである「きょうと薬剤師サポートネット」と連携し、委員・講師を派遣し、リモートを駆使した動画配信セミナーをはじめ、プロジェクト充実のため全面的な協力を行った。

### 1 運営委員会

委員長：友沢明德（京都九条病院）

副委員長：橋元 誠（三菱京都病院）

委員：浅野育子（京都民医連あすかい病院）、大津山裕美子（洛和会音羽病院）、  
佐藤和生（日本バプテスト病院）、馬瀬久宜（医仁会武田総合病院）、  
守谷まさ子（綾部ルネス病院）、中井登代美（がくさい病院）、  
下田優作（京都久野病院）、藤井 亮（蘇生会総合病院）

担当理事：畑 典男

開催日 （Web併用） 5/26 9/2 10/28 2/20 計4回

### 2 主な活動

#### a 講演会

第105回 7月25日（WEB） オンライン参加申込／41名

テーマ／「麻薬・向精神薬・覚せい剤原料の取扱い」  
講 師／金附宏明（京都府健康福祉部薬務課技師）  
説 明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について  
－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」  
解 説／松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）

第106回 12月6日（WEB） オンライン参加申込／38名

全体テーマ／「広がる管理栄養士のお仕事～薬剤師も連携を進めよう！～」

テーマ／①「近くにいて頼りになる管理栄養士さんを目指して  
～がん患者さんとの関わり～」

②「管理栄養士の病棟業務 ～薬剤師との連携を考える～」

講 師／①片山影美子（京都九条病院栄養課課長）

②長谷川由起（洛和会音羽病院栄養管理室主席課長）

説 明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」（事務局）

#### b その他

医師事務作業補助者研修会への講師派遣

## E 放射線技師部会

当部会は技術革新が目覚ましい画像診断部門にあって、会員施設の診療放射線技師がその役割と責任を果たせるよう研鑽に励み、さらには相互に親睦・交流を深めることを目的に活動を展開してきた。令和4年度は「股関節のパテラホルン肢位と生殖防護」や「＜新人研修会＞はじめての方のためのMRIの基礎」をテーマに講演会を開催し、技術や知識の更なる向上を図った。

### 1 運営委員会

委員長：小池義雄（蘇生会総合病院）

副委員長：永田哲朗（新河端病院）、菊元力也（洛和会音羽病院）

委員：渡里 弘（京都九条病院）、茶谷和真（京都田辺中央病院）、

川越 聡（医仁会武田総合病院 ～令和4.10）、平井 靖（三菱京都病院）、

池信祐二（宇治徳洲会病院）、宇野 隆（京都博愛会病院）、森 吉修（京都桂病院）

担当役員：菊地三弥

開催日 （会場のみ）11/10 （Web併用）5/12 7/14 9/8 1/12 3/9 計6回

### 2 主な活動

#### a 講演会

第89回 8月23日 於：メルパルク京都（Web併用）

会場参加／10名 オンライン参加申込／44名 計／54名

テーマ／「股関節のパテラホルン肢位と生殖防護」

講 師／安藤英次（大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学院診療放射線技師学科専任教員）

説 明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

第90回 11月10日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／7名 オンライン参加申込／68名 計／75名

テーマ／「＜新人研修会＞はじめての方のための MRI の基礎」

講師／五十川侑加（キヤノンメディカルシステムズ株式会社 MRI アプリケーション担当）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

## F 臨床検査部会

当部会では、臨床検査技師が病院の質の向上に積極的に関与することを目指し、研修会の開催や情報発信を通じて、現場の臨床検査技師に求められる知識や技術の普及に努めている。

令和4年度は、6月と10月に医療統計講習会と題し、医療現場におけるパソコンソフトの活用方法に関する講習会を開催した。また、8月にはがんゲノム医療に関する講演会を開催した。

その他、医療関連の情報収集に取り組み、委員会での検討・報告議事については「臨床検査部会 FAX 通信」に取りまとめ、会員施設の臨床検査部門責任者に対して情報提供をしている。

### 1 運営委員会

委員長：西村和司（武田病院）

副委員長：江口光徳（宇治徳洲会病院）、小澤 優（京都保健衛生専門学校）

委員：下田浩史（堀川病院）、深澤武志（相馬病院）、山田宣幸（三菱京都病院）、  
増田哲也（愛生会山科病院）、増田信弥（京都民医連中央病院）

担当役員：武田敏也

開催日 （Web 併用） 5/26 9/22 11/24 1/26 3/23 （Web のみ） 7/28 計6回

### 2 主な活動

#### a 講習会

6月16日 於：京都保健衛生専門学校 参加者／昼の部12名 夜の部14名 計26名

テーマ／医療統計講習会（PowerPoint 初級編）

講師／増田健太（一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班）ほか

説明／「地域医療構想について」（事務局）

10月20日 於：京都保健衛生専門学校 参加者／昼の部14名 夜の部9名 計23名

テーマ／医療統計講習会（Excel 初級編）

講師／増田健太（一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班）ほか

説明／「地域医療構想について」（事務局）

#### b 講演会

第56回 8月10日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／13名 オンライン参加申込／27名 計40名

テーマ／「がんゲノム医療はチーム医療である～がんゲノム医療での各職種の関わり方～」

講師／柳田絵美衣（慶應義塾大学病院検査科ゲノム検査室）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

c その他の取り組み

臨床検査部会 FAX 通信 (No.166～ No.171) の送付

## G 栄養士部会

当部会は、入院中の食事療養が疾病治療の直接的手段の一部であることを認識し、栄養士・管理栄養士・調理師の質的向上と安全かつ良質な食事の提供、栄養管理業務のさらなる効率化と改善に向けた活動を展開している。

令和4年度は、9月に令和4年度診療報酬改定の栄養部門に関する研修会を開催し、改定項目の概要説明および新設・見直し項目の算定に関わる取り組み状況や課題等について情報交換を行った。2月には腸内細菌をテーマにした研修会を開催し、知識や技術の更なる向上を図った。また、令和元年度に作成した各会員施設で提供している嚥下食の食事形態の情報を一覧表として取りまとめた「京都私立病協会嚥下食一覧表」を更新するなど、最新の情報を提供できるように努めた。

さらには、タイムリーな話題に対して運営委員会にて相互の勉強会を行うなど、栄養部門を取り巻く状況を的確に把握し、会員に有用な情報提供ができるよう研鑽に努めている。

### 1 運営委員会

委員長：佐伯美和（伏見岡本病院）

副委員長：佐々木由美（洛和会東寺南病院）

委員：赤尾 志（宇治徳洲会病院）、熊田久美（なぎ辻病院）、福島由理（宇治おうばく病院）、杉本篤子（京都民医連中央病院）、松村明美（北山武田病院）

担当役員：児玉直俊

開催日 (Webのみ) 4/21 5/19 6/16 7/21 8/13 10/20 11/17 1/19 2/16

計9回

### 2 主な活動

#### a 研修会

第84回 9月15日 於：私病協会議室（Web併用）

会場参加／6名 オンライン参加申込／48名 計54名

テーマ／「令和4年度診療報酬改定～栄養部門における取り組みについて～」

講師／京都私立病院協会栄養士部会運営委員

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）

第85回 2月16日 於：私病協会議室（Web併用）

会場参加／2名 オンライン参加申込／26名 計28名

テーマ／「プレバイオティクスを使用した便秘対策－腸内細菌叢の視点から－」

講師／井戸由美子（京都女子大学家政学部食物栄養学科教授）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」（事務局）

b 京都私立病院協会嚥下食一覧表更新

c 相互学習

4月21日 新型コロナウイルス感染症による入院患者への食事提供方法と管理栄養士の関わり方について

5月19日 保健医療管理者養成講座での栄養管理部門に関する講義内容について報告

6月17日 栄養部門に関わる書類保管方法や厨房の衛生管理などについて

7月21日 訪問栄養指導の取り組み状況と指導の流れについて

8月18日 栄養科でクラスターが発生した際の対応方法について

10月20日 医療におけるやさしい日本語について

11月18日 昨今の物価上昇に対する病院での対応等について

1月19日 糖尿病教室の取り組み内容について

## H リハビリテーション部会

当部会では、会員施設に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の医療スタッフとしての質の向上を図ることを目的とし、リハビリテーション部門における診療報酬関係や日常業務に関する情報について活発に情報交換を行い、迅速に収集・分析し、会員に提供している。

令和4年度はリハビリテーション専門職の更なる資質向上につながる講演会や府民リハビリテーション啓発支援事業（詳細別記）の企画・運営への協力等を行った。

### 1 運営委員会

委員長：田村 篤（洛西シミズ病院）

副委員長：織田泰匡（同志社山手病院）、田後裕之（京都岡本記念病院）

委員：秋本喜英（医仁会武田総合病院）、荒木美奈子（京都民医連中央病院）、

大嶋孝司（京都リハビリテーション病院）、

大藪誠士（洛和会音羽リハビリテーション病院）、尾谷雅章（京都きづ川病院）、

岸本紀和（十条武田リハビリテーション病院）、

高岡佐和子（京都大原記念病院 令和4.4～）、

橋本幸典（京都大原記念病院 ～令和4.3）、山本佐知子（京都南病院）

担当役員：児玉直俊

開催日 (Web併用) 4/8 5/6 6/3 7/1 8/5 9/2 10/7 11/4 12/2  
1/6 2/3 3/3 計12回

### 2 主な活動

#### a 講演会

第27回 7/4（動画撮影） 7/13～7/27（動画配信） 参加申込者/134名

テーマ/「がん患者のリハビリテーション栄養」

講師/荒金英樹（愛生会山科病院消化器外科部長/京滋摂食・嚥下を考える会顧問）

説明/「地域医療構想について」（事務局）

第28回 10/13 (動画撮影) 10/24~11/7 (動画配信) 参加申込者/179名

テーマ/「こんな会話がイキイキした組織創り・部下育成をダメにする!

~せっかく導入した1on1やコーチングを木端微塵にするコミュニケーション~」

講師/椎木洋子 (社会医療法人有隣会東大阪病院リハビリテーション部長・作業療法士)

説明/「地域医療構想について」(事務局)

第29回 1/30 (動画撮影) 2/8~2/22 (動画配信) 参加申込者/134名

テーマ/「臨床研究 はじめ方」

講師/福岡真悟 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻准教授)

説明/「地域医療構想について」(事務局)

#### b その他の取り組み

- ・府民リハビリテーション啓発支援事業への協力
- ・リハビリテーション帳票マニュアルの改訂

## I 臨床工学技士部会

当部会では、会員施設に勤務する臨床工学技士の知識・技術の向上を図るとともに、臨床工学技士のいる、いないに関わらず、全ての会員施設における適正かつ安全な医療機器の使用・管理に資するべく、講演や研修等の企画・運営を行っている。

令和4年度は10月に、タスク・シフト/シェアの推進に関し、令和3年7月の臨床工学技士法一部改正により、臨床工学技士が新たに実施することが可能になった業務のポイント等についての内容で講演会を開催した。

### 1 運営委員会

委員長:井上 武 (医仁会武田総合病院)

副委員長:太田雅文 (宇治徳洲会病院)

委員:泉田洋志 (京都保健衛生専門学校)、藤井 耕 (京都民医連あすかい病院)、

垣谷圭祐 (洛和会音羽記念病院)、岡田忠久 (京都桂病院)、松田英樹 (西陣病院)

担当役員:武田敏也

開催日 (Web併用) 5/24 7/26 9/27 11/22 1/31 計5回

### 2 主な活動

#### a 講演会

10月15日 於:私病協会議室 (Web併用)

会場参加/5名 オンライン参加申込/37名 計/42名

テーマ/「臨床工学技士法改正による業務範囲の追加~法令の“解釈”を中心に~」

講師/青木郁香 (公益社団法人日本臨床工学技士会専務理事)

説明/「地域医療構想について」(事務局)

#### b 施設見学

1月31日 (オンライン見学会) 東レ株式会社

## J 部会連携会議

当協会の会員施設は様々な専門職で成り立っており、当協会の取組は病院に従事する職員全てに通じている。職種のみを取組にとどまらず全ての職種が連携して協会の目的を達成するべく、平成30年度より当協会と職能別部会（8部会）が一堂に会する部会連携会議を設置し、意見交換や課題の共有等を行い、各部会が協力し合って協会の各種事業を推進する体制づくりに努めている。

令和4年度は、職能別部会の代表者による運営委員会を開催し、部会連携会議全体会議の開催に向けての企画や部会同士の連携強化に向けての取組について協議した。全体会議では、各部会から多職種での相互協力事例、職種ごと、多職種での病院経営への貢献事例の発表を行うとともに、今後の職種間連携の更なる推進について意見交換を行った。

### 1 運営委員会

担当役員：明石 純、茨木孝二

委員：事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、栄養士部会、リハビリテーション部会、臨床工学技士部会の各職能別部会から代表者各1名

開催日 (Web 併用) 8/23

### 2 主な活動

#### a 全体会議

11月29日 於：からすま京都ホテル 参加者/28名

テーマ/「各部会の活動状況及び各職種間の協力関係の推進について」

発表者/茨木孝二、廣瀬良太（以上、事務長会）、南 京子（看護部長会）、

友沢明德（薬剤師部会）、小池義雄（放射線技師部会）、西村和司（臨床検査部会）、

佐伯美和、佐々木由美（以上、栄養士部会）、田村 篤（リハビリテーション部会）、

太田雅文（臨床工学技士部会）

テーマ/「部会連携会議の今後の運営について」

発表者/友沢明德

特別プレゼンテーション

テーマ/「脳卒中相談窓口のこれからの展開」

講師/宮本 享（京都大学医学部附属病院病院長）

b 部会連携会議 FAX 通信の発信（各種研修会の開催情報を取りまとめて会員へ発信）

c 協会ホームページ内の各種研修会の申込サイトの「お気に入り登録」の推進

d 第65回全日本病院学会 in 京都（令和6年9月28日・29日）への協力に関する申し合わせ

## K 全体会議

医療・介護に関する国の政策や動向等を会員に説明するとともに、協会の取り組みを報告し、更には会員相互の情報交換と各地域における諸問題を検討する目的で年1回開催している。

令和4年度も全体会議を開催し、会員への事業報告、各地域における課題等の意見交換、特別講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、「令和4年度上半期職務執行状

況報告書」(令和4年11月16日当協会理事会・幹事会で承認)の送付を以って令和4年度上半期の協会の取り組みの報告に代えるとともに、本報告や地域で抱える課題等についての意見を電話やE-mailで受け付けた。

## L 創立58周年記念式典

令和4年度は協会創立58周年を迎え、記念式典を開催した。協会設立以降58年間の協会の活動を振り返りながら、会員病院の発展と京都府民の安心・安全に努めることを誓った。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催することとし、例年開催している祝賀会は実施せず、会員施設からの被表彰者は各施設1名の代表者のみが出席、保健医療管理士・役員を合わせて、総勢66名が参加した。記念式典では、会員各病院から推薦された職員に対し、優良職員・永年勤続職員の表彰を行った。また、第31期保健医療管理者養成講座の修了生に対して保健医療管理士の認定証を授与した。

11月18日 於：ホテルオークラ京都 参加者総数／66名  
優良職員・永年勤続職員表彰／33名  
第31期保健医療管理者養成講座 保健医療管理士認定／22名

## M 新春会員懇親会

年頭の恒例行事として、会員相互の親睦を深めることを目的に新春会員懇親会を開催しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

# Ⅲ 情報活動

## A 協会ホームページ

協会の活動や会員の情報を広く発信するとともに、会員に重要な医療・介護に関する情報をタイムリーに提供するため、Web上でホームページを運営している。

ホームページは、協会の事業紹介、行政からの医療・介護関連通知、診療報酬・介護報酬改定情報、各種研修・催しの案内、会員施設の紹介、京都府医療勤務環境改善支援センター、無料職業紹介メデイワークセンター、薬剤師・看護職の復職支援サイトなど、多岐にわたる内容で構成している。

近年では、入退院時の調整や医療・介護の相互連携に資するため、京都府内病院の地域連携室等の窓口情報を掲載し、毎年更新している。また、京都府医療勤務環境改善支援センターが推進している「京都いきいき働く医療機関認定制度」のサイトでは、宣言病院・認定病院を紹介し、勤務環境改善に取り組む病院が広く認知され、医療従事者の確保・定着に繋がるよう努めている。

令和4年度も会員に関連のある重要情報を迅速にホームページ上に掲載した。また、サイト上で各種研修・イベント受付システムを運用し、会員の利便性の向上に努めている。

京都私立病院協会ホームページ <https://www.khosp.or.jp/>

## B ファックス通信

協会では、ファックス用の専用回線を有しており、全会員に同報送信できるファックス通信網を敷いている。緊急の案件、行政からの通知文書、各種調査などをファックス通信で迅速に発信するとともに、会員と連絡を取り合うツールとして、協会ホームページと併用して活用している。

しかし、現在では、E-mail を活用して会員施設と連絡を取り合うことが多くなり、会員への発信や情報提供をより迅速に行い、利便性も高めるためにも、全会員への同報送信手段をファックスから E-mail に切り替えるべく準備を進めている。

## IV 病院職員の確保対策への取り組み

### A 看護師等養成事業

#### 1 看護師養成

京都保健衛生専門学校では、看護学科3年課程1クラス40名定員の養成並びに京都中央看護保健大学校では、統合カリキュラムによる看護学科と看護保健学科の2学科4年課程各40名定員の養成を行い、それぞれ時代のニーズにあわせた教育を実践し、将来を見据えた学校運営を行った。

京都には9校の看護学部を設置する大学があり、18歳人口の減少や高学歴を求める社会環境の影響を受け、学生募集を取り巻く環境は非常に厳しい。あわせて、新型コロナウイルス感染防止対策や ICT 教育の推進など社会情勢の変化に応じた対策を求められるなど、専門学校における学校運営は厳しい状況が続いている。

また保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により、令和4年度入学生からカリキュラムが改正され裁量範囲が広がることにより両学校それぞれのオリジナリティが求められることになった。

高等教育において重要な役割を担う両専門学校には、今後も看護教育のあり方を見据えた中・長期的な視野に立ちながらの学校運営を行う必要があるとともに、就職内定率の高い専門学校の魅力を活かし、より専門性の高い、実践力のある人材の育成が求められる。

#### 2 臨床検査技師・臨床工学技士養成

京都保健衛生専門学校における臨床検査技師の養成は、昼間・夜間を併せて80名定員で養成を行った。第一臨床検査学科では、臨床検査にかかわる自動機器や AI 技術が進歩する中、現場で必要とされる生理機能検査技術学と検査データを解釈する検査診断学の指導に力を注ぎ、臨床工学技士専攻科や大学編入学を目指す学生の育成にも励んだ。第二臨床検査学科では、生理機能検査技術学のみならず診療情報管理士資格取得に向けても取り組んだ。

臨床検査技師を養成する大学が京都市内に開設されて以降、少子化と合わせて、学生募集の環境は非常に厳しく、入学生の確保は大変困難となり、学校運営は厳しい状況になっているが、募集要項の変更や指定校の追加など工夫をしながら募集に取り組んだ。

臨床工学技士専攻科は定員24名と少数でなおかつ1年間という短い期間であることから、医用電気機器の保守点検、安全管理についての基礎知識、生命維持管理装置の操作、保守管理の仕方

の基礎などの習得に重点をおいている。専攻科という特性から入学生の確保は毎年厳しい状況となっているが、指定校（崇城大学）との連携体制の充実や他の大学・専門学校への訪問を行うなど学生確保に向けての取り組みの強化をはかった。

両学科とも臨床検査技師及び臨床工学技士・診療情報管理士・第2種 ME 技術者などの資格が取得できるなどの特徴を生かし、より専門的な知識や技術を習得し、臨床の現場で活躍できる医療人の育成に力を注いだ。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、コロナ以前のような学校運営ができない状況の中、両学校ともにオンライン授業を実施するため ICT 環境を整備し、対面授業とオンライン授業との併用、また臨地実習前に PCR 検査を行うなどさまざまな工夫を行い、感染防止対策を徹底することでコロナ禍における教育の質の確保に努めた。

## B メディワークセンター事業

会員施設を中心に京都府内の医療機関における人材確保に寄与することを目的に、医療従事者無料職業紹介所として厚生労働大臣の許可を受け、「無料職業紹介メディワークセンター」を運営し、求人者と求職者を繋ぐ役割を担っている。

メディワークセンターは有料の人材紹介会社とは異なり、求人者・求職者ともに紹介手数料等は一切不要であることから、会員施設からの期待は大きい。

令和4年度においても、通常の求職登録に加え、当協会が京都府から受託実施している看護人材早期復職支援事業、京都府医療介護総合確保基金事業として実施している医療従事者確保強化事業（各々詳細別記）と連携し、再就業を希望する登録看護職・薬剤師および一般市民向けに開催している看護補助者説明会（動画配信）の参加者をメディワークセンターに引き継ぐ等の取組を行っており、求職登録の増加に努めている。

令和4年度は2年ぶりとなる「メディワークセンター登録会」を開催した。リビング京都に告知を掲載するとともに、会員施設に求人登録を呼びかけ開催した結果、様々な職種から当日は計9名の登録があり、会員施設への見学や面接など、就職に向けてのアプローチを行った。また、ホームページを画像サイズが画面に合わせて自動調整されるレスポンス対応とし、ホームページの活用向上に努めた。

今後も登録者にとって求人情報の充実が実感できるよう、会員施設による求人登録をはじめ求人登録増に繋がる活動も積極的に働きかけていくこととしている。

事業者団体、職能団体、行政が連携して、介護・福祉の人材確保・定着等に関する取り組みを行っている「きょうと介護・福祉ジョブネット」には、当協会から幹事会に役員を派遣するとともに、平成24年度から「看護職確保プロジェクトチーム」（詳細別記）の事務局を京都府より受託し、介護・福祉における看護人材確保・定着事業も企画・実施している。

### 1 メディワークセンター事業運営委員会

#### a 運営委員

畑 典男、市場真澄、仲田昌司（以上、担当役員）、山口浩二、麻田博之（以上、事務長会）、

桐畑宏子、細越万里子（以上、看護部長会）、津崎桂子（事務局長）、竹内 誠（紹介責任者）

b 運営協力委員

馬瀬久宜（薬剤師部会）、平井 靖（放射線技師部会）、下田浩史（臨床検査部会）、

田村 篤（リハビリテーション部会）、松村明美（栄養士部会）、太田雅文（臨床工学技士部会）

2 主な活動

a メディワークセンターの周知活動

- ・メディワークセンターホームページの運営
- ・リーフレット・ノベルティ等を使用しての普及促進
- ・リビング京都への広告掲載

b きょうと介護・福祉ジョブネットへの参画

- ・幹事会・看護職確保プロジェクトチーム：茨木孝二

c メディワークセンター登録会の開催

9月14日 於：私病協会議室 求職登録/9名

d 京都私立病院報・FAX 通信での求職者情報の提供

3 求人・求職・紹介状況（令和5年3月31日現在）

有効求人登録数351件、有効求職登録者数6名、紹介件数24件、就職者数5名

## V 環境問題・禁煙推進等の取り組み

当協会の創立40周年記念事業（平成16年度）の一つとして、禁煙キャンペーンを開始して以来、積極的な禁煙活動を展開しており、研修会やアンケート調査を実施しているほか、当協会ホームページ内において禁煙推進活動の周知・啓発を行うなど、会員施設における禁煙推進の取り組みを支援するための活動を行っている。また、当協会も加盟している京都禁煙推進研究会の各種事業への後援も継続しており、禁煙推進等に関する最新の情報を取得し、会員への情報提供に努めている。

また、環境問題への取り組みについては、創立45周年記念事業（平成21年度）として実施した環境宣言や環境キャンペーンの経験が活かされ、日常的に省エネ活動に取り組む等、環境に配慮した行動や意識が会員施設の職員一人一人に浸透している。

## VI 病院団体との交流

### A 近畿病院団体連合会

近畿2府4県の病院団体（10団体）で構成する近畿病院団体連合会は、委員会が1年ごと、事務長会が2年ごとに各団体の持ち回りで開催されている。

令和4年度の委員会は、滋賀県病院協会が幹事を担当してオンラインで開かれ、「医師の働き方改革に向けた対応状況」、「電気・ガス料金、食材料費等の高騰対策」を意見交換した。当協会からは会長・副会長が出席し、京都府内病院における医師の働き方改革の進捗状況や京都府医療勤務環

境改善支援センターの対応・取組、当協会会員施設における電気・ガス料金、食材料費等の高騰の影響とそれに対する京都府・京都市への要望活動について発表した。事務長会は奈良県病院協会が幹事を担当した。

1 委員会 担当／滋賀県私立病院協会

a 第1回委員会 8月18日 オンライン開催 参加者／62名

1) 令和4年度役員の選任

委員長／小椋英司（滋賀県私立病院協会会長）

副委員長／清水鴻一郎（当協会会長）、金子隆昭（滋賀県病院協会会長）

2) 議題（協議事項、報告・情報提供含む）

・医師の働き方改革について

・新型コロナウイルス感染症の病院経営に対する影響調査（令和元年度～令和3年度）

3) 特別講演

演題／「我が国の最新国防事情」

講師／佐藤正久（参議院議員）

b 第2回委員会 2月16日 オンライン開催 参加者／58名

1) 議題（協議事項、報告・情報提供含む）

・医師の働き方改革に向けた対応状況（宿日直許可の取得、医師労働時間短縮計画策定及び医療機関勤務環境評価センターへの評価申請等）について

・電気・ガス料金、食材料費等の高騰対策について

2) 特別講演

演題／「困難に打ち勝つ方法」～比叡山の修行を経て～

講師／宮本祖豊（比叡山観明院住職）

2 事務長会 担当／奈良県病院協会

a 第1回事務長会 9月30日 オンライン開催

b 第2回事務長会 3月9日 オンライン開催

（詳細は事務長会の頁を参照）

3 事務局長会議

11月24日 於：ダイワロイネットホテル和歌山

テーマ／「今後の近畿病院団体連合会の運営について」

「職員のコロナ感染の休暇の取扱いについて」

「府県、保健所設置市への予算要望等の方法や対応状況について」

「近病連委員会と事務長会の役割について」

## B 中央における病院団体

中央組織の主な病院団体は、日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会があり、当協会から役員を派遣し、情報収集や意見具申を積極的に行っている。また、この四

つの中央病院団体で「四病院団体協議会」（四病協）を構成し、さらに四病協の構成団体を含む12団体による「日本病院団体協議会」（日病協）も各種事業、要望活動を行っており、病院団体として統一した活動が展開されている。

中央の病院団体のうち、全日本病院協会及び日本医療法人協会の京都府支部の事務局は、当協会事務局が担っており、両協会が主催する研修会や通知等を情報提供している。

#### 1 日本病院会

役員派遣／常任理事：武田隆久 代議員：清水鴻一郎、久野成人

#### 2 全日本病院協会

役員派遣／理事：清水鴻一郎

京都府支部長：清水鴻一郎 副支部長：小森直之、石丸庸介

夏期研修会 8月27日・28日

テーマ／「京都の文化戦略～京都の力の源泉を探る～」

講師／山田啓二（前京都府知事、京都産業大学理事・法学部教授）

テーマ／「世界の中の日本料理」

講師／佐竹洋治（株式会社美濃吉専務取締役調理総支配人）

令和4年度総会 3月15日

京都府支部事務局は京都私立病院協会内に設置

2024年9月28日から29日に国立京都国際会館で開催の「第65回全日本病院学会 in 京都」は、全日本病院協会京都府支部の事務局を担う京都私立病院協会が、2024年に迎える協会創立60周年の記念事業の一環として学会運営を担うこと並びに学会役員を京都私立病院協会役員が担うことを決定した。

#### 3 日本医療法人協会

役員派遣／副会長（ブロック推薦理事）：小森直之 理事：富士原正人

京都府支部長：武田隆久

令和4年度総会 3月15日

京都府支部事務局は京都私立病院協会内に設置

## Ⅶ 京都府内における医療関係団体との連携

### A 京都府医師会

京都府医師会とは、地域医療、保険診療をはじめ医療に関わる様々な分野において活発に情報交換、意見交換をしながら相互理解を図り、京都府民への医療の質向上、医療・介護制度への意見・提言など協働して活動を行っている。

令和4年度も新型コロナウイルスに係る情報共有・連携をしながら医療提供体制の確保、新型コロナワクチン接種に取り組むとともに、医師の働き方改革、臨床研修医・専門医制度、控除対象外消費税問題への対応なども、医師会と意見交換、情報交換しながら取り組んでいる。

そのほか、京都府医師会が事務局を担う協議会、各種委員会への委員派遣にも協力している。

#### 1 各種委員会等への委員の派遣

- ・救急・災害委員会：富士原正人、武田隆久、清水史記
- ・京都府交通事故医療連絡協議会：武田隆久
- ・学術・生涯教育委員会：近藤泰正
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡会議：清水鴻一郎
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会解剖・Ai支援検討小委員会：富士原正人
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会院内事故調査支援小委員会：武田隆久
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会相談体制小委員会：久野成人
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会研修小委員会：富田哲也
- ・医療安全対策委員会：武田隆久
- ・医療事故対策処理室（外科領域）：富士原正人
- ・医療事故対策処理室（整形外科領域）：勝見泰和（十条武田リハビリテーション病院）
- ・臨床研修のあり方に関する検討委員会：清水 聡
- ・京都府臨床研修指定病院協議会：清水 聡
- ・感染症対策委員会：清水 聡
- ・地域ケア委員会：久野成人
- ・京都府リハビリテーション連絡協議会・地域連携パス運営会議・作業部会：富田哲也
- ・京都府医療推進協議会代表者会議委員・実行委員：武田隆久

#### 2 その他催しへの共催・後援・派遣

##### a 令和4年度「総合診療力向上講座」への後援

7月30日 8月20日又は10月1日 11月26日 於：京都府医師会館

##### b 令和4年度「京都在宅医療塾」への後援

9月11日 10月16日 11月20日 Web 講習会

##### c 第47回くらしと健康展への後援

6月26日 京都府医師会館

##### d 医療機関勤務環境評価センター 医療サーベイヤーの派遣：武田隆久、石丸庸介

##### e 京都マラソン2023への医療救護体制に係る医師派遣 令和5年2月19日

救護所医師12名、追尾救護者医師2名

## B 京都府病院協会

京都府病院協会とは毎年共催で京都病院学会を開催している。第57回目を迎えた令和4年度の本学会も両協会の担当役員による理事会と、両協会の会員施設等からの派遣協力による実行委員会運営を協議した。本学会では新型コロナウイルスの感染防止のため、会場とオンラインの両方を活用して開催した。『人生100年時代を健康に生き抜く「健康長寿社会」の実現に向けて』を全体テーマにして、389題の演題発表があり、参加者は1,207名であった。京都市域二次病院群輪番体制では、

京都府病院協会は土・日・祝の小児輪番を担当し、その他の小児・一般輪番を当協会が担当している。輪番協力病院・医療従事者の体制の確保が厳しい状況の中、両協会の病院がともに連携して休日・夜間等における救急医療体制の確保に努めている。

両協会では合同での会議も開催しており、近畿の病院団体が一堂に会する近畿病院団体連合会、地域医療構想・新型コロナウイルス感染症への対応、働き方改革等の共通課題に対し、協力して取り組んでいる。

#### 1 両会合同会議

7月6日 於：オンライン開催

テーマ／①「令和4年度近畿病院団体連合会第1回委員会への対応等について」

「令和5年度近畿病院団体連合会委員会の開催に向けて（京都開催）」

②「第57回京都病院学会の開催に向けて」

#### 2 第57回京都病院学会の共催

学術研修部の第57回京都病院学会の頁に詳記

#### 3 令和4年度近畿病院団体連合会委員会の共同対応

8月18日 於：オンライン開催

2月16日 於：オンライン開催

総務部の近畿病院団体連合会の頁に詳記

### C 京都精神科病院協会

精神科医療を専門とする京都府内の病院団体として、京都精神科病院協会から当協会役員を迎え、精神科を取り巻く諸問題に対し、専門家の立場として様々な意見を求めている。特に精神疾患と急性期の身体疾患を併せ持つ患者に対する診療や入院受入の課題を共通認識として、京都府及び京都市に対し、診療や入院受入が可能なシステムや医療提供体制の構築、入院病床の確保を要望している。

当協会が平成25年度から実施している「病院認知症対応力向上事業」等の各種事業においては、京都精神科病院協会加盟の府内精神科病院から、認知症サポート医・認知症看護認定看護師・作業療法士・臨床心理士をはじめとする講師派遣の協力を得ている。

### D 京都府慢性期医療協会

京都府慢性期医療協会とは、平成10年11月に京都介護療養型医療施設連絡協議会として設立された当初から、現在の協会名称に変更後も京都私立病院協会内に事務局を置き、互いに連携・情報共有しながら活動をおこなっている。慢性期医療や地域包括ケアシステムの課題、診療報酬の施設基準（認知症ケア加算2・3、排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料）の該当研修の実施、介護保険制度・介護サービス第三者評価の推進、医療と介護の連携等、共通の課題に協力して取り組んでいる。

令和4年度は、上記に加え、慢性期医療の質の向上と経営改善に資する研修、介護医療院・介護

療養型医療施設の施設基準・介護報酬の点検に資する研修を共同して実施した。(保険部の介護保険委員会の頁に詳記)

## E その他

### 1 医療・介護関連団体等への役員・委員派遣

- ・公益社団法人京都府介護支援専門員会特任理事：久野成人
- ・京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会：久野成人（理事、認定・公表委員会委員）
- ・京都府ナースセンター事業運営委員会：石丸庸介
- ・京都府国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会：赤木 博
- ・京都府国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会介護医療部会：児玉直俊
- ・きょうと介護・福祉ジョブネット幹事会：茨木孝二
- ・社会を明るくする運動京都府推進委員会：富田哲也
- ・タバコフリー京都 タバコ対策部会、医療・介護連携部会：富士原正人
- ・京都府歯科医師会地域保健推進プロジェクトチーム会議：武田隆久
- ・京都栄養医療専門学校教育課程編成委員：仲田昌司
- ・近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会：茨木孝二

### 2 関係団体催しへの共催・後援・協賛

#### a 2022年度「看護の日」事業への後援

5月12日ほか

#### b 2022年世界禁煙デー in 京都への後援

5月31日～6月7日

#### c 京都介護サービス協同組合主催 介護施設で働く外国人による「日本語作文コンクール」への後援

6月1日～7月31日

表彰式 10月25日 於：ハートピア京都

#### d NPO 法人京都禁煙推進研究会（タバコフリー京都）主催 第9回禁煙外来講習会 第37回タバコフリー京都フォーラム（禁煙指導講習会）への後援

8月27日 Web 講演会

#### e 日本医療マネジメント学会第19回京滋支部学術集会への後援

8月27日 オンライン開催

#### f 脳卒中連携に関する研究会「脳卒中診療の明日へのシナリオ in 京都」の共催（当協会、日本脳卒中学会京都府脳卒中对策推進委員会、京都府医師会、第一三共株式会社）

9月15日、令和5年3月23日 オンライン開催

#### g AIDS文化フォーラム in 京都への後援

10月8日・9日 於：龍谷大学深草キャンパス和顔館、顕真館

- h 京都府看護協会主催 令和4年度医療安全シンポジウムへの後援  
10月15日 オンライン開催
- i 京都市老人福祉施設協議会主催 令和4年度介護の日記念事業「かいごみらいフェス2022」への後援  
12月21日 キックオフイベント等
- j 日本放射線技術学会市民公開シンポジウムへの後援  
11月20日 於：京都テルサ
- k 京都府老人福祉施設協議会主催 2022京都府高齢者福祉研究大会への後援  
11月28日 オンライン研修
- l 京都府介護老人保健施設協会主催 第28回京都府老人保健施設大会への後援  
12月16日 オンライン開催
- m 京都新聞主催「オレンジ」認知症とともに生きる啓発キャンペーンへの後援  
令和5年1月～12月
- n NPO 法人京都禁煙推進研究会（タバコフリー京都）主催 第24回卒煙サポーター養成講座への後援  
令和5年1月29日 オンライン開催
- o 第9回医療・介護・薬局 Week（メディカルジャパン大阪）への後援  
令和5年1月18日～20日 於：インテックス大阪
- p 令和4年度看護職確保定着推進事業「看護職就職・就学合同フェア2023」への後援  
令和5年3月5日 於：京都市勤業館みやこめっせ

## Ⅷ 行政への対応

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保、経営基盤の安定が不可欠であり、毎年の京都府・京都市の予算編成時等、行政に対してあらゆる機会を捉えて要望を行っている。

当協会は多職種の医療・福祉専門職を擁する組織として、行政から各種事業を受託しており、京都府からは医療資源の少ない地域の高齢者に介護予防の啓発を行う「府民リハビリテーション啓発支援事業」、退職看護職の登録システムの普及と再就業を促進する「看護人材早期復職支援事業」、京都式オレンジプランの達成に向けて一般病院での認知症対応力向上や地域との連携強化を図る「病院認知症対応力向上事業」等を受託している。（詳細別記）

平成27年度からは、京都府地域医療介護総合確保基金事業として、京都府医療勤務環境改善支援センター事業をはじめとする医療従事者の勤務改善促進に係る事業、医療従事者の確保・定着・資質向上に係る事業、在宅医療・介護の人材育成・連携に係る事業を実施してきた。平成30年度は、病院の全ての医療従事者への地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）の周知を図り、病床の機能分化・連携を推進し、将来の医療提供体制の充実に寄与することを主眼に置き、目的達成のための各種取り組

みを行った。また、「地域連携型在宅医療支援病院事業」も策定され、在宅医療に取り組む病院に対し、病診連携・病介連携、地域の専門職との連携に資する取組等への一部補助を実施している。令和4年度は「医療機関情報セキュリティ向上対策事業」が予算化され、当協会が医療機関のサイバーセキュリティ対策を強化するための各種事業を実施した。(詳細別記)

京都市からは、新規の要支援・要介護認定申請者への認定調査を行う市町村事務受託法人、離職看護師の再就業にかかる費用を支援する「離職看護師能力再開発事業」、京都市内の一般病院における認知症対応力向上を図ることを目的とした「京都市病院認知症対応力向上事業」を受託実施している。(詳細別記)

新型コロナウイルス対応については、令和4年度も京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議をはじめ新型コロナ関連の各種審議会に参画するとともに、その他機会がある度に、感染拡大時における医療提供体制や新型コロナワクチン接種について、民間病院の立場から意見具申や要望を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大により、煩雑な公費入院医療の請求が滞ったことに対しては、京都府及び京都市に改善を求める緊急要望(資料1)を行った結果、京都府、京都市ともに、保健所と医療機関が連携の上で、公費負担申請を保健所が代理申請(添付書類は省略)するなど、公費負担事務が簡素化、迅速化されることとなった。さらに、京都府からは新型コロナウイルス陽性者の宿泊療養施設への看護師派遣、京都市からは新型コロナワクチン集団接種への医師・薬剤師・看護師の派遣を受託し、会員施設等の協力を得て、陽性者へのケア並びに感染・重症化予防に尽力した。(詳細別記)

民間病院における光熱費及び食材費等の高騰に対しては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の活用、京都府・京都市独自の緊急対策支援、税の減免措置等の財政措置を緊急要望(資料2)した。

その他、国の医療・介護制度や府内の医療・介護行政をはじめとして、様々な情報を会員に提供するとともに、府内を代表する病院団体として京都府や京都市の審議会等の場で意見を述べ、また担当部署との個別の協議も行っている。その他、行政からの医療機関に対する各種通知や調査等の協力依頼についてもその都度積極的に対応した。

## A 京都府

### 1 要望活動

- ・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望(資料1) 5月26日

於：京都府庁

- ・令和5年度京都府予算への要望 10月20日 於：京都府庁

<要望内容「ウイズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」>

- (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
- (2) 地域医療構想(ビジョン)の実現にむけて
- (3) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続と拡充について
- (4) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
- (5) きょうと健やか21(第3次)の実現にむけて

(6) 救急医療体制の充実にむけて

(7) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

- ・民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関する緊急要望（資料2）

11月25日 於：京都府庁

## 2 審議会等への委員の派遣

- ・京都府医療審議会・法人部会・計画部会：清水鴻一郎
- ・京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキング：富士原正人、武田隆久、石丸庸介
- ・京都市域地域医療構想調整会議：清水鴻一郎、久野成人、武田隆久
- ・京都府医療対策協議会：清水鴻一郎
- ・京都府医療対策協議会（山城医療圏代表）：石丸庸介
- ・京都府医療対策協議会医師確保ワーキングチーム：久野成人
- ・京都府医療対策協議会医師等働き方改革検討部会：武田隆久・石丸庸介
- ・京都府地域医療支援センター運営会議：清水 聡
- ・内科専門研修プログラム関係者会議：清水 聡
- ・京都府看護師等確保対策推進協議会：石丸庸介
- ・京都地域包括ケア推進機構理事会：清水鴻一郎
- ・地域包括ケアシステム推進プラン検討委員会：久野成人
- ・在宅療養あんしん病院登録システム運営会議：久野成人、富士原正人
- ・認知症総合対策推進プロジェクト全体会（医療・ケア連携部会）：武田隆久
- ・新・京都式オレンジプラン推進ワーキング：富田哲也
- ・2025年を見据えた看取り対策協議会：久野成人
- ・看取り期の死亡診断・検案時における連携促進ワーキング：久野成人
- ・京都府高齢者サービス総合調整推進会議：久野成人
- ・多職種による在宅療養支援部会：武田隆久
- ・京都府死因究明等推進協議会：富士原正人
- ・京都府救急医療懇談会：武田隆久
- ・京都府高度救急業務推進協議会：武田隆久
- ・救急要請および在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会：武田隆久
- ・京都府周産期医療協議会：石丸庸介
- ・京都府周産期母子医療センター全体会議：石丸庸介
- ・京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議：武田隆久
- ・京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議：武田隆久
- ・精神科救急医療連携強化会議：武田隆久
- ・京都府災害拠点病院等連絡協議会・京都 DMAT 連絡協議会：武田隆久
- ・京都府災害時要配慮者避難支援センター幹事会：武田隆久
- ・京滋ドクターヘリ運航調整委員会：武田隆久

- ・ドクターヘリ症例検討部会：武田隆久
- ・救急安心センター京都運営協議会：武田隆久
- ・#7119検証会議：武田隆久
- ・京都府救急医療のあり方検討委員会：武田隆久
- ・救急搬送体制のあり方検討委員会：武田隆久
- ・外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議：清水 聡
- ・京都府リハビリテーション部会（地域リハビリテーション連携推進会議）：武田隆久
- ・京都府リハビリテーション教育センター運営委員会：武田隆久
- ・京都府北部地域リハビリテーション提供体制充実検討会議：富士原正人
- ・京都府がん対策推進協議会（がん登録部会）：富士原正人
- ・京都府がん対策推進府民会議情報提供充実対策部会：富士原正人
- ・京都府がん医療戦略推進会議：富士原正人
- ・京都府がん医療戦略推進会議・地域連携部会：富士原正人
- ・地域医療機関がん対応力向上システム検討会議：富士原正人
- ・京都府循環器病対策推進協議会：清水鴻一郎
- ・京都府循環器病対策推進協議会脳卒中部会：清水史記
- ・京都府循環器病対策推進協議会心血管疾患部会：冨田哲也
- ・京都府肝炎対策協議会：富士原正人
- ・京都府糖尿病重症化予防戦略会議：藤澤明生
- ・京都府アレルギー疾患医療連絡協議会：冨田哲也
- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議：清水鴻一郎
- ・京都府新型コロナウイルス感染症に係る意見交換会：清水鴻一郎
- ・新型コロナウイルス感染症対策協議会：清水鴻一郎、久野成人、武田隆久、藤澤明生、  
清水 聡
- ・京都府新型コロナウイルス感染症関連病院長意見交換会：清水鴻一郎
- ・新型コロナ対策医療関係者会議：清水鴻一郎
- ・京都府新型インフルエンザ等対策専門家会議：清水 聡
- ・京都府ワクチン等確保検討会：清水 聡
- ・新型インフルエンザ対策協力医療機関連携会議：清水 聡
- ・エイズ治療拠点病院等連絡会議：清水 聡
- ・京都府蚊媒介性感染症対策連絡会議：清水 聡
- ・京都府中東呼吸器症候群（MERS）対策連絡会議：清水 聡
- ・京都府難病医療連絡協議会：冨田哲也
- ・きょうと地域創生府民会議：冨田哲也
- ・京都府省エネ・節電対策連絡調整会議、健康福祉部関係団体連絡調整会議：茨木孝二
- ・下水熱民間利用促進ネットワーク会議：市場真澄

- ・京都少子化対策戦略会議：清水鴻一郎
- ・京都府慢性疾患児童等対策地域支援協議会：石丸庸介
- ・地域での子育て支援の仕組みづくりワーキンググループ：石丸庸介
- ・母子対策ワーキンググループ：石丸庸介
- ・京都府少子化対策府民会議：石丸庸介
- ・京都府要保護児童対策地域協議会：石丸庸介
- ・京都府在宅療養児支援体制検討委員会：石丸庸介
- ・京都府先天性代謝異常等検査検討委員会：石丸庸介
- ・京都府子育て支援医療助成制度あり方検討会議：石丸庸介
- ・京都府病児・病後児保育事業検討会：石丸副会長
- ・京都府産後ケア事業の広域利用に係る検討会：石丸庸介
- ・京都歯と口の健康づくり推進協議会（京都8020運動推進協議会）：富田哲也
- ・京都府自殺対策推進協議会：武田隆久
- ・京都府薬事審議会：武田隆久
- ・患者のための薬局ビジョン推進事業意見交換会：武田隆久
- ・健康情報拠点薬局設置推進事業意見交換会：武田隆久
- ・後発医薬品安心使用に係る意見交換会：武田隆久
- ・あんしん安全服薬環境基盤整備事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・京都府地域医療介護総合確保基金事業（医療分）検討会議：清水鴻一郎
- ・配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議（代表者会議）：石丸庸介
- ・きょうと婚活支援ネットワーク会議：津崎桂子
- ・京都府就業支援・人材確保計画推進会議：津崎桂子
- ・令和5年度京都地域包括ケア推進機構プロジェクト推進業務に係る意見聴取：津崎桂子
- ・ステキ女子のからだメンテプロジェクト応援団体会議：津崎桂子

#### 4 催しへの共催・後援等

##### a 令和4年度「愛の血液助け合い運動」への後援

7月1日～31日

##### b 京都府リハビリテーション教育センター実践セミナーへの後援

7月21日～令和5年3月31日 Web研修及び録画配信

##### c 令和4年京都府小児がん拠点病院公開シンポジウム～小児がん医療関係者研修事業～への後援

8月20日 Web及びオンデマンド配信

##### d 令和4年度京都府リハビリテーション教育センター第19回座学研修会への後援

10月1日 オンライン研修

- e 令和4年度「配偶者等からの暴力をなくす啓発期間」への協賛  
11月12日～25日
- f 第8回きょうとりハビリテーションフォーラムへの後援  
令和5年1月20日 於：京都府リハビリテーション支援センター（LIVE 配信）
- g きょうと薬物再乱用防止ネットワークへの参画
- h 子宮頸がん検診啓発を推進するプロジェクトへの応援
- i きょうと企業婚活推進会議、きょうと婚活応援センターネットワーク会議への参画

## B 京都市

### 1 要望活動

- ・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望（資料1） 5月26日  
於：京都市役所
- ・令和5年度京都市予算への要望 11月25日 於：京都市役所  
＜要望内容「ウイズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」＞  
（1）新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について  
（2）医師不足・看護師不足への助成について  
（3）救急医療体制の充実にむけて  
（4）京都市民健康づくり推進プランの実現にむけて  
（5）大規模災害発生時の体制整備の強化について
- ・民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関する緊急要望（資料2）  
11月25日 於：京都市役所

### 2 審議会等への委員の派遣

- ・地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会：清水鴻一郎
- ・京都市安心救急ネット京都推進会議：清水鴻一郎
- ・京都市救急救命士に関する懇話会：武田隆久
- ・救急要請及び在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会：武田隆久
- ・京都市・乙訓メディカルコントロール協議会：京都市／武田隆久、清水史記  
乙訓／奥宮清人（新河端病院）
- ・緊急度判定プロトコル専門部会：富士原正人
- ・京都市域災害医療連絡協議会：武田隆久
- ・京都市急病診療所運営委員会：武田敏也
- ・京都市健康づくり協会：藤澤明生
- ・京都市新型インフルエンザ等対策有識者会議：清水 聡
- ・京都市 HIV 感染症対策専門委員会：清水 聡
- ・健康長寿のまち・京都 市民会議総会：富田哲也
- ・PHR を活用した新しい医療等の提供に向けた組織（仮称）委員：武田隆久

- ・京都市介護認定審査会：稲岡秀陽（京都九条病院）、坂田芳明（愛生会山科病院）、  
豊川 茂（金井病院）、野中崇大（京都桂病院）、  
牧野荒太郎（愛寿会同仁病院）、  
上山さゆみ（脳神経リハビリ北大路病院）、大島恭子（武田病院）、  
岩田義信（武田病院）、永野裕子（吉川病院）、  
小澤拓也（伏見桃山総合病院）

## Ⅸ 関係団体との連携

当協会には、京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学の2つの学校と京都府病院協同組合、京都府病院企業年金基金の4つの関係団体がある。

それぞれの団体は、協会活動のなかから必然的に生まれた組織であり、各団体には協会の会員が参加しており、5つの団体が十分連携をとりながら業務を進めていくことが重要であることから、そのことを念頭に置いた組織運営がなされている。

各団体の役員には私病協の執行部より役員派遣を行い、各団体の事務局責任者が私病協の役員会へ出席することにより相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

また5団体の職員の賃金及び労働条件については、人事評価制度を盛り込んだ独自の賃金体系を活用し、部分的には各団体の業態の違いからくる制約があるものの、基本的には共通体系で運用されている。

必要が生じれば、各団体の事務局責任者が集まり会議を開催し、各種規程について制度変更に伴う改定作業を行っている。

令和4年度は、昨年度に決定した職員の定年延長を受け、人件費の適正化とあわせて旧賃金体系の課題を解消するため、令和5年4月から施行するべく全関係団体職員の賃金体系等の全面的な改定を行った。

またあわせて令和4年4月から段階的に施行される育児・介護休業法の改正についても対応するため、規則の見直しも行った。

また、5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦団体「銅の会」は事業所からの補助と職員の拠出金で運営されている。各団体より職員を派遣し、2年任期で共済会の役員をつとめ運営している。

## Ⅹ 職員人事（令和5年4月1日現在）

### A 京都私立病院協会

事務局長／津崎桂子

事務次長／竹内 誠

事務局員／神田悦子（主幹）、臂谷亮輔（主幹）、吾郷晋一（主幹）、山口峻平、松本結佳、田中大貴、

渋谷藍子

## B 京都保健衛生専門学校

### 1 事務局

事務局長／磯田典子

事務課長／衣川美佳

事務局員／生沢 好、小泉 恵、佐藤眞喜子、西村 梢、山内奈津子、大萱信彦、瀧 俊之

### 2 教務

#### a 看護学科

##### 1) 看護学科三年課程

教 務 部 長／谷本千亜紀

教 務 主 任／上野佳穂

副教務主任／姫田真弓

教 職 員／大井ゆかり、大瀧奈緒、岡田萌美、鎌田令子、川勝真由美、白波瀬裕美、  
長岡宏子、鍋島純子、渡邊由美、北澤小夕里、小西紗恵子

#### b 臨床検査学科・臨床工学技士専攻科

教務部長／小澤 優

##### 1) 臨床検査学科

教 職 員／五十川團哉、小川秀一郎、小西靖志、多田俊介、中前雅美、林 敬子、宮井 優

##### 2) 臨床工学技士専攻科

教務主任／泉田洋志

教 職 員／飯田安彦、和泉大輝、古谷仁志

## C 京都府病院協同組合

事務局長／松村浩史

事務局員／木股亜由美（課長）、石動 誠（課長）、奥村裕一郎（主任）、尾崎結衣、内牧成允、安田昌広、  
原田幸雄、松尾一毅、郷田妙子、牧野雄斗

## D 京都府病院企業年金基金

常務理事／関本充治

事務職員／山本順子、山田真美

## E (専) 京都中央看護保健大学校

学 校 長／久保俊一（理事）

副学校長／阿形奈津子（評議員）

事務局長／原 昭彦（常務理事）

顧問／石束佳子（評議員）

1 事務部

事務部長／出野 順（評議員）

事務次長／笹原明美

事務主任／若林典子、宮本志乃

事務職員／野村なつみ

2 教務部

a 看護学科

学 科 長／山本絵奈

副学 科 長／阿形奈津子（兼任）

教務部主任／池田 恵

教 職 員／森田真帆、横関智恵、倉 桂子、堺 真奈美、赤毛智美、前川智子、今中奈保子、  
柴田明美

b 看護保健学科

学 科 長／上山みゆき

副学 科 長／田淵眞由美、川崎紀子

特 任 教 員／安藤えつ子

教務部主任／筒井恵美

教 職 員／松本留美、嘉田真希、山口さゆり、森 広美、富山美加、加藤 舞、森川美奈子、  
岡田瑞宝、大津惇也

# 【保 險 部】

## I 医療保険

### A 医療保険をめぐる状況

当協会では入院基本料等をはじめとした各種施設基準の管理・運用を重点項目に挙げ、会員病院が新たな施設基準の取得や適切な基準の管理・運用ができるよう助言等を行った。また、会員施設に対して施設基準の届出に関する相談等ニーズに沿った対応を行った。さらに、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、診療報酬上の臨時的な取扱いが随時示されたため、その都度情報提供を行った。

医療保険に関わる当協会の取り組み全般は、事務長会並びに診療報酬委員会が担当した。事務局では会員病院からの医療保険に関する疑義に対して近畿厚生局京都事務所に照会を求める等を行い、必要な情報提供に努めた。

令和4年4月に実施された診療報酬改定では、本体の改定率が+0.43%となり、内訳としては医科・歯科・調剤の実質的な改定率は+0.23%、看護の処遇改善のための特例的な対応として+0.20%、不妊治療の保険適用のための特例的な対応として+0.20%、一方、リフィル処方箋の導入・活用促進による効率化として▲0.10%、小児の感染防止対策に係る加算措置(医科分)の期限到来で▲0.10%となった。

今後の病院経営においては、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、地域の医療需要を的確に促え、その需要に対し各施設がどのような機能、専門性を持つのかを中長期的な視点から考えていくことが重要となっている。

### B 入院基本料等施設基準

医療保険関係については、会員病院が各種施設基準の届出をするにあたり、基準に則った運用と適切な管理運営が行われるよう努めた。また、診療報酬改定に関する情報提供や質問等にも対応した。

#### 1 各種施設基準に係る相談への対応

会員病院から医療保険制度全般について相談を受け付け、問題解決への助言を行うとともに、必要に応じて資料提供等を行った。また、各種施設基準の届出および変更に際しての相談にも対応した。

#### 2 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関の診療報酬上の評価を適切に行う観点から当該保険医療機関の施設基準等について、臨時的な取扱いや疑義解釈の内容を、当協会のホームページや京都私立病院報を通じて情報提供を行った。

## C 生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会い

令和4年度も京都府および京都市による生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会いを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

## D 診療報酬委員会

当委員会では診療報酬全般に関わる情報収集と分析、各種調査・要望等を行い、会員施設が円滑な病院運営をすることができるよう活動に取り組んでいる。令和4年度は新型コロナウイルス感染症患者の公費入院医療費について、病院側で滞りなく請求が来ているかを確認する緊急調査を実施したところ、請求が滞っている事例が多数見られたことから、病院に当該患者の公費負担番号を迅速に通知するよう要望書を作成の上、京都府及び京都市に提出したことで改善に繋がった。また、令和4年度経営・診療報酬の影響に関するアンケート調査を実施し、コロナ禍における病院の経営状況の把握に取り組んだ。

### 1 委員会

a 委員長：富士原正人（担当役員）

副委員長：仲田昌司（担当役員）

委員：篠田浩之、海藻 達（以上、事務長会）、福島朋樹（看護部長会）、

橋元 誠（薬剤師部会）

b 開催日（Webのみ）6/21 12/20 計2回

### 2 主な活動

a 新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望

b 令和4年度経営・診療報酬の影響に関するアンケート調査

## II 介護保険

### A 介護保険をめぐる状況

介護医療院については、令和3年度介護報酬改定では基本報酬が引き上げられ、長期療養生活移行加算や科学的介護推進体制加算をはじめ機能向上に向けて取り組む施設に対する新たな評価が設けられた。しかし、いずれ梯子を外されないよう、今後も、介護医療院が地域包括ケアシステムにおいて医療必要度の高い要介護高齢者に対応するとともに、生活施設としての機能も担う重要な介護保険施設であること等を国に対して強くアピールするとともに、令和6年度介護報酬改定に向けては同施設の基準・介護報酬が維持されるよう要望していく。

また、令和5年度末で廃止される介護療養型医療施設について、同施設の今後の転換の方向性を未定としている会員施設もあり、当協会では会員施設の円滑な転換や安定的な施設運営に資するべく、引き続き情報提供等の支援を行っていくこととしている。

また、京都府内における介護サービス第三者評価については、積極的に評価を受診してサービスの質の向上に取り組むことにより、職員のモチベーション向上等に繋がることから、会員施設には

関連の居宅サービス事業所も含めて積極的な受診を奨励している。

京都市からの委託事業である介護保険の新規認定調査事業については、令和4年度も多くの認定調査を実施しており、介護保険制度が円滑に運用されるよう努めている。

介護保険制度に係る法令遵守に関しては、京都市による実地指導に事務局が立会いを行うとともに、施設基準・介護報酬等に関する会員からの相談・質問に対応した。

<会員施設における介護療養型医療施設指定状況（令和5年3月31日現在、当協会把握数値）>

1 介護療養病床	3施設	57床
2 老人性認知症疾患療養病棟	2施設	113床
計 5施設		170床

<会員施設における介護医療院指定状況（令和5年3月31日現在、当協会把握数値）>

・18施設 2,375床

<実地指導立会い（令和4年4月1日～令和5年3月31日）>

・介護医療院 6施設

## B 介護保険委員会

当委員会は、介護と医療の密接な関係を重視する観点から、介護保険制度が医療に及ぼす影響を的確に把握・予測するとともに、介護保険制度下における問題点を解決し、介護サービス事業を行う会員が円滑に事業運営できるよう活動を行っている。

委員会では行政当局（京都府・京都市）の担当者も交え、現行の介護保険制度や療養病床再編（介護医療院を含む）等の諸問題について情報交換を行い、それぞれの立場から意見・要望を取り交わしていく中で、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めた。

また、令和4年度は、慢性期医療の経営・運営に資する内容、介護医療院及び介護療養型医療施設の適正な運営やサービスの質の向上に資する内容で研修会を実施した。

### 1 委員会

a 委員長：久野成人（担当役員）

副委員長：赤木 博（担当役員）、菊地三弥（担当役員）

委員：茨木孝二（担当役員）、中川正之（事務長会）、村中和美（看護部長会）、  
田中悦子（看護部長会）、川添チエミ（一般財団法人仁風会）、  
湯浅由美（西陣病院）、岡 昌子（京都久野病院）

オブザーバー：安部広明（京都府高齢者支援課）、菅野周二（京都市介護ケア推進課）、  
清水 紘（監事）

b 開催日：（Web 併用） 5/26 9/22 11/24 1/26 3/23 計5回

### 2 主な活動

a 療養病床再編（介護医療院を含む）の調査研究と対応の検討

b 地域包括ケアについての意見提言と対応

c 介護サービス第三者評価事業への意見・提言

#### d 研修会

第1回 3月10日～20日（動画配信） 参加申込者／46名

テーマ／「慢性期医療の課題と展望」

講師／橋本康子（一般社団法人日本慢性期医療協会会長・医療法人社団和風会橋本病院理事長）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」（事務局）

第2回 3月17日（WEB） オンライン参加申込／39名

テーマ／「2040年に向けた慢性期医療と介護保険施設等の経営と質の向上について  
－2024年度改定に向けた「治し、支える」医療とニーズに寄り添う柔軟かつ多様な介護の連携の在り方－」

講師／仲野 豊（株式会社仲野メディカルオフィス代表取締役）

第3回 3月28日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／3名 オンライン参加申込／90名 計／93名

テーマ／「介護医療院（及び介護療養型医療施設）の人員・設備・運営基準・介護報酬について～実地指導結果を踏まえて～」

講師／吉井豊宏（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）

植村奈津子（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

田中 駿（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」（事務局）

#### C 介護サービス第三者評価事業

介護サービス第三者評価は、介護サービス事業者のサービスの質の向上を促進するとともに、サービスを受ける利用者の選択の利便を図ることを目的としている。

京都府では関係団体、行政等で組織する「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」に当協会役員も参画して介護・福祉分野の第三者評価を推進しており、任意受診の府県においては全国トップの受診件数となっている。

当協会は介護分野の評価機関として、会員施設及び関連事業所の職員や元職員等に評価調査者、評価審査委員として協力を得て、医療系の専門職を数多く擁する特徴を活かして第三者評価を実施しており、評価を通じて受診事業所の質の向上とモチベーションの向上に努めている。

令和4年度は5施設・事業所の訪問調査を実施した。評価調査者の養成も行い、評価調査者・審査委員合わせて37名の体制となった。

##### 1 評価調査体制

評価調査者（兼評価審査委員） 35名

評価審査委員 2名

## 2 訪問調査実績・評価審査委員会

訪問調査：

- 7月22日 特別養護老人ホームサンフラワーガーデン（介護老人福祉施設）
- 10月24日 介護老人保健施設陽生苑（介護老人保健施設）
- 10月25日 ケアプランセンター虹（居宅介護支援）
- 2月20日 ふれあいステーションゆきわり（訪問看護）
- 3月30日 訪問介護センターやすらぎ（訪問介護）

計5事業所

評価審査委員会（Webのみ）9/13 11/29

## 3 研修会

- a 令和4年度介護サービス評価調査者養成研修  
（動画配信）8/8～19（会場のみ）9/2、10/14  
受講者／2名（新規）

## 4 会議等

- a 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構総会（会場のみ）6/20
- b 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会（会場のみ）6/9 3/29
- c 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構認定・公表委員会（文書審議）2/24
- d 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構評価機関連絡会議（Webのみ）7/15
- e 京都介護・福祉サービス第三者評価ネットワーク会議（Webのみ）5/13 7/15 10/21  
（Web併用）1/20

## D 京都市新規介護認定調査事業

当協会では京都府より介護保険法第24条の2第1項に規定する指定市町村事務受託法人の指定を受けて、京都市からの依頼により、会員施設の介護支援専門員等の協力を得て京都市内での認定調査を実施している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、37名（令和4年3月末時点）の調査体制で年間4,000件以上の調査を実施するとともに、独自にeラーニング講座を開設し、調査員がインターネット上で講義動画の視聴及び確認テストに取り組むことで調査の質の維持・向上も図り、認定調査を通じて介護サービスの利用を希望する方々への援助に努めた。

### 1 調査実施体制（令和5年3月31日現在）

認定調査員 37名（登録職員）

### 2 認定調査実績

令和4年	4月=472件	5月=399件	6月=408件	7月=418件	8月=355件
	9月=397件	10月=462件	11月=405件	12月=394件	
令和5年	1月=344件	2月=429件	3月=413件	計4,896件	

### 3 その他の取り組み

12月22日～3月31日 要支援・要介護認定調査 eラーニング講座（オンライン）

オンライン参加申込／37名

研修内容／認定調査の基本的な考え方 その1 【要介護認定と認定調査の考え方】

認定調査の基本的な考え方 その2 【基本調査と特記事項】

能力で評価する調査項目

介助の方法で評価する調査項目

有無で評価する調査項目

重点講座 特に確認いただきたいポイントのまとめ

## 【地域医療部】

### I 地域医療構想への取り組み

#### A 地域医療構想をめぐる状況

京都府における地域医療構想は、平成29年3月に地域包括ケアシステムの一環として地域医療構想を位置付けた「京都府地域包括ケア構想」が策定され、平成30年4月からの京都府保健医療計画に盛り込まれた。構想策定には、京都府医療審議会地域医療構想策定部会に当協会長が参画した。

京都府内の各構想区域の地域医療構想調整会議では、平成30年度より京都府地域包括ケア構想の達成に向けた協議が始まり、各調整会議には地域の病院が主体的に参加している。特に病院数の多い京都市域地域医療構想調整会議には当協会から当協会長・副会長の3名が参画するとともに、京都市域を4ブロックに分けて病院が参加する意見交換会が開催されている。

病床機能報告の各病棟の医療機能の選択の参考になる基準（定量的基準）の検討では、平成30年10月に設置された京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキングに参画し、当協会から提案した診療報酬基準に基づく重症度及び大規模病院の病棟構成の特徴を配慮した定量的分析が京都方式として採用された。

国は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により病床の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたとして、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを求めている。京都府内の病床機能等の見直しは、令和4年度については目立った動きはないものの、特に京都・乙訓医療圏の京都市内の4つのブロックで、各病床機能の割合に大きな差がみられており、今後どのように調整を行うのが課題となっている。また、令和6年3月末で廃止となる介護療養病床は、介護医療院への転換が着実に進んでいる。

京都府、京都市、医療関係団体と情報交換や連携を密にしながら京都府における医療提供体制が後退することのないよう動向を注視している。

#### B 地域医療構想検討委員会

地域医療構想は、地域の将来の医療需要の推計に基づき、病床の医療機能分化を進めるものであり、病院はもとより地域医療に大きな影響を及ぼす重要課題として、当協会は平成27年6月に正副会長で構成する地域医療構想検討委員会を設置した。委員会では国の動き、京都府医療審議会・各圏域の地域医療構想調整会議における検討状況を集約・把握して対応を協議し、折に触れて京都府・京都市と意見交換、意見具申をしている。

また、厚生労働省主催の医療政策研修会には当協会が参加し、地域医療構想に関連する各種施策の進捗状況や今後の方向性等の情報収集を行っている。

会員施設には、全職員が地域で求められる病床機能を担うために、職能別及び課題別の会議・研修会で地域医療構想、地域包括ケアシステムに関する説明を行い、その実現に向けての意識定着に取り組んだ。

## 1 委員会

委員長：清水鴻一郎

委員：久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、  
真鍋由美

開催日 政策委員会開催時に検討

## 2 主な活動

- a 京都市域地域医療構想調整会議への役員派遣（清水鴻一郎、久野成人、武田隆久） 7/7
- b 京都市域地域医療構想調整会議ブロック会議への参加
  - Aブロック（北区、上京区、左京区） 3/16
  - Bブロック（右京区、西京区） 3/9
  - Cブロック（中京区、東山区、下京区、南区） 3/17
  - Dブロック（山科区、伏見区） 3/22
- c 都道府県医療政策研修会（厚生労働省主催）への参加
  - 令和4年度第1回医療政策研修会・地域医療構想アドバイザー会議 9/15
  - 令和4年度第2回医療政策研修会・地域医療構想アドバイザー会議 1/20
- d 京都府及び京都市との意見交換・連携
- e 職能別及び課題別会議・研修会等での情報提供

## Ⅱ 救急・休日・時間外診療体制の推進

### A 京都府下における二次病院群輪番制

#### 1 京都市域二次病院群輪番体制

京都市域（乙訓2市1町含む）における二次救急医療体制の充実を図る制度として発足後40年が経過し、参加病院をはじめ関係医療機関に定着している。令和4年度についても京都市域の参加病院が共同連携し、輪番制方式により休日・夜間等における救急患者の医療の確保・充実に努めてきた。

令和4年度は56病院の参加を得、うち小児協力病院については10病院による体制で運営が行われた。

担当役員／清水史記

#### 1) 協力病院一覧（○印は小児も担当 \*印は会員外病院）

Aブロック＝北区・上京区・左京区

愛寿会同仁 賀茂 京都大原記念 京都からすま 京都下鴨 京都博愛会  
京都民医連あすかい 富田 西陣 ○日本バプテスト 室町 洛陽

Bブロック＝右京区・西京区・向日市・長岡京市・大山崎町

泉谷 太秦 内田 河端 ○京都桂 ○京都民医連中央 ○\*済生会 シミズ 新河端  
千春会 長岡京 西京都 ○三菱京都 向日回生 洛西シミズ 洛西ニュータウン

Cブロック＝中京区・下京区・南区

明石 がくさい 吉祥院 ○\*京都市立 京都回生 京都九条 京都武田 京都南  
十条武田リハビリテーション 新京都南 相馬 ○武田 原田 堀川 吉川 洛和会丸太町

Dブロック＝東山区・山科区・伏見区

愛生会山科 ○医仁会武田総合 大島 金井 ○\*京都医療センター 京都久野 共和  
蘇生会総合 なぎ辻 伏見桃山総合 むかいじま ○洛和会音羽

## 2) 当システムを利用した入院・外来別患者搬入状況

	令和4年度	令和3年度
入院	1,220名	1,147名
外来	3,959名	2,907名
計	5,179名	4,054名

搬入されてきた患者が輪番制度の利用によるものか判別できない場合があり、明らかな患者のみを集計したため、実際の搬入患者数はこれを上回るとされる。

## 3) 補助金（会員病院への交付総額）

令和4年4月～令和5年3月…63,604,000円

令和3年4月～令和4年3月…61,272,000円

1 当番日あたりの運営補助金は、基本32,000円（日・祝日の夜間は64,000円）、年末年始（12/29～1/3）については、昼間は52,000円、夜間は104,000円であった。（令和3年度と同額）

## 4) 輪番編成会議 小児：（書面） 7/20 1/26

一般：（書面） 8/5 2/7

小児・一般輪番編成（書面）は事前に各病院の当番可能日を調査し、事務局が取り纏めた編成表案を書面で確認し編成を行った。いずれの編成会議においても、輪番当番病院心得・業務の確認及び、補助金申請に関する周知を行った。

## 2 山城北二次病院群輪番体制

平成7年4月より山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町）を対象とした二次病院群輪番制が発足し、28年が経過した。各自治体、財政難による影響もあり、関係市町村での補助金の確保が難しい状況になりつつあるが、令和4年度についても関係医療機関の協力により円滑な運営が行われた。

担当役員／石丸庸介

1) 診療日／日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

2) 診療時間／昼間 午前8時～午後6時 夜間 午後6時～翌朝午前8時

3) 協力病院一覧（\*印は会員外病院）

宇治徳洲会 京都岡本記念 都倉 宇治武田 京都きづ川 \*国立病院機構南京都  
久御山南 男山 八幡中央 京都田辺中央

#### 4) 当システムを利用した入院・外来別患者搬入状況

	令和4年度	令和3年度
入院	146名	123名
外来	849名	703名
計	995名	826名

京都市域二次病院群輪番制と同様に、実際の搬入患者数はこれを上回ると思われる。

#### 5) 補助金（会員病院への交付総額）

令和4年4月～令和5年3月…10,709,760円

令和3年4月～令和4年3月…10,638,720円

1当番日あたりの運営費補助金は71,040円で、年末年始（12/29～1/3）については、111,040円であった。（令和3年度と同額）

#### 6) 輪番編成会議（書面）8/5 2/7

京都市域と同様の内容で開催した。

## B 京都府周産期医療情報システム

総合周産期母子医療センターは当該システムを運営する基幹病院として京都第一赤十字病院が指定を受けており、京都府全域からの周産期医療情報を常時一元的に把握して、母体・新生児の生命を守るネットワーク事業の核となっている。現在は国の整備指針による必要病床数や医療従事者数を満たし、適切な医療提供体制が確保されているが、NICU 病床については、病院間の連携による、最適化を図る必要が出てきている。府下の医療圏を北部と南部のブロックに分け、高度医療を提供するサブセンター（2病院）、救急搬送を受け入れる二次病院（16病院）がそれぞれ指定されており、京都府における救命率の向上に貢献している。

平成30年度には、周産期医療体制を強化するため、京都府、京都第一赤十字病院、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の4者間において「京都府周産期医療体制強化に関する協定」が締結されている。また、令和4年度には、産科医師の不足に対応するため、医療機関が患者情報を共有できる「妊産婦モニタリングシステム」を導入し、安心・安全に分娩ができる体制の構築を図った。

当協会では、体制整備に必要な調査および情報システムなど周産期医療体制の確立に必要な事項について協議する京都府周産期医療協議会に委員を派遣し、協会の意向を申し伝えている。同協議会では、診療体制の整備された分娩環境や未熟児に対する需要の増加に応えるため、地域において妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する、総合的な周産期医療体制が整備されることを目的に開催されている。また、同部会では、協議会にて検討された後方搬送受入協力病院制度について、各周産期母子医療センターの関係者が一堂に会する機会を設け、同システムの円滑な運用を図った。

令和4年度第1回京都府周産期医療協議会 7月8日 於：京都ガーデンパレス (石丸庸介)  
令和4年度第2回京都府周産期医療協議会 9月9日～9月21日 書面開催 (石丸庸介)

### C 京都府精神科救急医療システム

京都府では、北部地域と南部地域において、平日の夜間、土日、祝日に精神科医療を必要とする患者を対象に、精神科救急医療システムが稼働している。精神科救急医療に関する電話相談や病院紹介、関係機関との連絡調整にあたる窓口として、精神科救急情報センターが24時間体制で運営され、必要な患者について基幹病院が対応し、京都精神病院協会加盟病院が支援病院として協力している。システムの対象外となるケースは、アルコール・薬物依存・シンナー・覚醒剤等の中毒性疾患による酩酊や依存状態のほか、疾患ではなく状況が緊急性を帯びる場合（認知症・精神遅滞・人格障害の一部）、身体的治療が優先される状態等の場合である。

北部のシステムは綾部市、京丹波市以北の地域が対象で平成21年度以降は、北部と南部の2箇所で開催されていた救急情報センターを京都市こころの健康増進センターに一元化し、北部地域の基幹病院は従来通り舞鶴医療センターが担当している。

南部は京都府と京都市の協調事業で、対象は北部以外の地域となっている。情報センターは京都市こころの健康増進センターに置かれ、基幹病院は京都府立洛南病院が担当する。

令和4年度についても平成30年度から5年間を計画年度とする保健医療計画に沿って、身体疾患と精神疾患を併せ持つ患者の医療提供体制を整備するべく、精神科救急医療連携強化事業が山城北医療圏で試験的に実施されている。本事業では身体合併症患者に係る事例検討会も開催され、関係機関から代表が出席し、事業の円滑な運営を図ることを目的に検討・意見交換が行われている。

京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議 (Webのみ) 2月22日 (武田隆久)  
京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議 (Webのみ) 3月14日 (武田隆久)

### D 京都府救急医療情報システム

京都府では、病院や診療所・歯科診療所、助産所及び薬局等に関する各種情報を収集し、府民に健康で充実した生活を送ることができるよう、総合的な健康医療情報を提供するホームページとして、京都健康医療よろずネットを開設している。同時に救急医療情報システムも一体的に運用しており、休日等に受診することができる身近な医療機関情報等も検索・閲覧可能としている。

本システムは、厚生労働省による広域災害システム（広域災害発生の際に、医療機関の被災状況、被害者要請や医療スタッフの要請・提供などの情報を収集・提供し、被災地域の医療活動を支援する）に対応している。平成20年度に実施された新システムの導入後、インターネットにより救急情報以外の医療機関情報等を検索する機会が増加したため、府民からのアクセス件数が増加し、令和4年度は概ね160,000件前後で推移している。

京都健康医療よろずネット：<http://www.mfis.pref.kyoto.lg.jp/ap/qq/men/pwtpmenuult01.aspx>

## Ⅲ 救急医療への取り組み

### A 救急医療をめぐる状況

少子高齢社会が進む中、とりわけ高齢者に対する救急の割合が圧倒的な増加傾向にあり、今後は有病率の高い癌の治療及びそのターミナルの問題と、脳卒中、骨折、肺炎など、高齢者の急病変化に対する高齢者救急への対応が喫緊の課題となっている。

こうした中でも京都府下の救急医療体制は各医療圏の会員病院の協力により他府県と比べても安定した体制を維持している。しかし、安定的な救急医療体制の確保には行政からの支援策（補助金）が必須であるが厳しい財政状況を理由に、今後見直される可能性もありうる。京都府下では、京都市域、山城北圏域において病院群輪番制が稼働しており、現在まで大きなトラブルもなく、その役割を果たしている。京都市では、市財政が大変厳しいことを理由とし、平成21年度以降は輪番協力病院への補助金の減額措置が執られている。救急医療体制の整備には、医師・看護師等の医療スタッフを配置することが絶対条件であり、その配置に要する人件費等の大半は医療機関からの持ち出しとなっている。こうした大変厳しい状況下でも地域住民の生命と安全を守るという使命感で地域の救急医療の中心を担っているのは民間病院であり、この献身的な取り組みが行政や地域住民から評価されるよう、継続した周知活動を行う必要がある。

最近ではテレビや新聞等による救急医療をテーマとした関連記事が頻回に渡って報道されるようになり、救急医療現場の厳しい状況が一般市民にも情報として入ってくる機会が増えたことから、救急医療への関心は浸透しつつある。新型コロナウイルスの感染拡大時には、救急隊が搬送先の医療機関の選定に時間を要する事案が急激に増加したことから、一定の条件に達した搬送困難症例は京都府救急医療情報システムの機能を用いて、複数の医療機関に一斉に搬送要請を行い、応需できる医療機関をいち早く決定するよう連絡体制の強化を図った。また、新型コロナが5類に引き下げられることに伴い、外国人観光客の診療が増加することが予想されるため、その体制整備が必要となっている。その他当協会では医療関係団体と協議しながら救急医療に関する様々な課題の解決を目指し、検討を継続している。

### B 救急医療検討委員会

委員構成は救急担当理事と会員病院の代表（医師）、事務長会、看護部長会の代表で、病院の救急医療全般に係る諸問題について検討している。

令和4年度は「救急医療における新型コロナ対応の取り組みについて」をテーマに研修会を行った。

#### 1 委員会

委員長：武田隆久（担当役員）

委員：富士原正人、清水 聡、清水史記（以上、担当役員）、隅田靖之（洛和会音羽病院）、末廣健児（事務長会）、篠田浩之（事務長会）、南 京子（看護部長会 ～令和4.5）、岩田裕花（看護部長会 ～令和4.5）、坂田 薫（看護部長会 令和4.6～）、

下岡美由紀（看護部長会 令和4.6～）

開催日 (Web 併用) 2/27 (Web のみ) 6/13 9/5 12/19 計4回

## 2 主な活動

### a 研修会

2月27日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／3名 オンライン参加申込／68名 計／71名

テーマ／「救急医療における新型コロナ対応の取り組みについて」

講師／①成宮博理（京都第二赤十字病院救急科副部長）

②武田 純（武田病院院長）

③久野成人（京都久野病院理事長・院長）

竹内千裕（京都久野病院地域連携室副主任）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

### b 実態調査の実施

・「令和4年度救急医療に関する実態調査～コロナ禍における救急医療体制～」

### c 京都救急医療研究会の開催（共催：京都府医師会、京都府病院協会）

\*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

## C 交通事故医療

自賠責保険をめぐっては、京都府医師会（京都私立病院協会、京都府病院協会含む）と日本損害保険協会近畿支部、損害保険料率算出機構京都調査事務所の三者による京都府交通事故医療連絡協議会を開催し、自賠責ガイドラインの採用医療機関の増加に向けて協議が進められている。協議会及び自賠責の研修会は2年に1度開催されており、今回は令和5年度に開催を予定している。

また、診療費請求をめぐる当事者間の紛争の仲裁・解決に当たる「苦情処理委員会」が設置されており、案件が出た場合に開催をしている

### 1 京都府交通事故医療連絡協議会

当協会からの派遣委員：武田隆久（担当役員）

苦情処理委員会：武田隆久（担当役員）

## D 災害医療

災害時の医療体制整備に備えて、平成25年度より京都府医師会が創設した「JMAT 京都」では、会員病院医師の登録募集及び病院の窓口登録、研修会の案内や取りまとめを行う等、当協会が窓口となり全面的に協力を行っている。また、原発事故により、医療・介護を必要とする高齢者や障害者など、避難に支援が必要な方々（災害時要配慮者）への京都府の対応として、会員病院や介護・福祉施設で約5,000人の受入体制の構築に協力している。その他各病院は新型コロナウイルス感染症の感染防止に加え、災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、医療機能の継続や復旧を図るための「事業継続計画（BCP）」の策定を進めている。

## 1 JMAT 京都への病院窓口及び医師登録等

病院登録／34病院 医師登録／276名

# Ⅳ 医療安全対策への取り組み

## A 医療安全対策をめぐる状況

平成26年6月の医療法改正に伴い、医療事故が発生した医療機関が院内調査を行い、その調査報告を第三者機関（医療事故調査・支援センター）が収集・分析することで再発防止につなげる仕組み（医療事故調査制度）が医療法に位置付けられ、平成27年10月から施行された。

本制度の目的はあくまで「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡及び死産を予期しなかった」医療事故事例を収集し医療界全体の安全を向上させることにあり、従来の医療事故の定義も異なれば、責任追及を目的としていない。かつて医師法21条の誤った解釈と運用により、警察への届出、医療過誤による業務上過失致死罪の立件件数が激増し、外科・産科をはじめ多くの医師が去った医療崩壊が再び起こることがあってはならない。

これを踏まえ、当協会では会員施設において本制度の正しい理解と対応が図られるよう、従来から実施している医療安全対策に資する研修を継続して企画・開催しているほか、本制度に関する情報収集を積極的に行い、会員施設から本制度の内容、医療事故の報告対象に係る相談を受け付ける「医療事故調査制度相談窓口」を平成27年に開設し、当協会担当役員と事務局担当者によるサポートを行っている。

今後も医療事故調査制度の動向を注視しながら、当協会として必要な対応を行い、医療安全の向上に努めることにしている。

## B 医療安全対策委員会

医療機関における医療事故の発生が各方面で取り上げられ、患者からの医療の質・安全に対する社会的な要求が高まっている中、当委員会では会員施設における先進的な医療安全対策システムの構築に向けた支援を行ってきた。

また、医療法施行規則が平成14年10月に一部改正されたことに伴い、全ての病院及び有床診療所について、4項目の医療安全管理体制の確保が義務付けられたが、その中の1つに医療に係る安全管理のための職員研修の実施が挙げられており、当委員会では会員施設の職員を対象とした研修会を毎年企画開催している。令和4年度は、新人職員対象と中堅職員対象の全2回の研修会をオンラインで実施した。

### 1 委員会

委員長：小森直之（担当役員）

副委員長：武田隆久（担当役員）

委員：坂本裕里、山口寛士（事務長会）、坂田 薫（看護部長会）、

大津山裕美子（薬剤師部会）、小池義雄（放射線技師部会）、増田哲也（臨床検査部会）、  
尾谷雅章（リハビリテーション部会）、赤尾 志（栄養士部会）、  
藤井 耕（臨床工学技士部会）

開催日 （Web 併用） 5/23 8/29 12/26 計3回

## 2 主な活動

### a 研修会

#### 新人職員向け

8月29日 於：京染会館（Web 併用）

会場参加／6名 オンライン参加申込／114名 計120名

テーマ／「医療安全に必要な safety-2と心理的安全性

－インシデント報告を有効活用するために－」

講 師／藤井 耕（京都民医連あすかい病院医療安全対策室室長）

説 明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

#### 中堅職員向け

12月26日 （Web） オンライン参加申込／93名

テーマ／「医療安全文化の醸成」

講 師／松村由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部部長）

説 明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

## 3 その他の取り組み

- ・医療安全対策の促進に向けた情報収集
- ・医療事故調査制度に係る情報収集、相談窓口の運営

# V 感染症対策への取り組み

## A 感染症をめぐる状況

令和4年度も、新型コロナウイルスは脅威となり続け、6月からの第7波・11月からの第8波（オミクロン株）では、これまでの波を上回る規模で感染が拡大した。これに対し、京都府内の医療提供体制は、令和4年3月末現在で1,027床の確保病床、175床の重症病床（51床の高度重症病床）となり、いずれも令和3年度よりも増加した。発熱症状等がある場合に診療・検査を行う「診療・検査医療機関」、コロナ回復後も継続して加療等が必要な方対象の「療養支援病床」、自宅・宿泊療養中の陽性者の病状等が悪化した場合に診療・検査を行う「陽性者外来」も増加しており、会員施設においても医療提供体制の拡充に努めてきた。しかし、感染拡大時においては、病床のみならず、医療従事者の体制のひっ迫も生じ、救急の受け入れ、新型コロナ感染症以外の通常診療、手術にも大きな影響を及ぼした。感染拡大時における医療のひっ迫とそれに伴う自宅療養者の増加を避けることは、もはや困難となっている。

令和4年9月26日からは「With コロナに向けた新たな段階への移行に基づく療養の考え方の見

直し」(医師から保健所への発生届の全数届出の見直し)等が実施され、発生届の対象を65才以上の人、入院を要する人など、重症化リスクの高い人に限定して保健所が引き続き支援し、発生届対象外の人で希望者には、新たに設置されたフォローアップセンター(京都府:新型コロナ健康フォローアップセンター、京都市:新型コロナ陽性者フォローアップセンター)が支援にあたることとなった。

原則として入院治療の必要がない陽性者や無症状者対象の宿泊療養施設は、令和5年3月末で3施設1,126室となっており、このうち1施設は当協会が京都府の委託を受け、令和3年9月からの開始から会員施設の協力の下、24時間体制による看護師の派遣をおこなっており、令和4年度は年間を通して派遣した。さらに、令和3年6月から新型コロナワクチンの集団接種を京都市から受託し、令和4年度も会員施設並びに京都大学からの協力を得て、年間を通して集団接種に従事する医師・薬剤師・看護師を派遣した。

令和5年1月、国は新型コロナの感染症法上の位置づけを令和5年5月8日から5類感染症に移行することを決定し、医療提供体制は幅広い医療機関で新型コロナ患者が受診できるよう、必要となる感染対策を講じつつ段階的に移行することとなった。しかし、医療機関では重症化リスクの高い患者が多く、新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない中で、5類移行後も感染症対策の徹底を継続しなければならず、十分な対策が可能となるよう、診療報酬の臨時特例、看護配置の特例、病床確保料などの継続が必要である。

当協会では、京都府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議をはじめ重要な審議会に参画し、京都府内における新型コロナウイルスの感染拡大防止、医療提供体制の確保に向け、府内の民間病院を代表する立場として意見・要望を行っている。京都府、京都市、京都府医師会、京都府病院協会をはじめとする行政・医療関係団体との意見交換や情報共有も行き、関係者間と連携しながら対応にあたっている。

a 京都府が設置する新型コロナ関連の審議会等への参画

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 7/15 9/21

於: 京都府職員福利厚生センター

- ・新型コロナウイルス感染症にかかる意見交換会 5/13 6/29

於: 京都府職員福利厚生センター

- ・入院調整機能の移行に係る意見交換会 3/6

b 新型コロナウイルス感染症に係る要望活動

- ・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望(資料1) 5/26

於: 京都府庁、京都市役所

- ・公明党 2023年度予算・税制要望並びに政策懇談会で、新型コロナ対策への財政的支援の継続、医薬品不足の解消、新型コロナワクチンの接種に係る事業継続、感染防護・管理のあり方について要望 10/15 於: 京都東急ホテル

- ・令和5年度予算に関する要望で、新型コロナウイルス感染症に係る予算も含め、京都府知事、京都市長に要望 10/20(京都府) 11/25(京都市) 於: 京都府庁、京都市役所

c 京都市新型コロナワクチン集団接種事業

京都市からの委託を受け、会員施設等からの協力を得て京都市の新型コロナワクチン集団接種会場に医師、薬剤師、看護師を派遣した。

集団接種会場

東山地域体育館	期間：4/16～11/26	計31日間
伏見区役所深草支所	期間：4/16～2/25	計40日間
イオンモール KYOTO	期間：4/29～5/15 7/1～3/24	計74日間
京都市役所（小児）	期間：4/2～2/25	計52日間
イオンモール京都桂川	期間：3/4・3/25	計2日間

d 京都府新型コロナ宿泊療養施設事業

京都府からの委託を受け、会員施設等からの協力を得て京都府の新型コロナウイルス感染症軽症者等の宿泊療養施設に看護師を派遣した。

期間：4/1～3/31

毎日、日勤・夜勤24時間体制で感染拡大時にも対応した看護師（看護師長、リーダーを含む）を派遣

e 京都府及び京都市からの依頼を受け、当協会から会員施設に協力を依頼

- ・ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の発熱患者等の外来診療体制についての照会
- ・きょうと新型コロナ相談センターからの紹介患者の受入に関する協力依頼
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者へのパルスオキシメータの配布にかかる協力依頼 ほか

## B 感染症対策委員会

感染症に係る諸問題への対応と院内感染対策を講じるため、当協会役員、看護部長会・臨床検査部会からの派遣委員、会員内の専門医師・認定看護師による構成で感染症対策委員会を組織している。

本委員会では、病院の感染症対策に加えて褥瘡対策に資する取組も担っている。令和4年度は、新型コロナ感染症対策と褥瘡治療・予防に資する開催、会員施設での感染防止対策の取組の参考として「感染症対策マニュアル（2023年1月版）」の発行、診療報酬の感染対策向上加算を算定していない病院と個別に新型コロナ感染症対策に関する情報交換を通じて助言を行う「新型コロナウイルス感染防止対策に係る支援」、抗菌薬適正使用マニュアル（2019年9月版）の改訂に向けての検討、当協会ホームページで発信しアクセス数も多い「新型コロナのわかりやすい解説」の更新を行った。そのほか、会員施設に関連性が高い感染症に関するトピックスを毎月発行の当協会会報誌「京都私立病院報」で発信した。なお、感染対策・褥瘡対策に関する会員施設からの相談に対しては、当委員会が書面による相談を受け付けて回答した。

### 1 委員会

委員長：清水 聡（担当役員）

副委員長：清水史記、菊地三弥（以上、担当役員）

委員：山田 豊（京都民医連中央病院）、浅野育子（薬剤師部会）、永野裕子、  
谷口文代（以上、看護部長会）、深澤武志（臨床検査部会）、細野恵理（三菱京都病院）

開催日（Web 併用） 5/12 7/7 9/8 12/22 3/7 計5回

## 2 主な活動

### a 研修会

9月8日 於：京都経済センター（Web 併用）

会場参加／6名 オンライン参加申込／67名 計73名

テーマ／「市中病院での新型コロナウイルス感染症への対応～ある中小病院での経験～」

講師／堀田 剛（新京都南病院内科医長）

テーマ／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント－」

説明／京都私立病院協会事務局

12月22日 於：京都経済センター（Web 併用）

会場参加／5名 オンライン参加申込／58名 計63名

テーマ／「褥瘡・スキンケア・IAD（失禁関連皮膚炎）の違いを理解する」

講師／宇野育江（かなえるリハビリ訪問看護ステーション都管理者、皮膚・排泄ケア認定  
看護師）

テーマ／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」

説明／京都私立病院協会事務局

3月7日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／4名 オンライン参加申込／55名 計59名

全体テーマ／「新型コロナウイルス感染症－公衆衛生、情報、救急現場の立場から－」

テーマ／「パンデミック時の治療薬開発 R & D

～基礎ではなく、クリニカルトライアルの観点から～」

講師／神代和明（東北大学大学院医学研究科助教、元厚生労働省クラスター対策班）

テーマ／「気をつけるべきコロナの誤情報～医療者が身につけたい情報リテラシー～」

講師／山本健人（医学研究所北野病院消化器外科腫瘍研究部医員・研究員）

テーマ／「京大病院におけるコロナ診療体制の紹介」

講師／石黒義孝（京都大学医学部附属病院初期診療・救急科特定病院助教）

テーマ／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－京都府の人口・患者動態から－」

説明／京都私立病院協会事務局

b 「感染症対策マニュアル（2023年1月版）」の発行

c 「抗菌薬適正使用マニュアル（2019年9月版）」の改訂作業

d 新型コロナウイルス感染防止対策に係る支援

会員施設2病院に実施

実施日（Web 併用） 11/11 12/22

- e 当協会ホームページ「新型コロナの分かりやすい解説」の更新  
更新日／3月22日 URL [https://www.khosp.or.jp/corona\\_information](https://www.khosp.or.jp/corona_information)  
更新に向けたオンラインミーティング／11/16 1/24 2/9
- f 感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口の開設
- g 日本環境感染症学会主催院内感染対策講習会への推薦  
研修受講者／会員施設より医師1名、薬剤師1名、看護師1名、臨床検査技師1名  
\*令和4年度は、令和4年11月から令和5年2月の受講期間でeラーニングシステムによる開催
- h 毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情報提供（京都私立病院報）

## Ⅵ 京都式地域包括ケアシステムの推進

少子高齢化、人口減少社会の中で、京都府では高齢者が介護や療養が必要になっても住み慣れた地域で、24時間・365日安心して暮らせる「京都式地域包括ケアシステム」を実現するべく、その推進組織である「京都地域包括ケア推進機構」において行政や医療・介護・福祉関係等の機関・団体が連携・協働し、様々なプロジェクトが実施されている。

機構には当協会からも理事として参画し、プロジェクトの一環として平成24年1月から開始された「在宅療養あんしん病院登録システム」の運用推進に関わるとともに、平成23年度から実施している「府民リハビリテーション啓発支援事業」では、在宅医療・生活を支える病院の立場として、感染防止対策の徹底やオンラインでの啓発に努めながら可能な限りの啓発を行っている。

また、認知症総合対策として京都府が平成25年度に策定した「京都式オレンジプラン」から始まり平成30年3月に「新・京都式オレンジプラン」へ改定された後も、その施策の一つである医療関係者の資質の向上を図るべく、京都府内病院に勤務する医療関係者の認知症対応力向上のための研修事業（集合研修及び訪問研修等）を京都府から受託実施している。平成28年度からは京都市からも委託を受けて京都市内病院への訪問研修を行っている。

平成26年度からは消費増税分を財源とした「京都府地域医療・介護総合確保基金」が創設され、当協会では基金事業として医療従事者の勤務環境改善促進、医療従事者の確保・定着・資質向上、病院における在宅医療、介護の人材育成・連携に資する事業を平成27年度から実施している。平成30年度からは、全職員が地域で求められる病床機能を担うために、職能別及び課題別の会議・研修会で地域医療構想、地域包括ケアシステムに関する説明を行い、その実現に向けての意識定着にも取り組んでいる。

令和4年度も一部の事業で新型コロナウイルスの影響を受けたが、Zoom等のITも活用しながら地域包括ケアシステムの推進に必要な各種事業を実施した。

### A 在宅療養あんしん病院登録システム

「在宅療養あんしん病院登録システム」は、在宅で療養生活を送る65歳以上の高齢者が、かかりつけ医の支援により病院を事前に登録することで、体調不良時に病院への早期アクセス・早期治療

ができ、早期退院の実現に繋げ、在宅療養を維持することを目的とするシステムである。

当該システムが機能するためには、会員病院による在宅療養あんしん病院（以下、「あんしん病院」とする）への参画が必要不可欠であるが、134病院（令和5年3月31日時点）があんしん病院として指定されており、その大半を占める会員施設の協力のもとで、在宅高齢者の安心に寄与するべく尽力している。令和5年3月末時点での累計登録件数は17,059件である。

令和4年度も引き続き、システム登録者の入院等の利用状況、退院時の患者へのシステムの紹介や院内でのシステムの周知の状況等を把握し、システムの普及や改善に結びつけるためのアンケート調査を実施した。その結果、令和3年度よりも利用者は減少したが、その原因として、新型コロナウイルス感染症の第7波をはじめとした、かつてない規模の感染拡大で病床がひっ迫したことにより、本システムによる受入が困難になったことや、登録者の方やご家族が感染防止のために本システムの利用を控えたこと、コロナ禍で本システムの周知が十分にできなかったこと等が考えられる。

一時的に利用者は減少したものの、中長期的視点では、今後も更なる高齢者の増加が見込まれる中で、高齢者の安心・安全、地域包括ケアにおいて必要なシステムであるという認識で、当協会として更なる制度の普及・推進に努めている。

#### 1 京都地域包括ケア推進機構への参画

京都地域包括ケア推進機構理事：清水鴻一郎

在宅療養あんしん病院登録システム運営委員会：久野成人、富士原正人

#### 2 在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査の実施（令和4年10月～12月）

## B 府民リハビリテーション啓発支援事業

平成23年度より京都地域包括ケア推進団体等交付金事業として「府民リハビリテーション啓発支援事業」を実施しており、令和4年度も継続して事業を実施した。

本事業は、要介護者・要支援者が増加する中で、リハビリテーションの必要な地域に専門職で構成するキャラバン隊を派遣して当該地域にリハビリテーションの啓発を行い、高齢者の在宅療養生活の継続に資することを目的としている。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染拡大による中止や辞退が一部あったが、8市町村11包括15箇所延べ247名へのリハビリテーションの啓発を行った。また、啓発DVDを地域の担当者等に向けて、延べ27名に伝達講習を実施した。さらに、地域包括支援センターの職員を対象にコロナ禍において高齢者の支援を行うためにどのような取り組みを行うことが効果的であるのかをリハビリ専門職の各職種の視点から、アドバイスやポイントの解説を行った後、包括の現状を踏まえた意見交換を行うオンライン啓発活動を行い、コロナ禍に左右されないリハビリテーション啓発の体制づくりに努めた。

#### 1 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会

委員：富士原正人、武田隆久、児玉直俊（以上、担当役員）、田村 篤、織田泰匡、田後裕之、山本佐知子（以上、リハビリテーション部会運営委員会）

開催日 検討委員会 (Webのみ) 6/14 2/13 計2回

## 2 事業実施実績

a 京都府北部および南部の地域包括支援センターに地域のリハビリテーションの提供状況に関するアンケート調査を実施

b 啓発キャラバン隊の訪問状況

8月30日	舞鶴市	キャラバン隊派遣／11名 於：舞鶴市南公民館	参加者／12名
9月20日	福知山市	キャラバン隊派遣／10名 於：野花公会堂 於：梅谷公民館	参加者／15名 参加者／19名
9月29日	福知山市・綾部市	キャラバン隊派遣／10名 於：新町公民館 於：東八田公民館	参加者／26名 参加者／16名
10月5日	与謝野町・宮津市	キャラバン隊派遣／10名 於：加悦地区公民館 於：府中地区公民館	参加者／10名 参加者／22名
10月26日	福知山市	キャラバン隊派遣／7名 於：ミライト中六	参加者／14名
11月25日	福知山市	キャラバン隊派遣／11名 於：六人部地域公民館 於：大池坂成仁集会場	参加者／7名 参加者／20名
12月8日	福知山市	キャラバン隊派遣／12名 於：前田区公会堂（午前） 於：前田区公会堂（午前）	参加者／15名 参加者／10名
2月2日	和束町・笠置町	キャラバン隊派遣／8名 於：和束町老人福祉センター 於：つむぎてらす	参加者／39名 参加者／6名
2月17日	南山城村	キャラバン隊派遣／8名 於：南山城村文化会館やまなみホール	参加者／16名

合計247名に啓発を実施

内 容 (基本プログラム) /

- ・作業療法士による頭の体操
- ・理学療法士によるロコモーショントレーニング、肩こり・腰痛・膝痛予防体操
- ・体力測定
- ・言語聴覚士による嚙下体操
- ・アンケート記入

c 啓発支援 DVD の伝達講習

8月30日	舞鶴市	受講者／3名
9月20日	福知山市	受講者／3名
9月29日	福知山市・綾部市	受講者／4名
10月5日	与謝野町・宮津市	受講者／3名
10月26日	福知山市	受講者／2名
11月25日	福知山市	受講者／5名
12月8日	福知山市	受講者／1名
2月2日	和束町・笠置町	受講者／5名
2月17日	南山城村	受講者／1名

合計27名に講習を実施

d オンライン啓発活動の実施状況

12月13日	キャラバン隊派遣／5名	参加者／3名
1月27日	キャラバン隊派遣／5名	参加者／5名
2月20日	キャラバン隊派遣／4名	参加者／4名

合計12名に啓発を実施

内 容（基本プログラム）／

- ・作業療法士の視点から  
「脳を活性化して認知症を予防しよう」～脳の老化と認知症予防のために～
- ・理学療法士の視点から  
「コロナ禍でも運動は大事」～運動を続けるポイントとその効果～
- ・言語聴覚士の視点から  
「えん下障害について」～えん下機能の低下の気づきと対策～
- ・啓発 DVD のご紹介・使用上の注意
- ・質疑応答・意見交換会

## C 病院認知症対応力向上事業

平成25年度より、京都府から受託し（平成28年度からは京都市からも受託）、京都府内の病院に勤務する医療従事者が認知症に関する幅広い知識やスキルを習得するとともに、病院内外における認知症対応力の強化や、医療・介護の連携の重要性を理解すること等を目的とした病院認知症対応力向上研修を実施している。

令和4年度は、厚生労働省の定めるカリキュラムに基づく認知症対応に係る基礎的な内容の研修（集合研修、訪問研修）や、過去に訪問研修を実施した病院のフォローアップ研修（訪問研修フォローアップ）、病院の医療従事者が介護関係者の認知症ケアに対する考え方等を学ぶとともに、認知症対応の医療・介護関係者の共通認識を深め、医療・介護の連携強化を図るための研修（認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修）をオンラインで実施した。

なお、事業の実施にあたっては、認知症サポート医・認知症看護認定看護師をはじめ認知症に造詣が深い多様な職種で構成する病院認知症対応力向上事業検討委員会を設置し、研修事業の企画・運営を行った。

## 1 病院認知症対応力向上事業検討委員会

### a 委員・オブザーバー

#### 委員

武田隆久、富田哲也、畑 典男、近藤泰正（以上、担当役員）、  
澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）、  
松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）、  
西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）、  
西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）、  
坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）、  
辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）  
山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）、  
川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長 主任介護  
支援専門員）、  
矢田部信行（いわくら病院地域連携室室長・精神保健福祉士）、  
山田みずほ（洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士）

#### オブザーバー

中村早苗（京都府健康福祉部高齢者支援課・京都地域包括ケア推進機構課長補佐兼係長）、  
谷口雅治（京都府健康福祉部高齢者支援課・京都地域包括ケア推進機構主事）、  
黒木阿紀子（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室地域包括ケア第二係長）、  
原 典弘（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室）

b 開催日 （Webのみ） 7/22 3/20 計2回

## 2 事業実施実績

### a 集合研修（オンライン）

令和4年度は、京都府内の全ての病院の全職種を対象に、オンラインで7回研修を実施した。毎回、認知症サポート医や認知症看護認定看護師など多職種の講師による講義と演習（事例検討等）を行い、全体で159名が受講した。

10月11日 受講者／12名

研修内容／厚生労働省の定めるカリキュラムにもとづく認知症の目的・対応力・連携に関する講義と、グループワーク形式による事例検討（以下、全日程で同様の内容）

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）  
坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）  
井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）

11月30日 受講者／27名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）  
坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）  
矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

12月1日 受講者／20名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医）  
辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）  
山田みずほ（洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士）

12月12日 受講者／20名

講師／西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）  
坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）  
山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）

1月23日 受講者／31名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）  
辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）  
川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長主任介護支援専門員）

1月31日 受講者／21名

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）  
坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）  
山田みずほ（洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士）

2月6日 受講者／28名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医）  
辰巳弥生（洛和会音羽病院 看護師長・認知症看護認定看護師）  
山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）

#### b 訪問研修（オンライン）

令和4年度は京都市内の6病院で集合研修と同様の内容の講義・演習をオンラインで実施した。動画配信による認知症の目的・対応力・連携に関する講義を実施し、オンライン上で病院と講師チームを繋ぎ、演習（事例検討等）を行った。なお、演習の際に密となることを避ける目的で当日の参加を控えた受講者には、当日の参加者より伝達講習を行った。全体で講義は106名、演習は75名（うち伝達講習受講者は21名）が受講した。

・室町病院

講義 1/11～2/15（動画配信） 受講者／34名  
講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）

演習 2/22 受講者／11名（うち伝達講習受講者は8名）

講師／講義と同様

・富田病院

講義 1/11～2/9（動画配信） 受講者／15名

講師／西村幸秀（京都九条病院介護事業部事業部長統括医師・認知症サポート医）

辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）

山田みずほ（洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士）

演習 2/16 受講者／14名（うち伝達講習受講者は3名）

講師／講義と同様

・シミズ病院

講義 1/11～3/1（動画配信） 受講者／23名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

川瀬美奈子（川越病院・看護師）

西村睦美（川越病院・精神保健福祉士）

演習 3/8 受講者／16名（うち伝達講習受講者は1名）

講師／講義と同様

・洛和会東寺南病院

講義 12/26～2/20（動画配信） 受講者／8名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）

辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）

矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

演習 2/27 受講者／8名（うち伝達講習受講者は2名）

講師／講義と同様

・原田病院

講義 1/11～2/27（動画配信） 受講者／8名

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）

演習 3/6 受講者／8名（うち伝達講習受講者は6名）

講師／講義と同様

・京都武田病院

講義 1/11～2/22（動画配信） 受講者／18名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

川瀬美奈子（川越病院・看護師）

西村睦美（川越病院・精神保健福祉士）

演習 3/2 受講者／18名（うち伝達講習受講者は1名）

講師／講義と同様

c 訪問研修フォローアップ

過去に訪問研修を実施した京都市以外の3病院を対象に標記の研修を実施した。各病院とも1日目は認知症対応に関する個別の課題等を抽出するためのヒアリングをオンラインで実施し、2日目は1日目で把握した課題等を踏まえ、講師が企画・検討を行った、病院ごとに異なる内容の研修をオンラインで実施した。なお、2日目の研修について、六地藏総合病院及び園部病院は動画配信、八幡中央病院はZoomによる生配信を行った。

・六地藏総合病院

1日目 1月20日 受講者／5名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

川瀬美奈子（川越病院・看護師）

西村睦美（川越病院・精神保健福祉士）

2日目 2/24（動画撮影） 3/8～3/15（動画配信） 受講者／5名

講師／1日目と同様

研修内容／認知症とせん妄の違い、睡眠促進、効果的な薬物療法、危険行為やケアの拒否への対応、認知症の方の円滑な入退院支援の工夫、環境整備の工夫、多職種連携の重要性等についての講義

・園部病院

1日目 2月28日 受講者／3名

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）

2日目 3/13 3/15（動画撮影） 3/22～3/28（動画配信） 受講者／87名

講師／1日目と同様

研修内容／不穏時や徘徊等への対応、転倒予防の取組、認知症を進行させないための工夫、薬剤の効果的な使用方法、意思決定支援等についての講義

・八幡中央病院

1日目 2月22日 受講者／16名

講師／西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）

辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）

矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

2日目 3月14日 受講者／10名

講師／1日目と同様

研修内容／他職種とのコミュニケーションや患者家族とかかわる上での工夫、服薬の効果的

な方法、身体拘束適正化、地域包括ケア病棟における退院調整の注意点、院内の多職種連携の推進等についての講義

d 認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修

本研修は、研修の実施対象地域を選定し、当該地域の病院や介護サービスの関係者、行政機関の認知症施策担当者等と、当事業の検討委員会が意見交換（ヒアリング）を行い、当該地域の、認知症の方の支援における医療・介護連携の課題等について把握し、把握した課題等を踏まえて研修内容を決定している。

また、研修会では、研修開催地域における認知症対応に係る取り組み（認知症初期集中支援チームの活動等）に関する内容の講演や、地域において病院と介護関係者が連携しながら認知症の方の支援を行った事例について、当該事例にかかわった病院・介護サービス関係者からの報告や、認知症への対応に関して、病院、介護サービス事業所、行政機関それぞれの立場で日頃より課題と感じていることや、他の職種や事業所に対して期待すること等について活発に意見交換を行い、地域全体で早期より認知症の方の支援を行うとともに、医療・介護サービスを切れ目なく提供する体制を構築するべく、地域の医療・介護関係者の相互の連携をより深める場となっている。

令和4年度は、宮津市・与謝野郡伊根町・与謝野町域と、城陽市・久世郡久御山町域の医療機関や介護サービス事業所等を対象に、オンラインで打ち合わせ会議及び研修を実施した。

・宮津市・与謝野郡伊根町・与謝野町域

事前打ち合わせ会議 2月13日 出席者／13名

研修会 3月11日 受講者／22名

講師／向垣有美子（宮津市健康福祉部健康・介護課介護予防係主査、宮津市地域包括支援センター）

事例報告／梶恵満寿美（宮津武田病院地域医療連携室・社会福祉士）

横川美香（宮津武田病院副看護師長）

中垣直美（夕風の里居宅介護支援事業所管理者・主任介護支援専門員）

ファシリテーター／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長・主任介護支援専門員）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

・城陽市・久世郡久御山町域

事前打ち合わせ会議 2月15日 出席者／12名

研修会 3月16日 受講者／23名

講師／園部美香（城陽市中部地域包括支援センター主任・保健師）

事例報告／井上桂子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）

植村早織（ケアプランセンターリエゾン久御山ひしの里管理者・主任介護支援専門員）

オブザーバー／山田みずほ（洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士）

ファシリテーター／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）

- e 認知症対応力向上研修（集合研修・訪問研修）受講後の取組・成果に関するアンケートの実施  
令和3年度の集合研修に多くの職員が受講した10病院において、研修受講後の各病院での取組、成果に関するアンケート調査を実施した。また、令和3年度に訪問研修を実施した6病院においても同様の調査を実施した。集合研修、訪問研修ともに受講前に比べて認知症の方への対応や理解が進み、認知症の方の入院受け入れや多職種連携の意識が高まっていることが確認できる結果となった。

- f 病院看護師のための認知症ケア講座

病院において身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められている中、認知症ケアの要である看護師を対象に、認知症患者のアセスメントや看護方法等の知識等を習得することを目的として開催した。なお、本講座は厚生労働省から診療報酬の認知症ケア加算2・3の施設基準の該当研修として認められている。両協会加盟病院から1日目、2日目ともに81名の看護師が受講し、全ての受講者が修了した。

10月17日 参加者／81名（44病院）

解 説

テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について  
－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講 師／松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）

第1章（90分） \*休憩時間を除く（以下同様）

テーマ／「認知症の原因疾患と病態・治療」

講 師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

第2章（140分）

テーマ／「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術」(演習含む)

講 師／井上桂子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）

10月18日 参加者／81名（44病院）

第3章（120分）

テーマ／「コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法」(演習含む)

講 師／山田亜由美（京都民医連中央病院看護部入退院支援課師長・認知症看護認定看護師）

第4章（120分）

テーマ／「行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法」(演習含む)

講 師／辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）

第5章（80分）

テーマ／「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」

講 師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）

## D 病院地域包括ケアシステム強化事業

当事業では、地域包括ケアシステムの推進に向けて、地域における病病・病診、医療・介護連携の更なる強化や、医療・介護の様々な知識・スキルを持ち幅広い視点で柔軟に地域包括ケアを担うことのできる病院職員の育成を図るべく、病院以外の関係者や各職種の行う取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、講義や病院以外の関係者も交えた活発な意見交換等を通じて理解を深めるための研修を実施している。

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、オンラインで研修を実施した。

本事業の実施にあたっては、検討委員会を立ち上げ、事業内容について検討を行った。また、研修内容の詳細については、打ち合わせ会議を開催し、研修会のファシリテーターを担う8名の委員が研修内容の企画・検討を行った。

### 1 病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員会（及び研修打ち合わせ会議）の設置・開催

#### a 委員

久野成人、近藤泰正、菊地三弥（以上、当協会役員）、  
川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所）、甲田由美子（京都民医連中央病院）、  
勝尾一史（京都岡本記念病院）、松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター）、  
日沖義治（京都博愛会病院）、大島恭子（武田病院）、矢田部信行（いわくら病院）、  
柴田拓哉（京都久野病院 ～令和4.10）、大橋倫子（京都久野病院 令和4.11～）

#### b 開催日

検討委員会（Web併用） 6/28 3/22 計2回  
研修打ち合わせ会議（Webのみ） 11/22 1/6 2/3 計3回

### 2 主な活動

#### a 地域包括ケア推進人材育成推進研修（オンライン）

地域包括ケアシステムの推進に向けて病院以外の各職種や関係機関が行っている取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、病院以外の関係者を交えた講義や実践的なグループディスカッション等を通じて理解し、幅広い知識・スキルをもって地域包括ケアシステムの推進により貢献できる病院職員を育成するべく、6回シリーズの標記のオンライン研修を行った。

#### ① 9月30日 参加者／57名

\* 京都地域包括ケア推進機構の「あんしん病院と地域の医療・介護関係者連携推進研修会」との合同開催。

1) テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について  
－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）

2) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システムの概要説明」

講師／小川寛太（京都地域包括ケア推進機構事務局）

3) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講師／①村上紀恵（京都民医連中央病院地域医療連携課）

②新井妙子（訪問看護ステーションさいきょう管理者）

②10月31日 参加者／54名

テーマ／①「地域包括ケアにおけるアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」

②「医療・介護従事者にとってのACP（介入視点・タイミング）」

講師／②田中 誠（たなか往診クリニック理事長・院長）

②甲田由美子（京都民医連中央病院 事務次長）

③11月28日 参加者／51名

テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて

（医療ソーシャルワーカーの立場から）」

講師／南本宜子（京都済生会病院福祉相談室長）

④12月23日 参加者／47名

テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」

講師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長）

向井千賀子（いわくら病院地域連携室）

葛原規美代（いわくら病院地域連携室）

常盤真帆（いわくら病院医療福祉相談室）

丁 春燁（いわくら病院医療福祉相談室）

⑤1月14日 参加者／47名

1) テーマ／「適切なケアマネジメント手法等について」

講師／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長）

2) テーマ／「オンラインでの退院前カンファレンスの模擬体験等（演習）」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

⑥2月14日 参加者／45名

1) テーマ／「認知症のある患者等の意思決定支援について」

講師／長谷川美智子（京都民医連中央病院副看護部長・老人看護専門看護師）

2) テーマ／「認知症とともに生きる社会づくり（対談）」

講師／下坂 厚（京都府認知症応援大使）

松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター長・主任介護支援専門員）

3) テーマ／「認知症とともに生きる社会づくり（演習）」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

※1～4日目は、講義終了後に講義内容等に関するグループワークを実施。また、病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員2名がファシリテーターを担当。

b 地域連携強化推進研修（オンライン）

病院の地域連携担当者等の多職種と、病院以外の介護保険施設・居宅サービス事業所等の関係者が一同に会し、活発な意見交換等の実施により、地域包括ケアシステムの推進に向けた共

通認識を深め、円滑な医療・介護連携及び病病・病診連携を図ることを目的に、前期（9～11月）と後期（12～2月）に分けて、オンラインで研修を開催した。

前期 1日目 9月28日 参加者／44名

1) テーマ／「入退院時の医療・介護連携において必要な基本事項（在宅医療編）」

講 師／守上佳樹（よしき往診クリニック院長）

2) テーマ／「入退院時の医療・介護連携において必要な基本的事項等について」

講 師／柳澤 衛（一般社団法人相楽医師会在宅医療委員会多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」事務局長、柳沢活道ヶ丘診療所院長）

2日目 10月20日 参加者／40名

テーマ／「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等

（退院時カンファレンスを模した実践的な内容等）」

講 師／川島篤志（市立福知山市民病院総合内科医長）

3日目 11月26日 参加者／39名

内 容／「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてのグループワーク」

講 師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 1日目 12月14日 参加者／23名

2日目 1月16日 参加者／20名

2日目 2月9日 参加者／20名

\* 前期・後期ともに、各日程同じテーマ・講師で開催。

\* 全日程で講義内容等に関するグループワークを実施。また、1日目、2日目は病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員2名がファシリテーターを担当。

#### c 京都府内病院地域連携室窓口一覧名簿の運営

円滑な入退院時の調整、および在宅医療・介護の連携体制を強化すること等を目的に、平成27年度「在宅医療・介護連携体制支援事業」にて立ち上げた上記名簿閲覧サイトの運営を行った。

## E 地域連携型在宅医療支援病院事業

少子高齢化社会に向けて、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な訪問診療を提供することが重要である。

京都府は、病院が訪問診療を行うことを目的として、院外関係者も含めた病診連携、病介連携を円滑に行なうための多職種研修を実施した京都市以外に所在する会員病院（以下、市外会員病院）に対し、その研修に要する経費の一部を補助する事業「地域連携型在宅医療支援病院事業」を平成30年度に策定した。5年目となる令和4年度においても当協会が事業実施を受託し、市外会員病院における地域の各種団体と連携を図り在宅医療人材の育成及び拠点整備等を行う病院の支援を行った。

対象施設	4 施設
各施設での研修費用総額	2,724,912円
補助金額	3,000,000円（事務経費含む）

## Ⅶ 人材確保・定着への取り組み

民間病院における看護師不足が一層深刻化する中、京都私立病院協会では、京都府・京都市に対し、看護職員の潜在化を防止するとともに、再就業支援のための予算措置を要望し続けている。その結果、京都市では平成23年度に離職後の看護職員（以下、「退職看護職」とする）の再就業のための研修を病院が実施した費用を支援する「離職看護師能力再開発事業」が策定され、当協会が運営事務を受託している。

京都府では平成24年度に退職看護職の再就業を支援する「看護人材確保支援事業」（現「看護人材早期復職支援事業」）が策定されるとともに、医療・介護・福祉の関係団体、行政で運営している「きょうと介護・福祉ジョブネット」の「看護職確保プロジェクトチーム」も継続発展して設置され、これらの事業実施・運営事務も受託し、各種事業を展開してきた。

令和2年度も引き続き、京都府地域医療介護総合確保基金事業として、医師事務作業補助者の養成（医療従事者勤務環境改善体制整備事業）、潜在薬剤師の復職支援（医療従事者確保強化事業：きょうと薬剤師サポートネット）、看護補助者の確保にも取り組んだ。

平成27年1月からは、「京都府医療勤務環境改善支援センター」に係る事業を京都府から受託し、当協会事務局の向かい側にセンターを開設している。また、センターの開設に伴い、京都労働局より「医療労務管理相談コーナー」も運営を受託している。病院事務長経験者の勤務環境改善推進員と常勤の社会保険労務士を配置して府内医療機関での勤務環境改善を推進することにより、人材確保・定着に寄与するべく、個別支援・相談対応等を行っている。勤務環境改善を行うために必須である経営改善に資する研修はセンター発足時から継続して開催しており、平成29年1月からは、医療勤務環境改善マネジメントシステム推進のための「京都いきいき働く医療機関認定制度」を推進している。（各々詳細別記）

### A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業

平成26年6月の医療法改正により、医療機関の管理者が勤務環境改善の措置を講じることが求められ、都道府県で医療機関の勤務改善を促進するための支援をするべく、拠点機能を持つ医療勤務環境改善支援センターの設置が義務づけられた。これに伴い、京都府は平成27年1月に「京都府医療勤務環境改善支援センター」（以下、「センター」）を設置し、当協会がセンターの運営を受託した。

センターの業務内容は、勤務環境改善に取り組む医療機関への個別支援・相談対応、勤務環境改善に関する研修会の実施、医療環境マネジメントシステムの普及・導入支援活動等が挙げられる。

令和4年度は、病院訪問の実施、医療従事者の確保・定着に資するための研修として「医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修」を病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ

め経営・労務の管理職を対象に全3回開催した。その他、必要に応じてセンター常駐の社会保険労務士、勤務環境改善推進員による個別相談対応等を行った。

また、病院職員のモチベーション向上や人材確保・定着に資することを目的とし、府内の病院が雇用の質向上に取り組むことを宣言・公表して、勤務環境改善に取り組む病院をセンターが認定を行う「京都市いきいき働く医療機関認定制度」について宣言病院、基本認定取得病院ともに着実に増えており認定取得に向けて支援を行っている。

他にも、当センターの取り組みを全国的な学会の場で発表し、他の都道府県に周知する等、幅広く啓発活動を行っている。

## 1 京都府医療勤務環境改善支援センター運営委員会

### a 委員（\*はオブザーバー）

清水鴻一郎、石丸庸介、真鍋由美、清水 聡、清水史記（以上、担当役員）、  
山田正明、古田智史（以上、事務長会）、和田めぐみ、岩田裕花（以上、看護部長会）、  
馬瀬久宜（薬剤師部会）、滋岡嘉弘（勤務環境改善推進員）、  
小林邦昭（京都府健康福祉部医療課課長補佐兼係長）\*、  
安村史人（京都府健康福祉部医療課主任）\*、  
高地美夏（京都府健康福祉部医療課主事）\*、  
本間 徹（京都労働局雇用環境・均等室室長補佐）\*

### b 開催日 （Web 併用） 7/15 1/25 3/13 計3回

## 2 事業実施実績

### a 医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（3回）

10月18日 於：ハートンホテル京都（Web 併用）  
会場参加／5名 オンライン参加申込／77名 計82名

テーマ 「医師の働き方改革のためにやるべきこと」

－労働時間管理、宿日直許可申請、医師労働時間短縮計画を中心に－

講師 福島通子（塩原公認会計士事務所・特定社会保険労務士）

12月1日 於：ハートンホテル京都（Web 併用）  
会場参加／5名 オンライン参加申込／74名 計79名

テーマ 「医師の働き方改革の最新動向と院内における効果的な進め方」

講師 斐 英洙（ハイズ株式会社代表／慶應義塾大学大学院特任教授）

12月14日 於：京都経済センター（Web 併用）  
会場参加／4名 オンライン参加申込／63名 計67名

テーマ ①「宿日直許可取得に向けた医師の労働時間管理について」

②「二次救急医療機関における宿日直許可を取得した事例」

③「医療機関勤務環境評価センターについて」

講師 ①芦原教之（医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院事務長）

②吉田純一（社会医療法人中央会尼崎中央病院理事長）

③石松宏章 (Dr. JOY 株式会社代表取締役社長)

b 病院訪問 (4病院)

c 「京都いきいき働く医療機関認定制度」の運用 (令和5年3月末時点)

いきいき働く医療機関宣言 97病院

いきいき働く基本認定病院 49病院

d 京都府医療勤務環境改善支援センター news の発刊 (毎号500部)

e 医療機関からの個別相談対応 126件

f 学会発表

第72回日本病院学会 (鳥根) 7月7日～8日 於: 鳥根県民会館・サンラポーむらくも

テーマ/京都府医療勤務環境改善支援センターの取組

～病院訪問事業実施後のアンケート調査結果から～

説 明/吾郷晋一

第63回全日本病院学会 in 静岡 10月1日～2日 於: アクトシティ浜松

テーマ/京都府医療勤務環境改善支援センターの取組～特別支援事業を通じて～

説 明/臂谷亮輔

g 支援体制強化のための研修会等への参加

都道府県医療勤務環境改善担当課長会議 (Webのみ) 6月28日、9月21日、2月10日

(津崎桂子、竹内 誠、臂谷亮輔、吾郷晋一)

医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会 (Webのみ) 11月30日

(臂谷亮輔、吾郷晋一、滋岡嘉弘)

## B 医療労務管理支援事業

本事業は労働局の委託事業で医療勤務環境改善支援センターを運営している当協会が受託し、医療労務管理相談コーナーを開設して医療管理アドバイザーを配置し、労務管理全般に対する相談、労働基準関係法令に関する照会、勤務環境改善計画の策定、実施、評価等を支援し、相談対応を行った。また、京都労働局、公益社団法人京都府看護協会の共催で医療勤務環境改善研修会を開催し、医療機関による積極的な勤務環境改善の促進に努めた。

### 1 事業実施実績

a 医療労務勤務環境改善研修会「医療従事者の働き方改革について」

(共催: 京都労働局、公益社団法人京都府看護協会)

10月27日 於: ハートンホテル京都 (Web併用)

会場参加/5名 オンライン参加申込/83名 計/88名

テーマ/「医師、看護師をはじめとする医療従事者の働き方改革について」

講 師/諸橋泰夫 (一般社団法人STRヘルスケアグループ常務理事)

医療労務勤務環境改善研修会「医師の働き方改革について」

(共催: 京都労働局)

11月9日 於：ハートンホテル京都（Web 併用）  
会場参加／7名 オンライン参加申込／98名 計／105名  
テーマ／「医師の働き改革と労働時間上限規制」  
講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士）

医療労務勤務環境改善研修会「医師等の宿日直許可基準について」

（共催：京都労働局）

12月21日 於：ハートンホテル京都（Web 併用）  
会場参加／1名 オンライン参加申込／64名 計／65名

1月23日 於：ハートンホテル京都（Web 併用）  
会場参加／4名 オンライン参加申込／51名 計／55名

テーマ／「医師等の宿日直許可基準について」

講師／小見伸雄（京都労働局労働基準部監督課統括特別司法監督官）

#### b 周知・広報活動

### C 勤務医勤務環境改善体制整備事業

令和6年4月から施行される医師に対する時間外上限規制の適用に向けて、各医療機関における医師の働き方改革への取り組みは重要な課題である。しかし、医療機関によっては、院内の情報機器体制等のICT環境が十分に整備されていないことから、働き方改革の取り組みが進まない医療機関が見受けられる状況である。

上記を踏まえ、ICT環境が十分に整備できていない医療機関が、勤務医をはじめとする医療従事者を対象として、AIを活用した問診システム、オンライン診療及び遠隔診療を行うためのPC等の設備、機器を導入した際に、その設備投資費の一部を補助する事業「勤務医勤務環境改善体制整備事業」を京都府が策定した。令和4年度も当協会が事業実施を受託し、会員施設の院内における情報機器体制等の整備を図った。

対象施設	14施設
各施設での設備費用総額	24,994,601円
補助金額	26,000,000円（事務経費含む）

### D 看護人材早期復職支援事業

当協会役員と会員施設で看護人材確保を担当する看護・事務担当者、京都府で構成する看護人材確保支援事業検討委員会を設置し、退職看護職の登録制度（つながりネット）の推進と就業支援の方策を検討し、具体的事業の企画・検討を行った。

京都府内の病院を中心に退職看護職の登録推進に努めるとともに、令和4年度も新規登録者の確保のために京都市域のファミリー世帯に配架される生活情報誌への記事広告掲載に加え、Webを活用した広報を強化し、登録に一定の成果を上げた。登録看護職には、セミナーの毎月開催、関係団体や病院等が行う再就業支援講習の紹介等により、キャリア維持と就業意欲の高揚に努め、当協

会専属の就業支援コーディネーターが登録看護職に寄り添って相談対応や情報提供等、再就業のための様々な支援を行った。

さらには、きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム（以下、「看護職確保プロジェクトチーム」とする）と連携し、医療・介護・福祉業界が一体となって登録制度の推進と就業支援に取り組んだ。休職中の登録看護職で再就業の意志のある者には、当協会無料職業紹介メディワークセンターや京都府ナースセンターなど、安心して利用できる職業紹介機関に繋げ、登録看護職のライフスタイルや希望に沿った再就業先を斡旋した。その結果、令和4年度は新たに191名の登録に繋げ（累計1,555名）、そのうち49名（累計384名）の再就業を実現した。

## 1 看護人材早期復職支援事業検討委員会

### a 委員（\*はオブザーバー）

富士原正人、武田隆久、茨木孝二（以上、担当役員）、益野秀樹（事務長会）、  
北村周士（医療法人三幸会）、植村ひかる、山本美紀（以上、看護部長会）、  
吉田義雄（医療法人清仁会）、宮田淳子、古川誠也（以上、京都府健康福祉部医療課）\*、

### b 開催日（Web併用）6/29 3/7 計2回

## 2 事業実施実績

a 就業支援コーディネーターを配置し、会員施設、関係団体、関係施設に退職看護職の登録制度推進の普及活動、つながりネット登録看護職の現状把握、相談対応、就業支援等を実施  
就業支援コーディネーター：渋谷藍子

### b 登録看護職対象セミナーの開催

（\*以下の回数は平成24年度からの通算）

第115回 4/15（動画撮影） 4/25～5/6（動画配信） 参加申込者／70名

テーマ／「セルフ・コンパッションでストレスケア

～つらい時こそ、自分に思いやりを向けてみませんか～」

講師／片桐陽子（栄仁会京都駅前メンタルクリニック臨床心理士）

第116回 5/16（動画撮影） 5/24～6/7（動画配信） 参加申込者／89名

テーマ／「排泄自立支援に向けての考え方と支援～その人らしい生活へ～」

講師／山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都作業療法士）

第117回 6/22（動画撮影） 6/28～7/8（動画配信） 参加申込者／102名

テーマ／「フットケア教室！ Part 1～糖尿病フットケアの基礎知識から基礎技術まで～」

講師／木下 淳（フリーランス糖尿病看護ケアサポートシステムズ代表）

第118回 7/12（動画撮影） 7/22～8/2（動画配信） 参加申込者／80名

テーマ／「高齢者の転倒予防～評価とトレーニング～」

講師／秋本喜英（医仁会武田総合病院リハビリテーション科科长）

第119回 8/10（動画撮影） 8/23～9/5（動画配信） 参加申込者／60名

テーマ／「特定行為看護師について」

講師／木村理香（京都田辺中央病院看護副部長）

第120回 9/30（動画撮影） 10/7～17（動画配信） 参加申込者／91名

テーマ／「症例から学ぶ今どきの褥瘡ケア～予防編～」

講師／植村陽子（三菱京都病院皮膚・排泄ケア認定看護師）

第121回 10/17（動画撮影） 10/21～11/1（動画配信） 参加申込者／115名

テーマ／「症例から学ぶ今どきの褥瘡ケア～治療編～」

講師／植村陽子（三菱京都病院皮膚・排泄ケア認定看護師）

第122回 8/30（動画撮影） 11/17～28（動画配信） 参加申込者／102名

テーマ／「看護師が知っておきたい臨床検査値・心電図の見方」

講師／江口光徳（宇治徳洲会病院検査科科长）

第123回 11/9（動画撮影） 11/30～12/8（動画配信） 参加申込者／55名

テーマ／「新型コロナ感染拡大と訪問看護～左京での取り組み～」

講師／松久保眞美（ナーシングケアホームおとく訪問看護認定看護師）

第124回 10/27（動画撮影） 12/14～26（動画配信） 参加申込者／78名

テーマ／「安全な食事介助について～姿勢の重要性について体験してみよう～」

講師／石田智子（医仁会武田総合病院摂食・嚥下障害看護認定看護師）

第125回 1/23（動画撮影） 1/23～2/6（動画配信） 参加申込者／70名

テーマ／「医療安全に必要な safety-2と心理的安全性」

講師／藤井 耕（京都民医連中央病院医療安全対策室室長）

第126回 8/24（動画撮影） 2/27～3/12（動画配信） 参加申込者／97名

テーマ／「認知症高齢者のコミュニケーション方法と療養環境の調整」

講師／山田亜由美（京都民医連中央病院認知症看護認定看護師）

c 潜在看護師等の技術的な不安を解消すべく（専）京都中央看護保健大学校の協力により基礎技術講習を実施

看護スキル確認講習会 開催回数／8回

d 病院、医療・介護・福祉関係団体等が行う再就業支援のための研修等の受講機会の提供紹介件数／7件

e パソコン版及び携帯端末版 Web サイトの運用促進

f 登録看護職の再就業に係るアンケート調査の実施及び課題分析

g 登録看護職へのメルマガ配信

配信実績／17通

h 再就業希望者への就業斡旋機関（ネットワークセンター、ナースセンター、福祉人材・研修センター、ハローワーク）の紹介

i つながりネット登録者、再就業者実績（令和5年3月31日現在）

登録者／191名（累計1,555名） 再就業者／49名（累計384名）

## E きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

看護職確保プロジェクトチームでは、きょうと介護・福祉ジョブネットに参画する医療・介護・福祉の各団体、行政が協働して「看護人材早期復職支援事業」での退職看護職の登録制度（つながりネット）の推進や再就業支援に取り組み、オール京都体制での看護職確保に取り組んでいる。

令和4年度の看護職確保プロジェクトチームにおいても、各団体・行政が協力してつながりネットの登録推進・普及活動に努めた。相談窓口に寄せられる相談については、当プロジェクトチームのメンバーも対応し再就業の意欲が沸くように励ましやサポートを行った。また、Webサイト上では毎月、様々な看護現場で働く看護職の働き方・仕事の魅力を発信や、介護・福祉施設・事業所の見学受入施設一覧を掲載もしており、こうした取組を通じて介護・福祉業界への関心も向くように努めている。

### 1 きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

#### a 委員（\*はオブザーバー）

茨木孝二（担当役員）

高桑 勝（京都府老人福祉施設協議会）、吉田知壽留（京都市老人福祉施設協議会）、  
松田美雪（京都府介護老人保健施設協会）、山代浩史（京都知的障害者福祉施設協議会）、  
野々口義也（京都府社会福祉協議会）、林 千鶴子（京都府看護協会）、  
物部理奈（京都府訪問看護ステーション協議会）、西田 洋（京都西陣公共職業安定所）、  
宮田淳子、古川誠也（以上、京都府健康福祉部医療課）\*、  
水足麻衣子（京都府健康福祉部介護・地域福祉課）\*

#### b 開催日（Web 併用） 7/25 2/3 計2回

### 2 事業実施実績

#### a 医療・介護・福祉の看護現場の魅力発信（Web サイト上で公開）

令和4年4月 医仁会武田総合病院  
令和4年5月 明治国際医療大学附属病院  
令和4年6月 特別養護老人ホーム亀岡園  
令和4年7月 社会福祉法人同和園  
令和4年8月 訪問看護ステーション優心  
令和4年9月 介護老人保健施設ひしの里  
令和4年10月 社会福祉法人南山城学園障がい者支援施設円  
令和4年11月 洛西シミズ病院  
令和4年12月 特別養護老人ホームすないの家太秦  
令和5年1月 訪問看護ステーション仁  
令和5年2月 介護老人保健施設シミズひまわりの里  
令和5年3月 老人保健施設あやべ 計12名

#### b ジョブネット参画団体・事業者が実施する看護職対象イベントの情報提供 看護職対象イベント掲載件数／9件

- c メディアを活用した介護・福祉現場の特徴・働き方・魅力の発信  
リビング京都掲載 6月18日、11月12日  
ラサンカ（北部エリア）7月23日、11月23日  
\*看護人材早期復職支援事業と重複する内容は省略

## F 京都市離職看護師能力再開発事業

看護職員の資格を持ちながら仕事に就いていない離職看護師の数は、厚生労働省によると全国で約70万人以上いると予想されている。子育てや家事との両立が難しい、ブランクがあり不安、看護内容や労働時間への不満など、看護師として働いていない理由はさまざまであるが、近年ワークライフバランスの充実に取り組む病院もあり、離職看護師の再就業が期待されている。

京都市は京都市内の医療機関の看護師確保に資するため、離職看護師の再就業にかかる費用を支援する「離職看護師能力再開発事業」を平成24年度より実施している。11年目となる令和4年度も事業を実施し、市内会員施設への再就業支援に努めた。

補助金額 500,000円

## G これからの社会保障を考えるセミナー

2025年に向けての医療・介護提供体制の構築に対応し得る組織づくりと医療従事者の確保・定着は、病院経営者・経営に携わる管理職としての重要な役割であり、病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ、経営・労務の管理職を対象として、地域医療構想、地域包括ケアシステムの実現に必要な病床機能の充実・転換を図るために、医療政策の今後の方向性や経営改善を考え、医療従事者の確保・定着にもつなげる研修を開催している。

令和4年度は、2025年及び2040年を見据えた医療提供体制をはじめとする社会保障全般の課題と方向性を確認し、個々の病院が今後取り組むべき課題を見出すことに重点を置いて開催した。

Part 1 7月9日 於：登録会館（Web 併用）  
会場参加／15名 オンライン参加申込／43名 計58名

テーマ／「2040年を見据えた医療提供体制を考える  
－コロナ対応で明らかとなった課題とともに－」

講師／伊原和人（厚生労働省保険局長）

Part 2 9月15日 於：京都経済センター（Web 併用）  
会場参加／4名 オンライン参加申込／63名 計67名

テーマ／「2040年に向けた全世代型社会保障制度の構築と病院経営」  
－勤労者皆保険、医療DX、働き手確保、2024年度トリプル改定に向けて－

講師／仲野 豊（株式会社仲野メディカルオフィス代表取締役）

Part 3 11月15日 於：京都経済センター（Web 併用）  
会場参加／4名 オンライン参加申込／63名 計67名

テーマ／“再評価は、再編を加速します”「第8次医療計画の中心は病院改革」

～何が入院で、何が病院の果たすべき外来か？～

講師／石井孝宜（石井公認会計士事務所所長・公認会計士）

Part 4 3月14日 於：京都経済センター（Web 併用）

会場参加／5名 オンライン参加申込／49名 計54名

テーマ／「今国会提出か？全世代社会保障法案「医療法人の経営情報のデータベース構築・公表制度とかかりつけ医機能報告制度の創設か？」

～2つの医療提供体制関連の制度創設を考える～

講師／石井孝宜（石井公認会計士事務所所長・公認会計士）

## H 医療従事者勤務環境改善体制整備事業

医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質向上を図るべく、医師が行う業務のうち、カルテの入力・診断書や退院サマリーの作成等の事務的作業を代行する医師事務作業補助者の養成を目的とした事業として「医師事務作業補助研修会」を実施した。研修修了者には診療報酬の医師事務作業補助体制加算の施設基準に定める32時間の研修要件を修了したことを証明する修了証を交付した。従来会場型で本研修を開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、Eラーニングシステムを用いて本研修会を開催した。

### 1 医師事務作業補助者研修運営委員会

#### a 委員

武田隆久、仲田昌司（以上、担当役員）、

廣瀬良太、荒井達雄（～令和4.5）、杉浦隆史、上垣昭宏、三好智和（令和4.6～）（以上、事務長会）

#### b 開催日（Webのみ） 1/27 3/23 計2回

### 2 事業実施実績

#### a 医師事務作業補助者研修会

本研修では、医師の負担を軽減し、勤務環境の改善を図るため、各医療機関が医師の事務作業を代行する医師事務作業補助者を配置することができるように養成研修を実施した。

第1回 8月5日～9月4日 オンライン 受講者／184名 修了者／177名

第2回 1月20日～2月19日 オンライン 受講者／74名 修了者／72名

#### 研修内容

##### 第1章 医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護

講師：勝元伸二（徳洲会大阪本部課長）

##### 第2章 診療支援業務と配置部署における診療の流れ

講師：阿南 誠（川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療情報学科教授）

##### 第3章 医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）

講師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

##### 第4章 保険診療概要

講師：仲田昌司（三菱京都病院事務長）

## 第5章 医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要

講師：藪本恭明（大阪国際綜合法律事務所弁護士・医師）

## 第6章 医学一般

講師：石丸庸介（京都田辺中央病院理事長）

## 第6章 感染対策

講師：清水 聡（京都南病院理事長）

## 第7章 医療安全

講師：岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

## 第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講師：大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤部主席課長）

## 第9章 検査一般の知識（臨床検査部門）

講師：増田信弥（京都民医連中央病院検査技術課統括課長）

## 第9章 検査一般の知識（放射線部門）

講師：茶谷和真（京都田辺中央病院放射線科科長）

## 第10章 診断書・証明書等の実務

講師：阿部二郎（医仁会武田総合病院事務長代理・診療情報管理士）

## I 医療従事者確保強化事業

不足する病院医療従事者（薬剤師・看護補助者等）の人材確保を図るべく平成27年度より医療従事者確保強化事業を実施している。病院薬剤師等医療人材育成・確保事業では、退職薬剤師の登録制度の普及と病院への就業実現のための支援に努めている。本事業では、生活情報誌等に記事広告を掲載するとともに、きょうと薬剤師サポートネットの公式サイトでの運営、検索エンジンを活用した広告展開など、登録制度の普及に努めた。当協会薬剤師部会運営委員会と連携して、休職中・薬学部学生の登録薬剤師のためのセミナーを定期開催するとともに、見学受入施設への見学を勧めて就労意欲を高める等、病院薬剤師の魅力を発信し続けた。看護補助者確保推進事業では、過去に看護補助者であった者や未経験の者に対して看護補助者の業務内容、働きがい等を広く発信し、病院への就業意欲促進に努めた。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、一般市民を対象とした講習会を動画配信型で実施した。講習会の動画には、看護補助者についての概要説明に加え、病院の協力のもとで看護補助者が実際に仕事をする様子をまとめた映像と看護補助者のインタビューを盛り込み、魅力発信や就業する上での不安軽減に努めた。加えて、京都府生涯現役クリエイティブセンターが主催するリカレント研修にて「医療人材（看護補助者）育成コース」を開講し、医療人材の確保に鋭意取り組んだ。

### 1 病院薬剤師等医療人材育成・確保事業

#### 1) 医療従事者確保強化事業検討委員会

##### a 委員

畑 典男、茨木孝二（以上、担当役員）、浅野育子、大津山裕美子、佐藤和生（以上、薬剤師部会）

b 開催日 (Web 併用) 7/13 2/9 計2回

2) 事業実施実績

a 関係団体、病院等関係施設への退職薬剤師の登録制度推進の周知活動

b パソコン版及び携帯端末版 Web サイトの運用促進

c 登録推進カード、ポスターの配布

d ノベルティの作成、配布による普及活動

e 未就業(潜在)薬剤師への広報

リビング京都への記事広告の掲載 6月18日、11月12日

ラサンカへの広告掲載 5月23日、12月23日

f 登録薬剤師のためのセミナーの開催

第66回 4/1 (動画撮影) 4/13~22 (動画配信) 参加申込者/16名

テーマ/「新型コロナウイルスの治療薬について」

講師/馬瀬久宜(医仁会武田総合病院薬局長)

第67回 6/10 (動画撮影) 6/21~7/3 (動画配信) 参加申込者/22名

テーマ/「抗うつ薬について」

講師/畑 典男(長岡病院院長)

第68回 8/17 (動画撮影) 8/23~9/5 (動画配信) 参加申込者/20名

テーマ/「心不全について」

講師/林 良壮(三菱京都病院薬剤部主任)

第69回 8/2 (動画撮影) 9/20~29 (動画配信) 参加申込者/11名

テーマ/「栄養療法の基礎~栄養サポートチーム(NST)の取り組み~」

講師/中瀬理恵(京都民医連中央病院管理栄養士)

第70回 9/26 (動画撮影) 10/11~20 (動画配信) 参加申込者/10名

テーマ/「病院薬剤師のお仕事」

講師/下田優作(京都久野病院薬局長)

第71回 11/24 (動画撮影) 12/8~18 (動画配信) 参加申込者/13名

テーマ/「輸液とその調製方法」

講師/馬瀬久宜(医仁会武田総合病院薬局長)

小瀬弘尚(医仁会武田総合病院薬局)

第72回 1/10 (動画撮影) 1/16~26 (動画配信) 参加申込者/13名

テーマ/「認知症の人とのかかわり方」

講師/辰巳弥生(洛和会音羽病院認知症看護認定看護師)

第73回 2/15 (動画撮影) 2/27~3/9 (動画配信) 参加申込者/10名

テーマ/「薬剤師に求められるタスクシフト/シェアについて」

講師/藤井 亮(蘇生会総合病院薬剤部主任)

第74回 2/6（動画撮影） 3/17～3/30（動画配信） 参加申込者／18名

テーマ／「症例から学ぶペニシリン系・セフェム系・キノロン系の基礎」

講師／下田優作（京都久野病院薬局長）

g 登録薬剤師へのメルマガ配信

配信回数 11回

h 病院薬剤師の働き方・魅力発信

i 薬剤師サポートネット登録者、職業紹介機関への登録実績（令和5年3月31日現在）

登録者／20名（累計192名）

京都私立病院協会無料職業紹介機関ネットワークセンターへの登録実績／2名（累計18名）

## 2 看護補助者確保推進事業

### 1) 事業実施実績

a 看護補助者として働いてみたい方（一般市民）への講習会の開催

テーマ／「病院で働いてみませんか～資格がなくても大丈夫～」

第1回目 8/10（動画撮影） 9/9～15（動画配信） 参加申込者／36名

講師／谷口文代（京都桂病院看護部長）

大原麻希（西山病院看護補助者）

佐藤未来（シミズ病院看護補助者）

細見留利（京都桂病院看護補助者）

第2回目 2/10～16（動画配信・第1回目撮影動画を使用） 参加申込者／37名

b リカレント研修（京都府生涯現役クリエイティブセンター主催）「医療人材（看護補助者）

育成コースの開講

受講申込者／5名

第1回 11月8日 於：京都経済センター

テーマ／病院を知る

講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

テーマ／医療制度の概要

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

第2回 11月14日 於：京都経済センター

テーマ／医療安全

講師／南 京子（新京都南病院看護部長）

テーマ／感染対策に関する基礎知識

講師／谷口文代（京都桂病院看護部長）

第3回 11月28日 於：京都経済センター

テーマ／チームワーク・アサーション

講師／清野健太郎（PureField 代表）

第4回 12月16日 於：(専) 京都中央看護保健大学校

テーマ／業務を遂行するための基礎的知識・技術を学ぶ

講師／阿形奈津子(京都中央看護保健大学校副学校長)

小河陽子(京都きづ川病院看護部長)

c ノベルティの作成、配布やホームページ制作などの普及活動

d 一般市民への広報

リビング京都への記事広告の掲載 9月3日、1月28日

京都新聞への広告掲載 2月4日

e 病院見学受け入れ状況の調査(令和5年3月31日現在)

受入可能／35病院

見学実績／2病院

f 職業紹介機関への登録実績(令和5年3月31日現在)

京都私立病院協会無料職業紹介機関ネットワークセンターへの登録実績／4名(累計60名)

## 【学術研修部】

### I 京都病院学会

#### A 第57回京都病院学会

第57回京都病院学会は、京都私立病院協会と京都府病院協会との共催により、「人生100年時代を健康に生き抜く『健康長寿社会』の実現に向けて」を全体テーマに掲げ開催した。今学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Web 開催とし、開催初日に会場にて講演およびメインの演題・シンポジウムをライブで配信し、期間中は動画形式で第57回京都病院学会 WEB サイトにて公開された。

一つのテーマで多職種が発表する要望演題は「『医療の2025年問題』必要となる対策」と設定され、継続して取り扱うべき課題をテーマとする継続演題は「『働き方改革』勤務環境改善の取り組み」とした。医師、看護、介護地域連携、薬剤、放射線、臨床検査、臨床工学、栄養管理、リハビリテーション、事務それぞれの部門で合計389題の演題発表が公開された。演題発表の視聴に必要な第57回京都病院学会 WEB サイトへの登録は、京都府内の病院職員はもとより、一般市民・学生からもあり、登録者総数は1,207名であった。

WEB 学会として3回目となる今学会も、学会長及び実行委員長を中心に、両協会の学会担当理事をはじめ、会員病院および府下の各職能団体等から派遣された実行委員によって作り上げられ、大きな成果を上げた学会となった。

公開期間：11月13日（日）9：00～12月11日（日）17：00

会場：開催初日は京都リサーチパークにてライブ配信、その後期間中 WEB 開催

参加（登録）者総数：1,207名

発表演題：389題

全体テーマ：「人生100年時代を健康に生き抜く『健康長寿社会』の実現に向けて」

要望演題：「『医療の2025年問題』必要となる対策」

継続演題：「『働き方改革』勤務環境改善の取り組み」

基調講演：「『Aging Control』老化について考える」

講師：山田秀和（近畿大学 客員教授）

特別講演：「医療安全施策の動向」

講師：栗原 健（厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室医療安全対策専門官）

#### 1 学会役員

学会長：藤澤明生（賀茂病院）

副学会長：石丸庸介（京都田辺中央病院）、若園吉裕（京都桂病院）

実行委員長：真鍋由美（京都八幡中央病院）

副実行委員長：尼川龍一（日本バプテスト病院）

理事：小森直之（なぎ辻病院）、近藤泰正（堀川病院）、清水 聡（新京都南病院）、  
清水史記（シミズ病院）、小林 裕（京都第二赤十字病院）、  
吉田憲正（済生会京都府病院）、黒田啓史（京都市立病院）、梶 龍児（宇多野病院）、  
小池 薫（京都医療センター）  
監事：清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院）、池田栄人（京都第一赤十字病院）

## 2 実行委員

事務部門：佐藤靖洋（賀茂病院 ～令和4.7）、志賀徹也（京都桂病院）  
看護部門：矢田貴子（堀川病院）、  
畑田宏美（シミズ病院 ～令和4.10、洛西ニュータウン病院 令和4.11～）、  
岩井和美（日本バプテスト病院）、清水真奈美（京都桂病院）  
介護地域連携部門：河辺延枝（賀茂病院）  
薬剤部門：菱田啓介（洛和会音羽病院）  
臨床検査部門：和田香織（京都岡本記念病院）  
臨床工学部門：辻本絃史（蘇生会総合病院）  
栄養管理部門：谷中景子（千春会病院）  
放射線部門：三浦健一（京都岡本記念病院）  
リハビリテーション部門：田村 篤（洛西シミズ病院）、  
奥村真也、岸本紀和（十条武田リハビリテーション病院）  
学校教務：上野佳穂、泉田洋志（京都保健衛生専門学校）、  
横関智恵（（専）京都中央看護保健大学校）

## B 第58回京都病院学会の開催に向けて

第58回学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から第56・57回と同様、開催初日に会場にて講演およびメインの演題・シンポジウムをライブで配信し、期間中は動画形式でWEBサイトにて公開する予定である。

第58回学会は全体テーマとして「アフターコロナ 今後の地域医療体制そしてACPの重要性」を掲げ、今学会も一般演題の発表とは別に「改めてACPの重要性」をテーマとした要望演題を設ける。また、継続演題は第55回からの継続となる「働き方改革」をテーマに、「働き方改革 2024年への進捗状況と子育て支援など」として募集する予定としている。基調講演は「ACPを目指す取り組みと落とし穴」をテーマに池永昌之氏（淀川キリスト教病院緩和医療内科主任部長）にご講演いただき、特別講演は、「医師の働き方改革に伴う地域医療体制」をテーマに城守国斗氏（日本医師会常任理事・医療法人三幸会理事長）によるご講演を企画している。

演題発表は、公開期間を令和5年10月29日（日）から11月26日（日）までとして第58回京都病院学会WEBサイトにて公開し、初日の10月29日（日）に一部の講演・演題を会場・オンライン併用で開催する予定としている。

## 1 学会役員

学 会 長：若園吉裕（京都桂病院）

副 学 会 長：石丸庸介（京都田辺中央病院）、尼川龍一（日本バプテスト病院）

実行委員長：小林 裕（京都第二赤十字病院）

副実行委員長：真鍋由美（八幡中央病院）

理 事：黒田啓史（京都市立病院）、小池 薫（国立病院機構京都医療センター）、  
吉田憲正（済生会京都府病院）、水野敏樹（京都鞍馬口医療センター）、  
小森直之（なぎ辻病院）、近藤泰正（堀川病院）、清水 聡（新京都南病院）、  
清水史記（シミズ病院）、赤木 博（なごみの里病院）

監 事：池田栄人（京都第一赤十字病院）、藤澤明生（賀茂病院）

## Ⅱ 教育・研修

### A 教育研修基礎コース

会員病院の新入職員を主な対象とした教育研修基礎コースは、例年、京都市内では5月頃に、北部地区では6月頃に開催しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため研修会を中止とし、動画配信で実施した。この研修会は病院職員としての基本的知識と心得を修得し、医療機関における組織人としての自覚を持つことを目的としている。講義は、接遇・応対の基本や医療人としての心得を習得するための内容となっている。参加申込者は事務職を中心に、看護職や薬剤師、その他幅広い職種の方からの参加があった。

5/18（動画撮影） 5/31～6/13（動画配信） 参加申込者／288名

講 師／櫻井悦子（研修オフィス SAKURA 代表）

説 明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント－」（事務局）

### B 看護卒後教育

看護卒後教育に関する企画・運営は看護部長会教育委員会で行い、看護職の資格取得後のキャリアに応じた各種研修を開催している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修によって中止または動画配信、オンライン形式で開催した。開催したすべての研修が京都府地域医療介護総合確保基金対象研修となりコロナ禍でも看護職の知識や質の向上および人材育成に努めた。

#### 1 看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）（Web）

参加者／51名 修了者／40名

第1回 4月25日

「看護の動向」

講 師／南 京子（新京都南病院看護部長）

「いのちへの問いかけ」

- 講 師／西沢いづみ（立命館大学生存学研究センター客員研究員）
- 第2回 5月24日「看護管理概論～看護実践の組織化～」
- 講 師／矢田貴子（堀川病院看護部長）
- 第3回 6月23日「医療安全」
- 講 師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）
- 第4回 7月22日「コーチング・セルフサポートコーチング」
- 講 師／清野健太郎（Pure Field 代表）
- 第5回 8月31日「看護研究」
- 講 師／星野明子（大阪成蹊大学教授）
- 第6回 9月29日「リフレクション」
- 講 師／池西悦子（大阪医科薬科大学看護学部教授）
- 第7回 10月28日「看護倫理①」
- 講 師／真継和子（大阪医科薬科大学看護学部教授）
- 第8回 11月29日「看護倫理②」
- 講 師／真継和子（大阪医科薬科大学看護学部教授）
- 第9回 12月14日「看護管理各論」
- 講 師／田中雅子（川越病院看護部長）
- 第10回 1月26日「グループ・ダイナミックスの理論と方法  
～災害ボランティアの視点を交えて」
- 講 師／宮本 匠（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）
- 第11回 2月22日「研修成果発表会」
- 2 看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）
- （WEB）参加者／38名 修了者／26名
- 第1回 9月13日「中間管理者としての看護の動向」
- 講 師／南 京子（新京都南病院看護部長）
- 第2回 9月27日「看護管理概論」
- 講 師／浦野貴子（洛西シミズ病院看護部長）
- 第3回 10月6日「医療安全」
- 講 師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）
- 第4回 10月26日「看護サービス」
- 講 師／長谷川寿子（京都博愛会病院看護部長）
- 第5回 11月14日「師長のリーダーシップ」
- 講 師／内藤知佐子（愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター助教）
- 第6回 11月25日「看護組織論」
- 講 師／谷口文代（京都桂病院看護部長）

第7回 12月8日「目標管理」

講師／小河陽子（京都きづ川病院看護部長）

第8回 12月22日「看護管理各論」

講師／上山さゆみ（脳神経リハビリ北大路病院看護部長）

第9回 1月20日「医療情勢と病院運営」

講師／山田正明（堀川病院事務長）

第10回 2月28日「看護倫理」

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

### 3 看護補助者研修

a 春開催 4/1・12（動画撮影） 4/22～5/28（動画配信） 参加者申込者／153名

テーマ／①「悩み解消、職場の人間関係とコミュニケーション

－あなたは医療チームの大切な一員です－

②「看護補助者が知っておくべき医療安全のきほん」

講師／①清野健太郎（ピュアフィールド 代表）

②岡田依子（京都桂病院医療安全室室長）

説明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント－」（事務局）

b 秋開催 10/12～18（動画配信） 参加申込者／66名

テーマ・講師・説明 春開催と同様

### 4 看護リーダーシップ研修

a 卒後3年目限定コース（Web）

9月16日・9月22日 参加者／25名（9/16）、30名（9/22）

講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

説明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント」（事務局）

b 中堅コース 8/23～8/29（動画配信） 参加者申込／212名

講師／内藤知佐子（愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター助教）

資料提供／「京都府地域包括ケア構想（地域医療美ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

### 5 准看護師研修

7/1・7/7（動画撮影） 8/3～8/9（動画配信） 参加者申込／30名

テーマ／「改めて学ぼう、認知症～理解とその一歩～」

講師／大塚恒子（仁明会病院看護部長）

テーマ／「知っておきたい医療・看護の動向～地域医療構想と看護師の処遇改善について～」

講師／福島朋樹（新河端病院看護部長）

### 6 新人研修

\*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

## 7 看護研究研修

6月8日（Web） 参加者／40名

テーマ／「看護研究に活かすクリティーク」

講師／中島優子（京都看護大学特任教授）

説明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント」（事務局）

## 8 看護過程研修

（初級編）10月14日（Web） 参加者／29名

テーマ／「看護過程（5つの段階）とSOAPを理解する」

講師／阿形奈津子（京都中央看護保健大学校看護学科長）

説明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント」（事務局）

（応用編）11月15日（Web） 参加者／27名

テーマ／「事例に基づき、看護診断を用いて看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント能力を向上させる」

講師／谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校看護学科教務部長）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」（事務局）

## 9 看護管理実践報告会

1月31日（Web） 参加者／14名

「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－最近の動向について－」（事務局）

## C 保健医療管理者養成講座

医療を取り巻く環境の変化の中で医療経営に明確な理念と健全で効率的な運営管理が不可欠であり、そのための人材育成の重要性が高まることに対応し、講座を開講して32年目を迎えた。令和4年度修了生27名（32期生）を加えて総勢635名が巣立ったことになる。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き、「受講生が会場参加とZoomによるリモート参加を選べるライブ講座」または「動画配信講座」の2つの形式で開催した。保健医療管理士の認定は、認定基準に則り、11月に開催された当協会創立記念式典において、31期生に認定証が授与された。保健医療管理士の称号を持つ修講生は、会員施設において幹部職員として、また、中堅管理者としてその役割を果たしている。

1 第32期生入講式 4月10日 於：京都経済センター

2 認定委員会（保健医療管理士） 10月5日 於：私病協会議室（Web併用）

3 保健医療管理士認定式 11月18日 於：京都ホテルオークラ

第31期生22名に保健医療管理士の認定証が授与された。

4 認定委員会（修了者） 3月1日 於：私病協会議室（Web併用）

第32期受講生27名の修了が認定された。

5 終講式 3月25日 於：ANAクラウンプラザホテル京都

## 6 運営委員

委員長／石丸庸介

委員／清水史記（担当役員）、池内研二（事務長会）、長谷川寿子（看護部長会）、今井陽一、山田 剛（以上、保健医療管理士会）、佐藤眞喜子（京都保健衛生専門学校事務局長）、津崎桂子

認定委員／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、藤澤明生、真鍋由美及び上記運営委員

### D 医師臨床研修・専門医制度への取り組み

医師の地域間及び診療科間の偏在を是正するため、地域医療を担う医師の養成を目的に、地域枠の設置や奨学金制度の創設、医師臨床研修制度の見直し等の対策が行われてきたが、偏在解消は図られていない状況にある。このため、医療法及び医師法の一部改正により、医療計画の中に新たに医師確保計画を策定することとなり、京都府では令和2年3月に「京都府医師確保計画」（計画期間：令和2年度から令和5年度）が策定された。計画は令和5年以降3年ごとに見直しを行い、令和18年までに必要な医師の確保や医師偏在の是正を目指すこととなっている。

こうした流れの中で、当協会は京都府が設置する京都府医療対策協議会や京都府地域医療支援センター運営会議や医師確保計画の策定に参画し、医師確保対策や医師確保支援が民間病院にも十分に行われるよう意見している。

医師臨床研修については、研修定員の上限設定により、各研修病院への定員配分が厳しくなっており、地域医療の維持・確保に大きな影響を受けること、新専門医制度については大学病院などの大病院に指導医や専攻医の集約化が起き、地域医療に支障が生じる懸念があり、計画の進捗状況や国の動向を把握しながら必要な対応を行うことにしている。

## 【経営管理部】

### I 病院経営

#### A 民間病院に対する補助制度への対応

令和4年度に於いては、全部で12項目の補助が出された。当協会では引き続き病院機能を更に強化し、患者の安心と安全の確保に繋がる補助金の交付を求めている。

会員病院が令和4年度に受けた主な補助金は下記の通り。

1 産科医等確保支援事業費：	12病院	32,783千円
2 高齢化社会に対応した救急医療体制充実事業費補助金 (救急担当医師・看護師への研修補助)：	24病院	5,731千円
3 院内保育運営費補助金：	34病院	117,751千円
4 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：	12病院	67,570千円
5 療養病床あんしん確保対策事業費 (がんばる医療療養病床支援)：	0病院	0千円
6 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：	134病院	17,568千円
7 在宅医療推進基盤整備事業：	25病院	24,071千円
8 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：	6病院	343,266千円
9 医療施設等施設設備整備費補助金：	1病院	4,988千円
10 医師の労働時間短縮体制整備事業：	4病院	122,701千円
11 医療提供体制施設整備交付金：	1病院	25,696千円
12 医療施設運営費等補助金 (医療施設耐震化促進事業)：	1病院	3,733千円

(\* 全て交付決定額ベース)

#### B 融資斡旋

##### 1 年末融資斡旋

京都府救急告示病院等運転資金融資制度は、府内の中小病院の救急告示および病院群輪番制参加病院などに対して、年末年始における要員確保などに必要な資金を融資する制度である。

融資利率は、平成29年度より年1.7%となり、当協会では更なる低利融資、対象病院の拡大、融資条件の緩和、融資限度額の増額が実現するよう継続して要望している。

令和4年度の京都府救急告示病院等運転資金融資制度の実施状況は次のとおりである。

融資申込／0病院

融資実行／0病院

限度額／8,000万円 (1法人で複数病院を有する場合は総額1億2,000万円)

期 間／3年以内 (据置6か月以内)

利 率／1.7%

説明会／(Webのみ) 11/8 \* 申込なしのため中止

## 2 中信病院職員ローン

発足34年目の会員病院の職員向けローンは、京都中央信用金庫の全店で受付けており、保証人の要らないものである。現在は商品名が変更し、中信パーソナルローン「マイライフ」で当協会の会員施設職員に対しては金利優遇がある。カードローンの限度額は10万円・30万円・50万円・100万円の4種類となっている。

制度の概要と利用状況は次の通りである。

融資限度額／病院職員カードローン	10万円・30万円・50万円・100万円
病院職員ローン	500万円
利息（保証料込み）／カードローン	12.1%（限度額10万円・30万円・50万円・100万円） 12.9%（限度額10万円・30万円・50万円・100万円）
ローン	4.2%（保証料込）
融資期間／カードローン1年または3年	ローン10年以内
令和5年3月31日現在の利用／カードローン	総契約数152件（3,129,435円）
ローン（証書貸付）	0件（0円）

## Ⅱ 病院管理

### A 環境問題委員会

環境問題委員会では、医療機関に関係する環境の問題を従来よりも広範囲に取り扱う場として取り組みを行ってきた。

会員施設が環境活動に対して関心を持ち、積極的に取り組んでいくことができるよう、当協会役員が行政や関係団体の環境問題に関する各種会議に出席し、当委員会と連携を図りながら、そこで得た情報を会員施設に発信している。今年度は、SDGsをテーマとした研修会を動画配信にて実施した。今後も環境問題に関する研修会の企画・開催や補助金交付事業を紹介する等の支援協力を行っていく。

#### 1 委員会

委員長：藤澤明生（担当役員）

委員：明石 純、市場真澄（以上、担当役員）、金岩孝也（事務長会）、高橋鈴子（～令和4.5）、  
矢田貴子、岩田裕花（令和4.6～）（以上、看護部長会）、江口光徳（臨床検査部会）、  
茶谷和真（放射線技師部会）、福島由理（栄養士部会）

#### 2 開催日（書面） 2/16

#### 3 主な活動

##### a 研修会

3/9～3/23（動画配信） 参加申込者／38名

テーマ／「ウィズコロナ時代の差別化戦略 ～病院におけるSDGsとレジリエンスの融合～」  
講師／藤田裕之（レジリエント・シティ京都市統括監、京都市国際交流会館館長、元京都

市副市長)

説 明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）－京都府の人口・患者動態から－」  
（事務局）

b 環境問題についての情報収集・情報交換及び会員施設に対する情報提供

## B 会員病院との情報ネットワークシステム

情報通信の発展により、病院においても電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システム、病院情報の発信など、情報通信ネットワークが急速に普及している。国の医療機能情報公表制度や病床機能報告制度、京都府の京都健康医療よろずネット、医療機能評価等の第三者評価、自院のホームページなど、インターネットで医療機関情報が公開されており、地域への情報発信や人材確保等において不可欠となっている。協会のホームページでは、会員施設のホームページとリンクさせており、会員の認知度の向上や患者の利便性に資するよう努めている。また、協会の各種事業は会員施設のあらゆる職種の協力で成り立っており、当協会の事業を通じて会員施設と連携を図るとともに、会員施設が地域で重要な役割を担っていることを周知している。

地域の医療介護連携においては、医療機関、介護・福祉事業者や多職種による情報共有、コミュニケーションの促進が医療介護サービスの向上に必要となっており、協会会員が地域包括ケアシステムの中心としてさらに機能するようネットワークづくりにも取り組んでいる。平成27年度からは、病院の地域連携室等の窓口情報を調査し、協会ホームページで閲覧・検索を可能とし、入退院支援時の連携強化を図っている。

京都府医療勤務環境改善支援センターで取り組む「京都いきいき働く医療機関認定制度」の宣言病院及び認定病院も当協会ホームページ内で紹介し、各病院のホームページとリンクさせて医療従事者の確保に繋がるよう認知度の向上を図っている。

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により、顔を合わせたコミュニケーション・連携が困難となる中、Zoomによる会議・研修システムを構築し、会員施設とのネットワークが途切れることのないよう運営している。

## C 病院機能向上委員会

当委員会は、会員病院の医療機能の向上を目指した活動を行っている。

令和4年度は、会員施設からの問い合わせに対応した。さらには、入院中の下部尿路機能障害を有する患者に対して多職種協働で排尿機能回復を図り、在宅復帰後の療養生活の向上、介護者の負担軽減に繋げるべく、昨年度に引き続き、医師・看護師を対象にした「排尿機能回復のための治療とケア講座」を開催した。

### 1 委員会

委 員：富士原正人、武田敏也、明石 純（以上、担当役員）、山口寛士（事務長会）、

齋藤文代（宇治徳洲会病院）、塚本美晴（武田病院グループ）（以上、看護部長会）

開催日：なし

## 2 研修会

①11/24・②11/25・③11/26 於：ラポール京都 (①)・からすま京都ホテル (②)・登録会館 (③)

対 象／①医師 ①～③看護師 \*排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料該当研修

参加者／医師1名・看護師48名

テーマ／「令和4年度排尿機能回復のための治療とケア講座」

- 1) 「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」
- 2) 「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」
- 3) 「尿路機能障害の予防とケア」
- 4) 「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」  
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
- 5) 「排尿日誌による評価（演習含む）」  
「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」
- 6) 「排尿ケアの事例検討（演習含む）」  
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
- 7) 「排泄自立のためのリハビリテーション（排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む）」
- 8) 「自己導尿の指導方法（演習含む）」

講 師／1) 京都府健康福祉部医療課

2) 上田陽彦（賀茂病院院長）

3) 萩原暢久（京都田辺中央病院人工透析内科部長）

4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）

5) 細野恵理（三菱京都病院・皮膚・排泄ケア認定看護師）

6) 山口昌子（NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事）

山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士、NPO 法人認知症排泄支援の会理事・事務局長）

7) 田山大介（医療法人社団西宮回生病院リハビリテーション部係長・作業療法士）

8) 加藤昌子（十条武田リハビリテーション病院外来血液透析センター看護師長・皮膚・排泄ケア認定看護師）

## 3 病院機能評価 会員認定施設

35施設（令和5年3月10日現在）

## D 情報セキュリティ向上対策事業

オンラインを活用した診療や地域連携が普及するとともに、オンライン資格確認等システム、電子処方箋など医療 DX に向けた動きが加速する一方、ランサムウェア攻撃による被害が医療機関で相次いでおり、医療のオンライン化とセキュリティ強化は一体的に進めなければならない重要課題

となっている。その中で、京都府では令和4年度に「京都府医療機関情報セキュリティ向上対策事業」が予算化され、当協会が事業を実施することとなった。医療機関の情報セキュリティに必要な情報管理・情報セキュリティセミナーの開催、情報管理専門家等の派遣、セキュリティに係る機器・サービス・システムの導入・強化支援を実施し、医療機関における個人情報保護やサイバーセキュリティ対策の向上に努めた。

## 1 検討委員会

委員：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム）、大木達雄（武田病院グループ）、  
前田 正（医療法人清仁会）

担当役員：児玉直俊

開催日（Web 併用） 9/26 11/4 12/15 3/2 計4回

## 2 主な活動

### a 情報管理・情報セキュリティセミナー

12月15日 於：からすま京都ホテル（Web 併用）

会場参加／24名 オンライン参加申込／110名 計134名

テーマ／「医療機関が押さえておくべき医療情報セキュリティの基礎」

講師／黒田知宏（京都大学医学部附属病院教授・医療情報企画部長・病院長補佐）

テーマ／「ランサムウェア被害の増大に係る注意喚起」「ネットワーク機器の点検のお願い」

説明／京都府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課

1月19日 於：からすま京都ホテル（Web 併用）

会場参加／13名 オンライン参加申込／103名 計116名

テーマ／「対策急務！医療機関に相次ぐサイバー被害

～半田病院の経験に学ぶ、サイバーセキュリティ対策～」

講師／須藤泰史（徳島県つるぎ町立半田病院・つるぎ町病院事業管理者）

テーマ／「ランサムウェア被害の増大に係る注意喚起」「ネットワーク機器の点検のお願い」

説明／京都府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課

### b 情報セキュリティ対策専門家派遣事業

情報管理、情報セキュリティ対策に悩みや課題を抱える病院に専門家を派遣し、情報管理の安全性や対策すべき課題を把握するとともに、セキュリティ対策の向上に向けた相談対応・助言等を実施した。

期間／令和4年12月2日～令和5年2月27日

上記期間で1病院につき2回派遣（1回目 情報セキュリティチェック・ヒアリング、2回目 情報セキュリティ診断結果報告会）

派遣した専門家／大久保茂人（プラスエス代表・情報処理安全確保支援士）

派遣病院数／16病院

### c 情報セキュリティ向上対策事業補助金

不正アクセス防止、ウイルス感染対策など、必要な機器・サービス・システム等の導入に要

する費用の一部を補助した。

補助対象期間／令和4年6月1日～令和5年2月28日

補助率・補助限度額／補助対象経費の2分の1以内・補助限度額100万円（税込）以下

補助金交付病院数／40病院

補助総額／20,952千円

d 情報セキュリティ対策に係る医療従事者への啓発用ポスターの作成・配布

全ての医療従事者のセキュリティ対策への意識向上を図ることを目的とし、日常から注意すべき事項を普及啓発するためのポスターを作成・配布した。

作成枚数／1,500枚（当協会ホームページで作成データを提供）

### Ⅲ 税制

政府が令和4年12月に決定した令和5年税制改正大綱の厚生労働省関係では、認定医療法人に対する相続税・贈与税の納税猶予等に関する特例措置が令和5年9月末から令和8年12月末まで延長されるとともに、特例を受けるための移行期限を移行計画認定から「3年以内」を「5年以内」に緩和されることとなった。地域医療構想実現に向けた税制上の優遇措置では、再編計画に基づいて不動産を取得した場合に、登録免許税の税率を2分の1に軽減する措置の適用期限が令和8年3月末まで3年延長される。このほか、医師及び医療従事者の労働時間短縮に資する機器等の特別償却制度、地域医療構想の実現に向けた病床再編等のために取得した建物等に関する特別償却制度、高額な医療用機器を取得した場合の特別償却制度（但し、対象となる医療用機器は見直し）についても、令和5年3月末までの適用期限が2年延長される。一方で、社会保険診療報酬に係る事業税非課税、医療法人の自由診療等に係る事業税の軽減税率は、税負担の公平性を図る観点や、地域医療の確保を図る観点からそのあり方について検討することが明記され、今後の動向に注意を要する。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の脅威は続いており、感染対策を行いながら地域医療の維持に努めている医療機関の経営は厳しい状況に晒されており、当協会では新型コロナウイルス感染症対策に係る税制上の支援措置の新設・期間延長を、中央の病院団体を通じて国に求めている。

医療機関に関わる税の問題で、とりわけ社会保険診療への消費税が非課税であることで生じている控除対象外消費税は、病院の経営を圧迫し、病院の建物の増改築・修繕、新たな医療機器や設備の導入を妨げ、病院医療の向上に大きな支障をきたしている。現行の診療報酬上での補填では、点数算定の状況や設備・物品等の購入状況が異なるため、過不足なく補うことは不可能であり、当協会では仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度への改正を求めている。但し、消費税問題は、課税に転換した場合、診療報酬で補てんされている部分が減額される可能性もあり、当協会では引き続き情報収集・分析を行うとともに、中央の病院団体と連携しながら対応していくこととしている。

そのほかの医療に関わる税制についても地域医療の確保の観点から重要であり、当協会では医療機関における税の問題について引き続き情報収集や在り方の検討を行い、必要に応じて改善要望や対応を行っていくこととしている。

# 【厚生部】

## I 会員交流

### A 第58回病院対抗野球大会

京都府知事杯争奪第58回病院対抗野球大会は、開催に向けて進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため中止とした。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

実行委員：江口光徳（宇治徳洲会病院）、松下和彦（医仁会武田総合病院）、  
加茂有紀浩（いわくら病院）、北本雄大（洛和会音羽リハビリテーション病院）、  
西野優也（京都岡本記念病院）、木下良信（京都久野病院）

担当役員：市場真澄

### B 第43回病院対抗バレーボール大会

京都府知事杯争奪第43回病院対抗バレーボール大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため中止とした。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

実行委員：岡田英子（医仁会武田総合病院）、江川大地（京都大原記念病院）、  
安東寧浩（宇治徳洲会病院）

担当役員：真鍋由美

### C 第15回病院対抗フットサル大会

京都私立病院協会会長杯争奪病院対抗フットサル大会の第15回大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため中止とした。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

実行委員：大木達雄（武田病院）、久保田聡（京都桂病院）、鷲見俊亮（京都回生病院）、  
渡辺皐太（蘇生会総合病院）

担当役員：武田敏也

### D 第9回会員親睦ゴルフコンペ

平成25年度より当協会の厚生事業の1つとして位置づけてから第8回目となる京都私立病院協会会長杯ゴルフコンペを開催し、参加者は感染防止対策に努めながらダブルペリア方式による競技を行った。プレー終了後は、表彰式を行い、優勝から第3位、当日賞（11+3=14位）、BB賞の発表と、各賞の賞品並びに参加賞の贈呈を行った。

開催日と会場：11月3日 瑞穂ゴルフ倶楽部

参加：16施設28名（8組）

優 勝：富士原正人（京都ルネス病院）NET 69.0（GROSS 84）

準優勝：笠次敏彦（園部病院）NET 71.0（GROSS 80）

第3位：松本泰郎（京都下鴨病院）NET 71.4（GROSS 93）

協 賛：京都府病院協同組合

実行委員会：8/8 於：私病協会議室

実行委員長：富士原正人（担当役員）

実行委員：茨木孝二（担当役員）、山田正明（事務長会）、上垣明宏（事務長会）

## Ⅱ 京都私立病院報

「京都私立病院報」は、当協会の広報誌として、毎月1回1日に定期発行している。編集は、担当役員、事務長会、看護部長会からの委員で構成する私病報編集委員会が担い、毎月の会議で記事の構成の検討、原稿の確認・編集を行っている。令和4年度も、民間病院に関わるトピックスや重要事項、当協会の各種研修会・イベントの報告、京都府・京都市からのお知らせ、求職情報等を掲載し、会員施設の情報収集の一助になるよう努めるとともに、会員施設職員による表紙の絵画作品や投稿記事、会員異動も掲載し、会員施設相互のコミュニケーションを図るツールとしても活用し、定着している。

また、会員からの表紙の絵画作品・写真や投稿記事、会員異動を掲載し、会員相互のコミュニケーションも図るツールとしても定着している。

現在の発行部数は2,350部で、会員施設、関係行政機関、国会・府市会議員、関係諸団体、その他の購読契約者へ配布している。

### 1 私病報編集委員会

委員長：近藤泰正（担当役員）

委 員：藤井本龍弘（～令和4.5）、浅田 淳（～令和4.5）、山口寛士（令和4.6～）、

中野 哲（令和4.6～）（以上、事務長会）、中澤美知子、佐伯昭子（以上、看護部長会）

開催日：4/19 5/17 6/21 7/19 8/23 9/20 10/18 11/15 12/20 1/17 2/22

3/17

計12回

### 2 発行回数

14回発行：第725号（4月号）～第737号（3月号）、第10回通常総会号（第726－臨）

## 【政策委員会】

政策委員会は会長および副会長で構成し、協会の事業や政策立案をはじめ、行政の施策に関する重要案件、医療・介護・福祉関係機関との連携に係る案件等を協議した。また、当協会の関係団体間の連携の一環として、各事業所の人事等の重要案件についても協議を行った。

令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大による医療のひっ迫、医療人材確保への対応を協議するとともに、京都府及び京都市からの新型コロナウイルス感染症に関する様々な要請にも対応した。また、感染状況に応じて京都府知事、京都市長に対策・対応を意見し、ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築のために、正副会長が京都府知事、京都市長に直接面会して令和5年度に向けた予算要望を行った。政権与党である政党との懇談も行い、新型コロナウイルスに係る国の対応等について意見交換や要望をおこなった。

政策委員会 4/6 4/27 5/11 6/1 6/15 7/6 7/20 8/3 9/7 9/21 10/7  
10/19 11/2 11/16 12/7 1/18 2/1 2/15 3/1 3/15 計20回開催  
於：私病協会議室（Web 併用）

- ・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望 5/26 於：京都府庁、京都市役所（資料1）
- ・牧原秀樹自由民主党厚生労働部会長・衆議院議員との意見交換会 6/17 於：京都経済センター
- ・公明党 2023年度予算・税制要望並びに政策懇談会 10/15 於：京都東急ホテル
- ・地域医療介護総合確保基金にかかる令和4年度事業実施状況及び令和5年度要望に係る京都府ヒアリング 10/5 於：私病協会議室
- ・京都府への令和5年度予算要望並びに民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関する緊急要望（資料2） 10/20 要望先：京都府知事 於：京都府庁
- ・京都市への令和5年度予算要望並びに民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関する緊急要望（資料2） 11/25 要望先：京都市長 於：京都市役所

## 【京都府地域医療介護総合確保基金(京都私立病院協会実施分)の説明】

\*当協会事業のうち、令和4年度の京都府地域医療介護総合確保基金の対象事業は下記の通り。

### 1 病床転換促進事業（病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業）

病院の全ての医療従事者が、京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）を正しく理解するとともに、将来の医療提供体制の充実に寄与するための事業を実施し、構想の実現を図る。

#### （1）病院幹部・管理職等に対する病床転換意識向上事業

・「地域医療部 VII G これからの社会保障を考えるセミナー」

#### （2）病院医療従事者に対する病床転換を見据えてのキャリア及びモチベーション向上事業

##### ① 将来の病床転換を見据えた部門別、職種別、全職種対象の専門知識・技術向上研修等

・「総務部 II B 事務長会」

・「総務部 II C 看護部長会」

・「総務部 II D 薬剤師部会」

・「総務部 II E 放射線技師部会」

・「総務部 II F 臨床検査部会」

・「総務部 II G 栄養士部会」

・「総務部 II H リハビリテーション部会」

・「総務部 II I 臨床工学技士部会」

・「保険部 II B 介護保険委員会」

・「地域医療部 III B 救急医療検討委員会」

・「地域医療部 IV B 医療安全対策委員会」

・「地域医療部 V B 感染症対策委員会」

・「地域医療部 VI C 病院認知症対応力向上事業 f 病院看護師のための認知症ケア講座」

・「学術研修部 II A 教育研修基礎コース」

・「学術研修部 II B 看護卒後教育」

・「経営管理部 II A 環境問題委員会」

・「経営管理部 II C 病院機能向上委員会」

##### ② 地域包括ケア実現のために必要な病床の管理・運営を担う医療従事者のリーダー養成研修

・「学術研修部 II C 保健医療管理者養成講座」

##### ③ 病床連携推進事業

・「学術研修部 I A 第57回京都病院学会」

### 2 病院地域包括ケアシステム強化事業

・「地域医療部 VI D 病院地域包括ケアシステム強化事業」

- 3 地域連携型在宅医療支援病院事業
  - ・「地域医療部 VI E 地域連携型在宅医療支援病院事業」
- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
  - ・「地域医療部 VII A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業」
- 5 勤務医勤務環境改善体制整備事業
  - ・「地域医療部 VII C 勤務医勤務環境改善体制整備事業」
- 6 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
  - ・「地域医療部 VII H 医療従事者勤務環境改善体制整備事業」
- 7 医療従事者確保強化事業
  - ・「地域医療部 VII I 医療従事者確保強化事業」

## 【学校法人京都保健衛生専門学校】

2022年度の本校の概要と動きを以下に報告する。

### 1) 理事・監事・評議員

第13期（2021年11月1日～2023年3月4日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	黒岩敏彦		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
理事（評議員）	岡田 純	評議員	磯田典子	評議員	小澤 優
理事（評議員）	小森直之	評議員	大西皓久	評議員	香月キヨ子
理事（評議員）	近藤泰正	評議員	川上智子	評議員	谷本千亜紀
理事（評議員）	佐藤眞喜子	評議員	林 雅弘	評議員	福井英人
理事（評議員）	武田隆久	評議員	藤田都司	評議員	松崎祥三
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	本井康博		
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

第14期（2023年3月5日～2025年3月4日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	黒岩敏彦		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
理事（評議員）	磯田典子	評議員	小澤 優	評議員	大西皓久
理事（評議員）	岡田 純	評議員	衣川美佳	評議員	高井好信
理事（評議員）	小森直之	評議員	谷本千亜紀	評議員	津崎桂子
理事（評議員）	近藤泰正	評議員	林 雅弘	評議員	林 裕一
理事（評議員）	武田隆久	評議員	福井英人	評議員	藤田都司
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	真鍋由美	評議員	本井康博
		評議員	山本美紀		
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

### 2) 学校を取り巻く環境の変化と2021年度の現状

学校経営における環境は、少子化、大学の台頭など受験生確保が一段と難しくなっています。

本校では、一定の数と質とを保てるよう、今後も、学校教職員一丸となって、受験生確保、定員確保に取り組んでいきます。

看護学科三年課程は、教育目標である知識と理論に裏づけされた看護実践能力の基礎を身につけ、社会の変化に関心を持ち、自ら変革させながら、保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成していく。

臨床検査学科は、専門的な知識と技術の習得と、医療人としての心を教育し、社会に役立つ臨床検査技師を育成する。

臨床工学技士専攻科は、医療資格養成校出身者と理工学系大学出身者の特徴を尊重し、各々の専門性を活かしながらキャリア形成できる環境を提供し、チーム医療に貢献できる人材育成に努める。

## I 学校行事

(2022年度)

4月6日	2022年度入学式(111人)	於：京都アスニー
9日	ウイルス抗体検査	
13日	学生健康診断	看三・工学
16日	学生健康診断	検査
20日	校務運営会議(第13期)	(以降月1回)
5月2日～11月24日	学外実習(各論臨地実習)	看三3年生
6日～7月21日	学外実習(各論臨地実習)	二臨4年生
9日・11日	ツベルクリン反応検査	
18日	第5回学校法人理事会・第5回学校法人評議員会(第13期)	於：本校
6月10日	体育祭	於：島津アリーナ京都
14日～17日	高校教員向け説明会	
18日	オープンスクール(WEB併用)	(全学科)
29日	オープンスクール	(工学-学内)
7月1日	創立記念日	
4日～15日	学外実習(老年看護学実習I実習)	看三2年生
11日～8月24日	学外実習(臨床実習)	工学1年生
16日	オープンスクール(WEB併用)	(全学科)
25日～29日	学外実習(地域でくらす人を知る実習)	看三1年生
8月1日	学校見学会	
6日	1期入学試験(臨床工学技士専攻科)	
20日	オープンスクール(WEB併用)	(全学科)
31日	オープンスクール	(工学-学内)
9月4日	第2種ME技術実力検定試験	一臨、工学 於：コングレコンベンションセンター
10日	2期入学試験(臨床検査学科・臨床工学技士専攻科)	
20日～22日	高校教員向け説明会	
24日	学校見学会	
10月1日	オープンスクール(WEB併用)	(全学科)
3日～7日	学外実習(看護を知る実習)	看三1年
8日	3期入学試験	
19日	防火訓練	
26日	第6回学校法人理事会・第6回学校法人評議員会(第13期)	於：本校
28日	献血に協力	

29日	学校見学会	
11月5日	4期入学試験	
7日～24日	学外実習（統合実習） 看三3年	
28日～12月15日	学外実習（成人看護学実習Ⅰ） 看三2年	
12月3日	5期入学試験	
16日	奨学金説明会 看三	
1月7日	学校見学会	
11日～3月28日	学外実習（臨地実習） 一臨2年	
16日	学外実習（解剖見学） 看三1年	
23日～2月9日	学外実習（健康障害をもつ人を支える実習） 看三1年	
28日	6期入学試験	
2月12日	第112回看護師国家試験	
14日	卒業認定会議（全学科）	
13日～3月3日	学外実習（循環器実習）（一臨1年生）	
15日	第69回臨床検査技師国家試験	
18日	学校見学会	
27日～3月10日	学外実習（循環器実習）（二臨2年生）	
3月4日	7期入学試験	
5日	第36回臨床工学技士国家試験	
5日	第1回学校法人理事会・第1回学校法人評議員会（第14期）	於：本校
8日	卒業式 於：本校（97名）	
17日	奨学金説明会 看三	
20日	8期入学試験（臨床検査学科）	
22日	単位認定会議（看護）進級認定会議（検査）	
23日	第69回臨床検査技師国家試験合格発表	
24日	第112回看護師国家試験合格発表	
24日	第36回臨床工学技士国家試験合格発表	
25日	学校見学	
29日	第2回学校法人理事会・第2回学校法人評議員会（第14期）	於：本校

## Ⅱ 学生関係

### A 在学生数 2022年4月7日

学 科	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
看護学科三年課程	40	42	37	－	119
第一臨床検査学科	35	26	40	－	101
第二臨床検査学科	13	15	12	26	66
臨床工学技士専攻科	25	－	－	－	25
合 計	113	83	89	26	311

### B 卒業生数 2023年3月8日

学 科	卒業生	
看護学科三年課程	42期生	32名
第一臨床検査学科	48期生	27名
第二臨床検査学科	47期生	14名
臨床工学技士専攻	25期生	24名
合 計	97名	

### C 国家試験結果

学 科	受験者数	合格者数 (合格率%)	全国平均 (%)
看護学科三年課程	32	31 (96.9)	95.5
第一臨床検査学科	27	24 (88.9)	77.6
第二臨床検査学科	14	11 (78.6)	
臨床工学技士専攻科	24	23 (95.8)	85.4

### D 2023年度生入学試験応募状況

学 科	応募者数	受験者数	合格者数	入学生 (2023年4月5日)
看護学科三年課程	167	159	48	45期生 42名
第一臨床検査学科	41	39	37	51期生 31名
第二臨床検査学科	16	16+ 2	16+ 2	51期生 12名
臨床工学技士専攻科	17	16	16	25期生 14名
合 計	241	230+ 2	122+11	99名

+○は第二志望

### E 在学生数 2023年4月5日

学 科	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
看護学科三年課程	42	40	38	－	120
第一臨床検査学科	31	34	32	－	97
第二臨床検査学科	12	10	15	22	59
臨床工学技士専攻科	14	－	－	－	14
合 計	99	84	85	22	290

## 【京都府病院協同組合】

### 概況

新型コロナウイルス感染症の対応が始まり3年目を迎えた2022年は、オミクロン株の爆発的な流行により、第6波、第7波とこれまでの波を大きく上回る規模で感染が拡大し、医療の環境は更なる悪化を強いられました。過去の波と比較して死亡者数は少ない傾向にあったとはいえ、感染対応に制限なく取り組む医療機関や介護施設に対し、少しでも役立てるよう心掛けてまいりました。

また、2022年は世界に大きな衝撃を与えたロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まった年であり、この戦争が国際エネルギー市場の混乱を招く大きな要因となりました。未だ先が見えない状況が続いており、国内でもエネルギー価格の高騰が顕著となり、多くの病院や介護施設などでも光熱費の上昇や資材の物価高騰を引き起こし、先のコロナの影響も相まって、経営のひっ迫が続いています。その中でも、組合として、医療消耗品やその他資材の安定供給と安価な組合価格を心掛けてまいりましたが、長引く戦争を起因とした原材料価格の高騰、それに伴う国内の物価上昇が相まって、価格改定の案内をせざるを得ない状況となりました。また、2023年に入り、一層、あらゆる面で価格の改定が避けられない状況が明白となりましたが、その中でも組合の理念である薄利多売の精神を守るため、利益追求を抑え、安価な組合価格に努め、これまで以上に真摯な対応と、幅広い情報提供をしてまいります。

2022年度も前年度と同様、様々な対応に追われながらも、購買事業については、コロナ渦の中で着実に営業活動を行い、多くのご利用をいただいた結果、更なる大きな売上高を達成する事ができました。その結果、今年も総額2,000万円の販売促進奨励金を無事にお届けすることができました。また、レンタル事業も一定の契約を達成し、順調に展開しております。委託事業に関しては、大きな変動はありませんでしたが、新たな取り組みとして当組合指定の寝具業者と提携して、白衣のレンタルや入院セットなどを展開する事となりました。また、購買とともに当組合の事業の柱である保険事業は、前年度並みに契約を確保し、順調な数字を残しております。

今後ともお力添えをいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

## 【京都府病院企業年金基金】

### ゆとりある老後と業界の発展は共通の願い！

京都府病院企業年金基金は、一般社団法人京都私立病院協会を設立母体とする確定給付企業年金です。

昭和55年11月の基金設立以降、長年にわたり、加入事業所の事業主様、加入者様 および、受給者様にご理解とご協力を賜るとともに、歴代理事長はじめ多くの役員、代議員の皆様方に円滑な事業運営のためご支援いただいておりますことを、まことに有り難く、深く感謝申し上げます。

現在、企業年金基金には、70事業所、16,446人が加入され、年金資産残高は245億円です。また、年金経理において、29億円の別途積立金（剰余金の累計）を留保し、健全な財政状況を確保すると共に、業務経理の「加入者1人当たり事務費掛金額」は、全国の総合型企業年金基金において、当基金が最も安い金額で基金を運営しております。

退職後の生活を安定したものにするため、公的年金だけでなく企業年金の存在が、ますます欠かせない状況になっております。安定した確定給付企業年金制度を運営するため、引き続き、全力で職務を遂行すると共に、セーフティな年金資産の運用を目指して参ります。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 1 令和5年3月31日時点の事業概況

・加入事業所数		70事業所
・加入者数	男子	4,707人
	女子	11,739人
	合計	16,446人
・掛金収入		695百万円
・年金給付	受給者数	4,289人
	給付額	747百万円
・一時金給付	受給者数	1,002人
	給付額	322百万円
・年金資産残高（時価）		245億円

2 役員・代議員（任期：自令和4年9月20日 至令和6年9月19日）

選 定		
役 職	氏 名	所属事業所
理 事 長	清 水 鴻一郎	(医) 清水会
理 事 長 代 理	富士原 正 人	(医) 福富士会京都ルネス病院
理 事	武 田 隆 久	(医) 医仁会武田総合病院
〃	中 野 種 樹	(一財) 長岡記念財団
常 務 理 事	関 本 充 治	京都府病院企業年金基金
監 事	藤 澤 明 生	(医) 明生会賀茂病院
代 議 員	吉 川 順 介	(医) 貴順会吉川病院
〃	中 野 博 美	(医) 啓信会京都きづ川病院
〃	明 石 純	(医) 愛友会
〃	山 田 正 明	(医) 西陣健康会堀川病院
〃	小 坪 俊 昭	(医) 岡本病院 (財団) 京都岡本記念病院
互 選		
役 職	氏 名	所属事業所
理 事	矢 野 裕 典	(医) 洛和会
〃	大 橋 博 行	(医) 医道会
〃	林 起予則	(医) 健康会総合病院京都南病院
〃	真 鍋 雄一郎	(医) 医聖会
〃	八 木 利 之	(医) 洛和会
監 事	津 崎 桂 子	(一社) 京都私立病院協会
代 議 員	山 本 昌 孝	(医) 寿尚会洛陽病院
〃	湊 幸 一	(医) 康生会武田病院
〃	河 瀬 雅 彦	(医) 洛和会
〃	松 村 浩 史	京都府病院協同組合
〃	出 野 順	(学) 京都中央看護師養成事業団

敬称略（役職ごと、順不同）

# 【学校法人京都中央看護師養成事業団】

## 令和4年度事業報告

### 1 事業報告

#### (1) (専) 京都中央看護保健大学校創立40周年記念事業

(専) 京都中央看護保健大学校が創立40周年を迎えあたり、記念事業として第1看護実習室の改修や教材・設備の更新、記念誌の発刊を行った。今年度の事業経費の総額は約2800万円で、同窓生や一般社団法人京都私立病院協会会員病院、取引業者などから受けた1000万円の寄附金・協賛広告費と、施設拡充特定資金を繰り入れることで財源を確保した。

8月19日に竣工式を実施し、その後は学生の技術演習のために使用するだけでなく、オープンキャンパスを実施したり、学校見学で案内したりするなど、学生確保にも大きな役割を果たしている。

#### (2) 学校運営

通常的な学校運営においては、光熱費や資材の高騰、コロナ禍で臨地実習を行うためのPCR検査費用などによって支出面での負担が増大したが、学生が定員割れすることなく在籍したことによって学生納付金が予定どおり収入できたことと、京都府、京都市からの補助金収入も申請どおり確保できたことで大きな赤字になることなく運営することができた。

なお、40周年記念事業にかかる経費の捻出により、一時的に運営が厳しくなることが推測されたため銀行から無利息で1800万円の借入れを行ったが、順調に返済している。

#### (3) 教育活動

コロナ禍での教育も3年目を迎え、整備を進めてきたICT教育環境と2年間の経験を活かしながら看護師・保健師教育を行った。講義では対面とオンラインを併用して授業を行い、臨地実習ではコロナ禍で受け入れを中止する病院・施設があったものの、代替の施設や学内に切り替えて実習を行い、ともに必要な時間数を確保した。

また、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、令和4年度の1年次生からは新しい教育カリキュラムで教育を行った。この1年間をアセスメント・ポリシーに基づいて評価し、次年度の教育へとつなげていきたい。

令和4年度の卒業生は82名で、看護師国家試験は96.3%、保健師国家試験は88.1%であった。

#### (4) 学生募集活動

前年度に出願者数が大きく減少したことを受け、他校の状況を情報収集しながら対策を検討し、危機感を持って臨んだ1年であった。結果としては172名の出願があり、前年度比136.5%となったが、前々年度の200名台までは回復することができなかった。

しかしながら、入学定員は確保できる見込みで、且つ、受験条件がある推薦入試の出願者が増えたことと一般入試で歩留りが想定よりも高かったことで、一定の学力がある受験生や入試成績の上位者を入学生として確保することができる見込みである。

## 2 主な学校行事

- 令和4年4月8日 始講式
- 11日 第40期生入学式（ライブ配信）
- 21日 講師会
- 28日 実習指導者会議（オンライン）
- 5月17日 学生健康診断／1・2年次生
- 25日 春季レクリエーション・新入生歓迎会
- 30日 学校法人京都中央看護師養成事業団第34回理事会・第34回評議員会
- 6月15日 特別講演（オンライン）／1・2年次生
- 18日 第1回オープンキャンパス
- 21日 学校関係者評価委員会
- 7月1日 高等学校との進路研修会（オンライン）
- 9日 第1看護実習室改修工事（～8月13日）
- 16日 第2回オープンキャンパス
- 20日 学生夏期休業（～8月19日）
- 27日 実習指導者会議夏期研修会（オンライン）
- 8月2日 FD研修（電子書籍講習）
- 5日 第24回統合カリキュラム教育実施施設会議（オンライン）
- 6日 第3回オープンキャンパス（オンライン）
- 19日 第1看護実習室竣工式
- 20日 第4回オープンキャンパス
- 9月17日 第5回オープンキャンパス
- 10月15日 第6回オープンキャンパス（オンライン）
- 28日 看護研究発表会／看護保健学科（～29日）
- 29日 看護研究発表会／看護学科
- 31日 学校法人京都中央看護師養成事業団第35回理事会・第35回評議員会
- 11月4日 看護スキル確認講習会 第1クール（10日、17日、24日）
- 5日 指定校推薦入学試験  
関西看護学生看護研究大会（オンライン）
- 11日 学校祭（オンライン）
- 15日 保護者会（オンライン）
- 19日 公募推薦入学試験前期
- 22日 第1回学校運営会議
- 25日 宣誓の日／看護保健学科1年次生
- 12月10日 公募推薦入学試験後期
- 13日 第2回学校運営会議

- 25日 学生冬期休業（～1月7日）
- 令和5年1月10日 一般入学試験前期（～11日）
- 13日 第3回学校運営会議  
看護スキル確認講習会 第2クール（20日、27日、2月3日）
- 18日 実習指導者会議（オンライン）
- 2月2日 卒業認定会議
- 8日 開校記念日
- 10日 第109回保健師国家試験
- 12日 第112回看護師国家試験
- 18日 一般入学試験後期
- 21日 第4回学校運営会議
- 22日 宣誓の日／看護学科1年次生
- 3月5日 看護職就職・就学合同フェア
- 10日 卒業講演（オンライン）  
卒業生を送る会
- 13日 第37期卒業式（ライブ配信）
- 17日 離任式（オンライン）  
避難訓練
- 18日 健康診断／両学科2・3年次生
- 20日 学校法人京都中央看護師養成事業団第36回理事会・第36回評議員会  
学生春季休業（～4月7日）
- 22日 単位認定会議
- 24日 国家試験合格発表

### 3 学生関係

#### (1) 学生数

##### 【看護学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和4年4月	41名	44名	36名	40名	161名
令和5年3月	40名	44名	35名	40名	159名

##### 【看護保健学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和4年4月	42名	43名	41名	42名	168名
令和5年3月	42名	42名	41名	42名	167名

(2) 第37期卒業生及び国家試験結果

【看護学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
40名	看護師	39名	38名	97.4% (90.8%)

【看護保健学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
42名	看護師	42名	40名	95.2% (90.8%)
	保健師	42名	37名	88.1% (93.7%)

(3) 令和5年度学生入学試験

【看護学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	17名	17名	17名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	39名	35名	10名	－	3.50倍
公募推薦入学試験後期	20名	17名	4名	－	4.25倍
一般入学試験前期	40名	37名	15名	1名	2.31倍
一般入学試験後期	8名	6名	1名	－	6.00倍
合計	124名	112名	47名	1名	2.33倍

【看護保健学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	14名	14名	14名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	36名	35名	11名	－	3.18倍
公募推薦入学試験後期	16名	14名	4名	－	3.50倍
一般入学試験前期	29名	27名	15名	－	1.80倍
一般入学試験後期	6名	5名	1名	－	5.00倍
合計	101名	95名	45名	－	2.11倍

4 事業団役員(令和5年3月31日現在)

理事長	久野成人	医療法人社団育生会理事長(京都久野病院)
副理事長	清水鴻一郎	医療法人清水会理事長(京都リハビリテーション病院)
常務理事	土井直也	(専) 京都中央看護保健大学校事務局長
理事	久保俊一	(専) 京都中央看護保健大学校学校長
	志摩裕丈	京都市保健福祉局医療衛生推進室長
	清水幸夫	医療法人清仁会会長(シミズ病院)
	高木敏貴	京都岡本記念病院院長
	武田隆久	武田病院グループ理事長(医仁会武田総合病院)
	西城嘉子	ライフ・イン京都副ケアセンター長
	畑 典男	長岡病院院長

	平川祐子	(専)京都中央看護保健大学校同窓会顧問(十条武田リハビリテーション病院)
	松井淳琪	京都九条病院院長
監 事	中濱正晃	京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課長
	吉川順介	医療法人社団貴順会会長(吉川病院)
評 議 員	赤木 博	医療法人新生十全会理事長(なごみの里病院)
	阿形奈津子	(専)京都中央看護保健大学校副学校長
	石束佳子	(専)京都中央看護保健大学校顧問
	石丸庸介	医療法人社団石鎚会理事長(京都田辺中央病院)
	出野 順	(専)京都中央看護保健大学校事務部長
	河村 正	元 京都市立堀川高等学校校長
	流石智子	京都華頂大学教授
	高松晃司	京都成蹊法律事務所弁護士
	津崎桂子	一般社団法人京都私立病院協会事務局長
	富田哲也	社会福祉法人京都博愛会理事長(富田病院)
	仲田昌司	三菱京都病院事務長
	能勢亜友子	(専)京都中央看護保健大学校同窓会会長
	真鍋雄一郎	医療法人社団医聖会常務理事(八幡中央病院)
	矢田貴子	堀川病院看護部長



# 資料



## 資料 1

私病協発 4 - 178

令和 4 年 5 月 26 日

（京都府知事 西脇 隆俊 殿）  
（京都市長 門川 大作 殿）

一般社団法人京都私立病院協会  
会 長 清水鴻一郎

### 新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望

新型コロナウイルスの流行による未曾有の危機に対し、我々民間病院では感染リスクを抱えながらも感染拡大防止に最善を尽くし、感染者の治療にあたっています。また、新型コロナウイルス感染症以外の診療も可能な限り継続し、地域医療を維持しているところです。

新型コロナウイルス感染症患者の入院医療費については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に基づき、指定感染症として治療にかかる医療費については、全部又は一部を公費で負担することとされています。

しかし、本制度は新型コロナウイルス感染拡大を想定されたものではなく、公費負担の手順として、保健所から退院患者へ申請書類の送付後、患者自ら申請書類の作成や住民票、課税証明書等の添付書類の取得が必要であることから、手続きが非常に煩雑になっています。さらに、保健所のマンパワー不足等による患者への書類の送付や医療機関への公費番号の通知が滞ることもあり、医療機関から当該患者の入院医療費の請求ができず、当協会が会員施設に実施した別添「新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する緊急調査」の結果においても、キャッシュフローが厳しくなり、経営を圧迫している事例が多数見られております。

現行の制度が続けば、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている病院の経営が長期に亘り影響を受け続け、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大時における地域医療体制を維持することが困難となります。

京都府（京都市）におきましても病院に対する様々な支援策が講じられているところですが、コロナ患者受入医療機関が抱える喫緊の課題の解決を図り、地域医療を維持するために、次の事項を強く要望します。

#### — 記 —

一 本来、支払われるべき新型コロナウイルス感染症患者の公費入院医療費について、発生日から翌々月までの間に行政から医療機関に一時立替払いを行うこと。

一 病院側が滞りなく、公費入院医療費を請求できるよう、病院と管轄の保健所が連携し、当該患者の情報共有を行うと共に保健所が迅速に申請を行えるよう更なる体制の強化を図ること。

以 上

\*別添「新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する緊急調査」は省略

## 資料2

私病協発 4 - 476

令和 4 年10月20日

私病協発 4 - 527

令和 4 年11月25日

〔京都府知事 西脇 隆俊 殿〕  
〔京都市長 門川 大作 殿〕

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水鴻一郎

### 民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関する緊急要望

時下、貴職におかれましては、京都府の健康福祉行政（京都市の保健福祉行政）の推進に格別のご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の長期化、ウクライナ情勢や急激な円安の影響を受けて、原油価格・物価が高騰する中、民間病院においても光熱費や食材費等の上昇に直面しており、大きな負担を強いられています。

当協会が令和 4 年 7 月に実施した「電気・ガス料金の高騰による病院経営への影響と経費削減の取り組みに関する緊急調査」の結果（別紙 1・72 病院回答）では、96%の民間病院が電気・ガス料金の上昇により病院経営への影響があると回答しており、ほとんどの病院が省エネ対策をはじめ様々な経費削減に取り組んでいるにも関わらず、想定を逸脱した光熱費等の高騰により経営は大変厳しい状況となっています。光熱費等の上昇分を価格転嫁することはできず、民間病院のみでの対応には限界があり、このような状況が続けば、地域医療の維持、新型コロナウイルス感染症対応、医療の安全・質の低下にも繋がりがかねません。

一方、高齢・障害者施設等には、政府が創設した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、「臨時交付金」という。）」により、京都府・京都市においては光熱費や食材料費等の高騰に対する補助（別紙 2・別紙 3）が行われていますが、医療機関に向けた支援はありません。しかし、厚生労働省が令和 4 年 6 月 7 日に発出した事務連絡「令和 4 年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱い及びコロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』について」（別紙 4）では、コロナ感染症の影響を受けている医療機関において、食材料費の値上げなど食事の提供にも影響する場合や光熱水費の高騰が生じている場合等においても、地方公共団体の判断により、臨時交付金を活用できるとの見解が示されています。

京都府（京都市）におかれましては、とりわけ資金調達手段が限られ、影響の大きい民間病院の負担を軽減し、事業運営を維持できるよう、民間病院への臨時交付金等の活用、京都府（京都市）独自の民間病院への緊急対策支援、都道府県税（市町村税）の減免措置等について、可及的速やかに財政措置を講じていただくよう要望いたします。

以 上

\*別紙 1～4 は省略

第1号議案

令和4年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに  
正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

行No.	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
1	I 資産の部			
2	1. 流動資産			
3	現金及び預金	310,773,988	282,097,904	28,676,084
4	未収会費	3,372,547	3,413,097	△ 40,550
5	未収入金	148,989,275	161,611,777	△ 12,622,502
6	前払金	283,400	181,028	102,372
7	仮払金	66,070	0	66,070
8	流動資産合計	463,485,280	447,303,806	16,181,474
9	2. 固定資産			
10	(1) 特定資産			
11	退職給付引当資産	29,575,053	27,169,656	2,405,397
12	減価償却引当資産	5,001,889	5,001,889	0
13	基金積立資産	30,373,837	30,373,837	0
14	什器備品積立資産	527,767	527,767	0
15	創立記念事業積立資産	4,000,000	2,000,000	2,000,000
16	特定資産合計	69,478,546	65,073,149	4,405,397
17	(2) その他固定資産			
18	建物付属設備	186,728	208,401	△ 21,673
19	什器備品	28,987	31,216	△ 2,229
20	保証金	7,451,280	7,451,280	0
21	その他の固定資産合計	7,666,995	7,690,897	△ 23,902
22	固定資産合計	77,145,541	72,764,046	4,381,495
23	資産合計	540,630,821	520,067,852	20,562,969
24				
25	II 負債の部			
26	1. 流動負債			
27	未払金	13,507,242	27,135,998	△ 13,628,756
28	前受金	1,651,910	800,330	851,580
29	預り金	3,602,374	4,782,813	△ 1,180,439
30	賞与引当金	4,617,400	6,849,268	△ 2,231,868
31	未払消費税等	6,761,000	21,279,000	△ 14,518,000
32	流動負債合計	30,139,926	60,847,409	△ 30,707,483
33	2. 固定負債			
34	退職給付引当金	29,575,053	27,169,656	2,405,397
35	固定負債合計	29,575,053	27,169,656	2,405,397
36	負債合計	59,714,979	88,017,065	△ 28,302,086
37				
38	III 正味財産の部			
39	1. 一般正味財産	480,915,842	432,050,787	48,865,055
40	(うち特定資産への充当額)	39,903,493	37,903,493	2,000,000
41	正味財産合計	480,915,842	432,050,787	48,865,055
42	負債及び正味財産合計	540,630,821	520,067,852	20,562,969

# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	① 特定資産運用益	(6,371)	(10,054)	(△ 3,683)
5	特定資産受取利息	6,371	10,054	△ 3,683
6	② 受取入金	(200,000)	(0)	(200,000)
7	入金収益	200,000	0	200,000
8	③ 受取会費	(57,812,506)	(57,819,046)	(△ 6,540)
9	会費収益	57,812,506	57,819,046	△ 6,540
10	④ 事業収益	(492,266,680)	(477,197,606)	(15,069,074)
11	参加事業収益	4,073,000	3,721,000	352,000
12	広告事業収益	10,441,300	10,198,200	243,100
13	その他事業収益	858,232	850,960	7,272
14	京都市介護認定調査事業収益	33,233,050	33,782,650	△ 549,600
15	府民リハビリテーション啓発支援事業収益	5,000,000	5,000,000	0
16	離職看護師能力再開発事業収益	500,000	500,000	0
17	看護人材早期復職支援事業収益	5,750,000	4,000,000	1,750,000
18	病院認知症対応力向上事業収益	4,584,000	4,584,000	0
19	京都市病院認知症対応力向上事業収益	2,292,000	2,292,000	0
20	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000	9,700,000	0
21	医療従事者キャリア向上事業収益	39,780,000	40,500,000	△ 720,000
22	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益	5,000,000	5,000,000	0
23	勤務医療勤務環境改善体制整備事業収益	26,000,000	17,080,000	8,920,000
24	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000	6,000,000	0
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000	4,200,000	0
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収益	3,000,000	3,000,000	0
27	在宅療養あんしん病院事業収益	500,000	500,000	0
28	医療労務管理支援事業収益	13,472,998	10,616,428	2,856,570
29	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益	146,543,760	215,843,127	△ 69,299,367
30	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益	144,338,340	99,829,241	44,509,099
31	情報セキュリティ向上対策事業収益	27,000,000	0	27,000,000
32	⑤ 受取補助金等	(4,966,000)	(4,978,000)	(△ 12,000)
33	受取交付金	4,966,000	4,978,000	△ 12,000
34	⑥ 雑収益	(490,485)	(493,400)	(△ 2,915)
35	受取利息	492	492	0
36	雑収益	489,993	492,908	△ 2,915
37	経常収益計	555,742,042	540,498,106	15,243,936
38				
39	(2) 経常費用			
40	① 事業費	(502,740,865)	(483,730,753)	(19,010,112)
41	給与手当	171,191	1,985,632	△ 1,814,441
42	法定福利費	8,077,457	6,318,836	1,758,621
43	福利厚生費	90,508	89,298	1,210
44	賞与引当金繰入額	4,617,400	6,849,268	△ 2,231,868
45	退職給付費用	2,405,397	2,388,317	17,080
46	会議費	719,779	649,751	70,028
47	旅費交通費	249,123	218,270	30,853

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
48	通 信 運 搬 費	818,527	381,259	437,268
49	消 耗 品 費	591,858	437,225	154,633
50	印 刷 製 本 費	422,152	88,504	333,648
51	減 価 償 却 費	19,122	23,483	△ 4,361
52	慶 弔 費	78,000	27,500	50,500
53	図 書 資 料 費	638,094	624,983	13,111
54	私 病 報 発 行 費	5,532,955	5,384,675	148,280
55	委 員 会 事 業 費	371,321	499,978	△ 128,657
56	部 会 ・ 教 育 事 業 費	149,675	61,896	87,779
57	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費	2,279,158	2,884,104	△ 604,946
58	メ デ ィ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費	553,900	534,600	19,300
59	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費	33,233,050	33,782,650	△ 549,600
60	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費	5,000,000	5,000,000	0
61	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費	1,012,388	1,016,747	△ 4,359
62	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費	5,750,000	4,000,000	1,750,000
63	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費	4,584,000	4,584,000	0
64	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費	2,292,000	2,292,000	0
65	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費	9,700,000	9,700,000	0
66	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費	39,780,000	40,500,000	△ 720,000
67	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費	5,000,000	5,000,000	0
68	勤 務 医 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費	26,000,000	17,080,000	8,920,000
69	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費	6,000,000	6,000,000	0
70	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費	4,200,000	4,200,000	0
71	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費	3,000,000	3,000,000	0
72	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費	500,000	500,000	0
73	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費	13,533,138	10,646,474	2,886,664
74	京 都 市 新 型 コ ロ ナ ウ ク セ ン タ ー 集 団 接 種 事 業 費	141,769,008	205,192,659	△ 63,423,651
75	京 都 府 新 型 コ ロ ナ 宿 泊 療 養 施 設 事 業 費	144,338,340	99,829,241	44,509,099
76	情 報 セ キ ュ リ テ ィ 向 上 対 策 事 業 費	27,000,000	0	27,000,000
77	租 税 公 課	1,848,577	1,587,570	261,007
78	雑 費	414,747	371,833	42,914
79	② 管理費	(4,136,122)	(5,924,032)	(△ 1,787,910)
80	給 与 手 当	332,514	1,661,832	△ 1,329,318
81	法 定 福 利 費	254,894	256,122	△ 1,228
82	福 利 厚 生 費	214,579	171,324	43,255
83	通 信 運 搬 費	493,104	490,024	3,080
84	減 価 償 却 費	4,780	5,870	△ 1,090
85	図 書 資 料 費	516,995	512,281	4,714
86	賃 借 料	498,432	768,432	△ 270,000
87	支 払 手 数 料	1,534,940	1,540,440	△ 5,500
88	雑 費	285,884	517,707	△ 231,823
89	経 常 費 用 計	506,876,987	489,654,785	17,222,202
90	評 価 損 益 調 整 前 経 常 増 減 額	48,865,055	50,843,321	△ 1,978,266
91	当 期 経 常 増 減 額	48,865,055	50,843,321	△ 1,978,266
92	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	48,865,055	50,843,321	△ 1,978,266
93	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	432,050,787	381,207,466	50,843,321
94	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	480,915,842	432,050,787	48,865,055
95				
96	II 正味財産期末残高	480,915,842	432,050,787	48,865,055

# 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

行№	勘定科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	合計
		継1	小計	他1	小計		
1	I 一般正味財産増減の部						
2	1. 経常増減の部						
3	(1) 経常収益						
4	① 特定資産運用益	0	0	0	0	6,371	6,371
5	特定資産受取利息		0		0	6,371	6,371
6	② 受取入金	0	0	200,000	200,000	0	200,000
7	入金収益		0	200,000	200,000		200,000
8	③ 受取会費	0	0	11,562,499	11,562,499	46,250,007	57,812,506
9	会費収益		0	11,562,499	11,562,499	46,250,007	57,812,506
10	④ 事業収益	62,745,661	62,745,661	421,898,870	421,898,870	7,622,149	492,266,680
11	参加事業収益	2,851,100	2,851,100	1,221,900	1,221,900		4,073,000
12	広告事業収益		0	2,819,151	2,819,151	7,622,149	10,441,300
13	その他事業収益	214,561	214,561	643,671	643,671		858,232
14	京都市介護認定調査事業収益		0	33,233,050	33,233,050		33,233,050
15	府民リハビリテーション啓発支援事業収益		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
16	離職看護師能力再開発事業収益		0	500,000	500,000		500,000
17	看護人材早期復職支援事業収益		0	5,750,000	5,750,000		5,750,000
18	病院認知症対応力向上事業収益		0	4,584,000	4,584,000		4,584,000
19	京都市病院認知症対応力向上事業収益		0	2,292,000	2,292,000		2,292,000
20	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000	9,700,000		0		9,700,000
21	医療従事者キャリア向上事業収益	39,780,000	39,780,000		0		39,780,000
22	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
23	勤務医療勤務環境改善体制整備事業収益		0	26,000,000	26,000,000		26,000,000
24	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000	6,000,000		0		6,000,000
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000	4,200,000		0		4,200,000
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収益		0	3,000,000	3,000,000		3,000,000
27	在宅療養あんしん病院事業収益		0	500,000	500,000		500,000
28	医療労務管理支援事業収益		0	13,472,998	13,472,998		13,472,998
29	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益		0	146,543,760	146,543,760		146,543,760
30	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益		0	144,338,340	144,338,340		144,338,340
31	情報セキュリティ向上対策事業収益		0	27,000,000	27,000,000		27,000,000
32	⑤ 受取補助金等	4,966,000	4,966,000	0	0	0	4,966,000
33	受取交付金	4,966,000	4,966,000		0		4,966,000
34	⑥ 雑収益	0	0	490,485	490,485	0	490,485
35	受取利息		0	492	492		492
36	雑収益		0	489,993	489,993		489,993
37	経常収益計	67,711,661	67,711,661	434,151,854	434,151,854	53,878,527	555,742,042
38							
39	(2) 経常費用						
40	① 事業費	74,855,764	74,855,764	427,885,101	427,885,101		502,740,865
41	給与手当	68,477	68,477	102,714	102,714		171,191
42	法定福利費	3,230,982	3,230,982	4,846,475	4,846,475		8,077,457
43	福利厚生費	20,816	20,816	69,692	69,692		90,508
44	賞与引当金繰入額	1,846,960	1,846,960	2,770,440	2,770,440		4,617,400
45	退職給付費用	962,159	962,159	1,443,238	1,443,238		2,405,397
46	会議費	287,913	287,913	431,866	431,866		719,779
47	旅費交通費	99,649	99,649	149,474	149,474		249,123
48	通信運搬費	327,410	327,410	491,117	491,117		818,527

(単位：円)

行№	勘定科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	合計
		継1	小計	他1	小計		
49	消 耗 品 費	236,743	236,743	355,115	355,115		591,858
50	印 刷 製 本 費	168,861	168,861	253,291	253,291		422,152
51	減 価 償 却 費	7,649	7,649	11,473	11,473		19,122
52	慶 弔 費		0	78,000	78,000		78,000
53	函 書 資 料 費	382,857	382,857	255,237	255,237		638,094
54	私 病 報 発 行 費	5,532,955	5,532,955		0		5,532,955
55	委 員 会 事 業 費	167,094	167,094	204,227	204,227		371,321
56	部 会 ・ 教 育 事 業 費	149,675	149,675		0		149,675
57	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費		0	2,279,158	2,279,158		2,279,158
58	メ デ ィ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費	553,900	553,900		0		553,900
59	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費		0	33,233,050	33,233,050		33,233,050
60	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
61	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費		0	1,012,388	1,012,388		1,012,388
62	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費		0	5,750,000	5,750,000		5,750,000
63	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費		0	4,584,000	4,584,000		4,584,000
64	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費		0	2,292,000	2,292,000		2,292,000
65	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費	9,700,000	9,700,000		0		9,700,000
66	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費	39,780,000	39,780,000		0		39,780,000
67	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
68	勤 務 医 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費		0	26,000,000	26,000,000		26,000,000
69	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費	6,000,000	6,000,000		0		6,000,000
70	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費	4,200,000	4,200,000		0		4,200,000
71	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費		0	3,000,000	3,000,000		3,000,000
72	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費		0	500,000	500,000		500,000
73	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費		0	13,533,138	13,533,138		13,533,138
74	京 都 市 新 型 コ ロ ナ ウ ェ ク チ ン 集 団 接 種 事 業 費		0	141,769,008	141,769,008		141,769,008
75	京 都 府 新 型 コ ロ ナ 宿 泊 療 養 施 設 事 業 費		0	144,338,340	144,338,340		144,338,340
76	情 報 セ キ ュ リ テ ィ 向 上 対 策 事 業 費		0	27,000,000	27,000,000		27,000,000
77	租 税 公 課	924,288	924,288	924,289	924,289		1,848,577
78	雑 費	207,376	207,376	207,371	207,371		414,747
79	② 管理費					4,136,122	4,136,122
80	給 与 手 当					332,514	332,514
81	法 定 福 利 費					254,894	254,894
82	福 利 厚 生 費					214,579	214,579
83	通 信 運 搬 費					493,104	493,104
84	函 書 資 料 費					516,995	516,995
85	賃 借 料					498,432	498,432
86	支 払 手 数 料					1,534,940	1,534,940
87	減 価 償 却 費					4,780	4,780
88	雑 費					285,884	285,884
89	経 常 費 用 計	74,855,764	74,855,764	427,885,101	427,885,101	4,136,122	506,876,987
90	評 価 損 益 調 整 前 経 常 増 減 額	△ 7,144,103	△ 7,144,103	6,266,753	6,266,753	49,742,405	48,865,055
91	当 期 経 常 増 減 額	△ 7,144,103	△ 7,144,103	6,266,753	6,266,753	49,742,405	48,865,055
92	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 7,144,103	△ 7,144,103	6,266,753	6,266,753	49,742,405	48,865,055
93	※ 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	△ 173,300,889	△ 173,300,889	1,969,617	1,969,617	474,833,415	432,050,787
94	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 180,444,992	△ 180,444,992	8,236,370	8,236,370	524,575,820	480,915,842
95							
96	II 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 180,444,992	△ 180,444,992	8,236,370	8,236,370	524,575,820	480,915,842

※一般正味財産期首残高については一般社団法人への移行に伴い、平成24年度に会計区分の内訳を行ったため、平成23年度までの額(128,548,644)を合計に加算

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備・・・定率法。但し、平成28年4月1日以降取得分については定額法

什器備品・・・・・・・・定率法

ソフトウェア・・・・定額法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	27,169,656	2,405,397	0	29,575,053
減価償却引当資産	5,001,889	0	0	5,001,889
基金積立資産	30,373,837	0	0	30,373,837
什器備品積立資産	527,767	0	0	527,767
創立記念事業積立資産	2,000,000	2,000,000	0	4,000,000
合 計	65,073,149	4,405,397	0	69,478,546

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	29,575,053	—	—	(29,575,053)
減価償却引当資産	5,001,889	—	(5,001,889)	—
基金積立資産	30,373,837	—	(30,373,837)	—
什器備品積立資産	527,767	—	(527,767)	—
創立記念事業積立資産	4,000,000	—	(4,000,000)	—
合 計	69,478,546	—	(39,903,493)	(29,575,053)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	749,392	562,664	186,728
什器備品	3,116,395	3,087,408	28,987
ソフトウェア	2,470,440	2,470,440	0
合 計	6,336,227	6,120,512	215,715

## 附 属 明 細 書

### 1 特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当資産	27,169,656	2,405,397	0	29,575,053
	減価償却引当資産	5,001,889	0	0	5,001,889
	基金積立資産	30,373,837	0	0	30,373,837
	什器備品積立資産	527,767	0	0	527,767
	創立記念事業積立資産	2,000,000	2,000,000	0	4,000,000
	特定資産計	65,073,149	4,405,397	0	69,478,546

### 2 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,849,268	4,617,400	6,849,268	0	4,617,400
退職給付引当金	27,169,656	2,405,397	0	0	29,575,053

# 財 産 目 録

## (一般会計)

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	685,122	
普通預金			
京都銀行	本店	192,742,802	
みずほ銀行	京都支店	1,175,626	
三菱UFJ銀行	京都支店	4,332,604	
りそな銀行	京都支店	7,680,985	
京都信用金庫	本店	11,924,501	
京都中央信用金庫	本店	6,247,119	
郵便振替	東洞院仏光寺	3,859,801	
定期預金			
京都銀行	本店	56,819,448	
三菱UFJ銀行	京都支店	15,305,980	
京都中央信用金庫	本店	10,000,000	
		(310,773,988)	
未収会費		3,372,547	
未収入金			
広告事業収益		105,600	
その他事業収益		115,238	
交付金収益		3,649,000	
京都市介護認定調査事業収益		2,093,850	
府民リハビリテーション啓発支援事業収益		5,000,000	
看護人材早期復職支援事業収益		5,750,000	
病院認知症対応力向上事業収益		4,584,000	
京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益		9,700,000	
医療従事者キャリア向上事業収益		39,780,000	
医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		5,000,000	
勤務医勤務環境改善体制整備事業収益		26,000,000	
医療従事者確保強化事業収益		6,000,000	
病院地域包括ケアシステム強化事業収益		4,200,000	
地域連携型在宅医療支援病院事業収益		3,000,000	
医療労務管理支援事業収益		13,472,998	
京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益		3,783,428	
京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益		16,755,161	
		(148,989,275)	
前払金			
図書資料費		81,400	
普通預金		12,000	
京都市介護認定調査事業費		165,000	
メディワークセンター事業費		25,000	
		(283,400)	
仮払金		66,070	
流 動 資 産 合 計			463,485,280

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金		
三菱UFJ銀行 京都支店	24,883,153	
りそな銀行 京都支店	4,691,900	
	(29,575,053)	
減価償却引当資産		
定期預金		
京都信用金庫 本店	5,001,889	
	(5,001,889)	
基金積立資産		
定期預金		
京都信用金庫 本店	30,373,837	
	(30,373,837)	
什器備品積立資産		
定期預金		
三菱UFJ銀行 京都支店	527,767	
	(527,767)	
創立記念事業積立資産		
普通預金		
京都信用金庫 本店	4,000,000	
	(4,000,000)	
特 定 資 産 合 計	69,478,546	
(2) その他固定資産		
建物附属設備	186,728	
什器備品	28,987	
保証金 事務局・会議室	7,355,280	
貸倉庫	96,000	
	(7,451,280)	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	7,666,995	
固 定 資 産 合 計		77,145,541
資 産 合 計		540,630,821

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,507,242		
未払消費税等	6,761,000		
前受金	1,651,910		
預り金	3,602,374		
賞与引当金	4,617,400		
流 動 負 債 合 計		30,139,926	
2. 固定負債			
退職給付引当金	29,575,053		
固 定 負 債 合 計		29,575,053	
負 債 合 計			59,714,979
正 味 財 産			480,915,842

# 収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差 異
1	I 事業活動収支の部			
2	1. 事業活動収入			
3	① 特定資産運用収入	(10,000)	(6,371)	(3,629)
4	特定資産利息収入	10,000	6,371	3,629
5	② 入金収入	(0)	(200,000)	(△ 200,000)
6	入金収入	0	200,000	△ 200,000
7	③ 会費収入	(57,000,000)	(57,812,506)	(△ 812,506)
8	会費収入	57,000,000	57,812,506	△ 812,506
9	④ 事業収入	(330,098,998)	(492,266,680)	(△ 162,167,682)
10	参加事業収入	4,500,000	4,073,000	427,000
11	広告事業収入	9,000,000	10,441,300	△ 1,441,300
12	その他事業収入	850,000	858,232	△ 8,232
13	京都市介護認定調査事業収入	30,000,000	33,233,050	△ 3,233,050
14	府民リハビリテーション啓発支援事業収入	5,000,000	5,000,000	0
15	離職看護師能力再開発事業収入	500,000	500,000	0
16	看護人材早期復職支援事業収入	4,000,000	5,750,000	△ 1,750,000
17	病院認知症対応力向上事業収入	4,584,000	4,584,000	0
18	京都市病院認知症対応力向上事業収入	2,292,000	2,292,000	0
19	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収入	9,700,000	9,700,000	0
20	医療従事者キャリア向上事業収入	41,500,000	39,780,000	1,720,000
21	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収入	5,000,000	5,000,000	0
22	勤務医勤務環境改善体制整備事業収入	26,000,000	26,000,000	0
23	医療従事者確保強化事業収入	6,000,000	6,000,000	0
24	病院地域包括ケアシステム強化事業収入	4,200,000	4,200,000	0
25	地域連携型在宅医療支援病院事業収入	3,000,000	3,000,000	0
26	在宅療養あんしん病院事業収入	500,000	500,000	0
27	医療労務管理支援事業収入	13,472,998	13,472,998	0
28	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収入	50,000,000	146,543,760	△ 96,543,760
29	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収入	110,000,000	144,338,340	△ 34,338,340
30	情報セキュリティ向上対策事業収入	0	27,000,000	△ 27,000,000
31	⑤ 補助金等収入	(4,800,000)	(4,966,000)	(△ 166,000)
32	交付金収入	4,800,000	4,966,000	△ 166,000
33	⑥ 雑収入	(500,500)	(490,485)	(10,015)
34	受取利息収入	500	492	8
35	雑収入	500,000	489,993	10,007
36	事業活動収入計	392,409,498	555,742,042	△ 163,332,544
37	2. 事業活動支出			
38	① 事業費支出	(378,848,998)	(502,548,214)	(△ 123,699,216)
39	給与手当支出	20,000,000	7,020,459	12,979,541
40	法定福利費支出	8,000,000	8,077,457	△ 77,457
41	福利厚生費支出	100,000	90,508	9,492
42	会議費支出	3,000,000	719,779	2,280,221
43	旅費交通費支出	700,000	249,123	450,877
44	通信運搬費支出	700,000	818,527	△ 118,527
45	消耗品費支出	1,000,000	591,858	408,142

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差 異
46	印刷製本費支出	300,000	422,152	△ 122,152
47	慶弔費支出	300,000	78,000	222,000
48	図書資料費支出	900,000	638,094	261,906
49	私病報発行費支出	6,500,000	5,532,955	967,045
50	委員会事業費支出	800,000	371,321	428,679
51	部会・教育事業費支出	800,000	149,675	650,325
52	スポーツ・記念式典事業費支出	3,500,000	2,279,158	1,220,842
53	メディアワークセンター事業費支出	1,000,000	553,900	446,100
54	京都市介護認定調査事業費支出	30,000,000	33,233,050	△ 3,233,050
55	府民リハビリテーション啓発支援事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
56	離職看護師能力再開発事業費支出	1,000,000	1,012,388	△ 12,388
57	看護人材早期復職支援事業費支出	4,000,000	5,750,000	△ 1,750,000
58	病院認知症対応力向上事業費支出	4,584,000	4,584,000	0
59	京都市病院認知症対応力向上事業費支出	2,292,000	2,292,000	0
60	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費支出	9,700,000	9,700,000	0
61	医療従事者キャリア向上事業費支出	41,500,000	39,780,000	1,720,000
62	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
63	勤務医療勤務環境改善体制整備事業費支出	26,000,000	26,000,000	0
64	医療従事者確保強化事業費支出	6,000,000	6,000,000	0
65	病院地域包括ケアシステム強化事業費支出	4,200,000	4,200,000	0
66	地域連携型在宅医療支援病院事業費支出	3,000,000	3,000,000	0
67	在宅療養あんしん病院事業費支出	500,000	500,000	0
68	医療労務管理支援事業費支出	13,472,998	13,533,138	△ 60,140
69	京都市新型コロナワクチン集団接種事業費支出	50,000,000	141,769,008	△ 91,769,008
70	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業費支出	110,000,000	144,338,340	△ 34,338,340
71	情報セキュリティ向上対策事業費支出	0	27,000,000	△ 27,000,000
72	租 税 公 課 支 出	14,500,000	1,848,577	12,651,423
73	雑 支 出	500,000	414,747	85,253
74	② 管理費支出	(9,400,000)	(4,131,342)	(5,268,658)
75	給 与 手 当 支 出	2,800,000	332,514	2,467,486
76	法 定 福 利 費 支 出	500,000	254,894	245,106
77	福 利 厚 生 費 支 出	600,000	214,579	385,421
78	会 議 費 支 出	50,000	0	50,000
79	旅 費 交 通 費 支 出	50,000	0	50,000
80	通 信 運 搬 費 支 出	500,000	493,104	6,896
81	消 耗 品 費 支 出	50,000	0	50,000
82	修 繕 費 支 出	20,000	0	20,000
83	印 刷 製 本 費 支 出	80,000	0	80,000
84	慶 弔 費 支 出	50,000	0	50,000
85	図 書 資 料 費 支 出	600,000	516,995	83,005
86	賃 借 料 支 出	800,000	498,432	301,568
87	支 払 手 数 料 支 出	2,000,000	1,534,940	465,060
88	理 事 会 等 費 用 支 出	700,000	0	700,000
89	雑 支 出	600,000	285,884	314,116
90	事 業 活 動 支 出 計	388,248,998	506,679,556	△ 118,430,558
91	事 業 活 動 収 支 差 額	4,160,500	49,062,486	△ 44,901,986
92				

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差 異
93	Ⅱ 投資活動収支の部			
94	1. 投資活動収入			
95	① 敷金・保証金戻り収入	(1,641,360)	(0)	(1,641,360)
96	保証金戻り収入	1,641,360	0	1,641,360
97	投資活動収入計	1,641,360	0	1,641,360
98				
99	2. 投資活動支出			
100	① 特定資産取得支出	(4,500,000)	(4,405,397)	(94,603)
101	退職給付引当資産取得支出	2,500,000	2,405,397	94,603
102	創立記念事業積立資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
103	② 固定資産取得支出	(200,000)	(0)	(200,000)
104	什器備品購入支出	100,000	0	100,000
105	ソフトウェア購入支出	100,000	0	100,000
106	投資活動支出計	4,700,000	4,405,397	294,603
107	投資活動収支差額	△ 3,058,640	△ 4,405,397	1,346,757
108				
109	Ⅲ 予備費支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
110	予備費支出	1,000,000	0	1,000,000
111	当期収支差額	101,860	44,657,089	△ 44,555,229
112	前期繰越収支差額	393,305,665	393,305,665	0
113	次期繰越収支差額	393,407,525	437,962,754	△ 44,555,229

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収入金、前払金、仮払金、未払金、未払消費税等、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	282,097,904	310,773,988
未収会費	3,413,097	3,372,547
未収入金	161,611,777	148,989,275
前払金	181,028	283,400
仮払金	0	66,070
合 計	447,303,806	463,485,280
未払金	27,135,998	13,507,242
未払消費税等	21,279,000	6,761,000
前受金	800,330	1,651,910
預り金	4,782,813	3,602,374
合 計	53,998,141	25,522,526
次期繰越収支差額	393,305,665	437,962,754

謄 本

## 監 査 報 告 書

私たちは、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年事業年度における理事会の執行を監査するため、理事会に出席するほか、必要に応じて理事から事業の報告を聞き、重要な決裁書類を閲覧し、計算書類につき慎重に検討を加え、監査した結果次のとおり報告します。

### 記

- 1 貸借対照表及び正味財産増減計算書、並びに財産目録は、法令及び定款にしたがって、協会の財産及び収支の状況を正しく示していると認める。
- 2 事業報告書の内容は真実であると認める。
- 3 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実の有無については、指摘すべき事実はない。

以 上

令和5年4月25日

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎 殿

一般社団法人 京都私立病院協会

監事 大槻 秧司

監事 清水 紘

監事 津田 政典

(注) 上記は監査報告書に記載された事項を掲載したものであり、その原本は別途保管しております。

## 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会 公益目的支出計画実施報告について

### 令和4年度公益目的支出計画実施報告書

当協会は、平成25年4月1日に一般社団法人へ移行しましたが、行政庁に公益目的支出計画の実施の完了の確認を受けるまでの間、事業年度毎に移行法人として、公益目的支出計画の実施状況を明らかにする書類（以下「公益目的支出計画実施報告書」という。）を作成し、監事による監査を受け、理事会の承認を受けた後、総会において報告し、さらに6月末までに、総会で承認された貸借対照表、正味財産増減計算書（損益計算書）、事業報告及びこれらについての監事の監査報告並びに公益目的支出計画実施報告書についての監事の監査報告と併せて、行政庁に提出する必要があります。

令和4年度公益目的支出計画の実施状況について、以下のとおり報告いたします。

#### 【令和4年度公益目的支出計画実施報告書の内容】

1. 公益目的財産額：算定日 平成25年3月31日

公益目的財産額：147,180,562円

2. 当該年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3)) 145,355,002円

(1) 前年事業年度末日の公益目的収支差額 138,210,899円

(2) 公益目的支出の額 74,855,764円（計画 94,479,373円）

(3) 実施事業収入の額 67,711,661円（計画 88,690,537円）

3. 当該事業年度末日の公益目的財産額

1,825,560円（計画 20,334,299円）

4. 2. で記載した額が計画した見込み額（記載）と異なる場合、その概要及び理由

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を縮小し開催したことから実施事業収入が減少したため

#### 【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の実施期間 14年間（計画 14年間）

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日

令和9年3月31日（計画 令和9年3月31日）

謄 本

## 監 査 報 告 書

私たちは、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年事業年度における公益目的支出計画実施報告書に関し、理事会に出席するほか、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、慎重に検討を加え、監査した結果次のとおり報告します。

### 記

- 1 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以 上

令和5年4月25日

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎 殿

一般社団法人 京都私立病院協会

監事 大槻 秧司

監事 清水 紘

監事 津田 政典

(注) 上記は監査報告書に記載された事項を掲載したものであり、その原本は別途保管しております。

## 第2号議案

# 一般社団法人京都私立病院協会定款の変更に関し承認を求める件

## 一般社団法人 京都私立病院協会定款（案）

### 第1章 総 則

（名 称）

第1条 この法人は、一般社団法人京都私立病院協会と称する。

（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を京都府京都市に置く。

### 第2章 目的及び事業

（目 的）

第3条 この法人は、京都府内における「私立病院等（私立病院及び私立介護老人保健施設、私立介護療養型老人保健施設、私立介護医療院をいう。以下同じ。）」の一致協力によって、私立病院等の質の向上並びに組織の充実・発展をはかり、地域社会における保健・医療・介護・福祉の増進に寄与することを目的とする。

（事 業）

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- （1）私立病院等の質の向上並びに地域社会活動に関する事業
- （2）私立病院等の社会保障制度、医療・介護制度、税制  
その他関係諸法規等の調査・研究、要望・提言に関する事業
- （3）私立病院等の医療従事者等の教育研修、福利厚生及び表彰に関する事業
- （4）病院等相互並びに行政及び関係機関等との連携協調に関する事業
- （5）私立病院等の渉外、広報及び情報活動に関する事業
- （6）私立病院等の医療従事者等の確保に関する事業
- （7）私立病院等の労務管理並びに健全経営に関する事業
- （8）その他この法人の目的の達成のために必要な事業

### 第3章 会 員

(構成)

第5条 この法人は、正会員及び特別会員で構成する。(以下、会員と呼ぶ。)

- (1) 正会員 京都府内に存在し、本会の目的に賛同して入会した病院並びに介護老人保健施設及び介護療養型老人保健施設、介護医療院の代表者
  - (2) 特別会員 京都府内に存在し、本会の目的に賛同する(1)の会員に該当しないその他の医療施設及び医療・介護関連施設の代表者
2. 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。
  3. 第1項の(1)の代表者とは開設者又は管理者をいう。

(入会)

第6条 会員として入会しようとする者は、入会申込書を会長に提出し、役員会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第7条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員は、総会において別に定める入会金及び会費を支払う義務を負う。

(任意退会)

第8条 会員は、退会届を提出し、任意に退会することができる。

(除名)

第9条 会員が、次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- 一 この定款その他の規則に違反したとき
  - 二 この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき
  - 三 その他除名すべき正当な事由があるとき
2. 前項の規定により会員を除名しようとするときは、当該総会の日の1週間前までに当該会員に通知し、かつ総会で弁明の機会を与えなければならない。
  3. 会長は、会員を除名したときは、除名した会員に対しその旨を通知しなければならない。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 正当な理由なくして、会費を2年間以上滞納したとき。

- (2) 総正会員が同意したとき。
- (3) 会員が代表者たる医療施設及び医療・介護関連施設が廃止されたとき。

(抛出金品の不返還)

第11条 退会し、資格喪失又は除名された会員及び特別会員が既に納入した会費、その他抛出金品は返還しない。

## 第4章 総 会

(構成)

第12条 総会は、会員をもって構成する。

- 2. 特別会員は本会の事業に参加することができる。但し、総会において意見を述べることができるが、議決に加わることはできない。
- 3. 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- 一 入会の基準並びに入会金及び会費の額
- 二 会員の除名
- 三 理事及び監事（以下「役員」という）の選任又は解任
- 四 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- 五 定款の変更
- 六 解散及び残余財産の処分
- 七 その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、臨時総会として必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。ただし、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、あらかじめ理事会において指定した副会長が招集する。

- 2. 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対して、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議 長)

第16条 総会の議長は、当該総会において出席している正会員のなかから選出する。

(決 議)

第17条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。

2. 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

一 会員の除名

二 監事の解任

三 定款の変更

四 解散

五 その他法令で定められた事項

3. 総会に出席できない正会員は、委任状もしくはその他の代理権を証明する書面を会長に提出、または代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては前2項の規定の適用については総会に出席したものとみなす。

(決議の省略)

第18条 理事又は正会員が総会の目的である事項につき提案した場合において、当該提案につき正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第19条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2. 議事録は議長、会長及び出席した正会員又は理事の中から、その総会において選出された議事録署名人2人が署名しなければならない。

## 第5章 役 員

(役員の設定)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

一 理事 8名以上25名以内

二 監事 4名以内

2. 理事のうち1名を会長とし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

3. 会長以外の理事の中から副会長を選任する。

(役員を選任)

第21条 理事は、正会員並びに正会員の施設及び本会事務局に所属する者の中から総会の決議によって選任する。

2. 監事は、会員並びに会員の施設に所属する者の中から総会の決議によって選任する。ただし、監事のうち2名以内は会員及び会員の施設に所属する者以外の者から選任することができる。
3. 会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。この場合において理事会は、総会の決議により会長及び副会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。
4. 監事はこの法人の理事又は職員を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

第22条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2. 理事は、役員会を構成し、本会の日常会務に関する事項を審議又は協議する。
3. 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、副会長は会長を補佐する。
4. 会長は毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第23条 監事は、理事の職務の執行の状況を監査し、法令に定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結のときまでとする。

2. 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結のときまでとする。
3. 前2項の規定にかかわらず、任期の満了前に退任した理事、監事の補欠として選任された理事、監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
4. 理事及び監事については、再任を妨げない。
5. 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第25条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第26条 理事及び監事は、無報酬とする。

2. 前項の規定にかかわらず、理事及び監事にはその職務を行うために要する費用を弁償することができる。

(役員損害賠償責任の免除)

第27条 この法人は、理事及び監事の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第111条第1項の賠償責任について、法令の限度において理事会の決議によって免除することができる。

## 第6章 理事会等

(理事会の構成)

第28条 この法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。
3. 監事は、理事会に出席して意見を述べることができる。

(理事会の権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- 一 この法人の業務執行の決定
- 二 理事の職務の執行の監督
- 三 会長及び副会長の選定及び解職
- 四 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定

(理事会の招集)

第30条 理事会は、会長が招集する。

2. 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、あらかじめ理事会において指定された副会長が理事会を招集する。

(理事会の決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2. 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、理事の全員が当該提案について書面により同意の意思表示をしたときは、その提案を可

決する理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事はその提案に異議を述べたときはこの限りでない。

3. 理事又は監事が、理事又は監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ報告することを要しない。
4. 前項の規定は、第22条第4項に規定する報告について適用しない。

(理事会の議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2. 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

(役員会の構成)

第33条 この法人に役員会を置く。

2. 役員会は、すべての理事、監事をもって構成する。

(役員会の権限)

第34条 役員会は、次の会務の事項を審議又は協議する。

- 一 入会者の選考・退会者の確認
- 二 各委員会等が提案する事項又は報告
- 三 日常会務の運営

(役員会の招集)

第35条 役員会は、会長が招集する。

2. 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、あらかじめ役員会において指定された副会長が幹事会を招集する。

(役員会の決議)

第36条 役員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

監事は、役員会に出席し意見を述べることができるが、役員会の決議に加わることはできない。

## 第7章 名誉会長及び顧問

(名誉会長)

第37条 この法人に、名誉会長をおくことができる。

2. 名誉会長は、会長の諮問に応じ、会議に出席し、意見を述べることができる。

ただし、理事会及び役員会の決議に加わることはできない。

3. 名誉会長は、多年会長の職にあつて、本会に顕著な功労のあつた者を理事会の決議によって選任する。
4. 名誉会長の任期は理事及び監事の任期と同様とする。
5. 名誉会長は無報酬とする。

(顧問)

第38条 この法人に顧問を若干名おくことができる。

2. 顧問は、本会に対し、功労のあつた者を理事会の決議によって選任する。
3. 顧問の任期は理事及び監事の任期と同様とする。
4. 顧問は本会の重要な事項について、会長の諮問に応じ、会議に出席し、意見を述べることができる。ただし、理事会及び役員会の決議に加わることはできない。
5. 顧問は無報酬とする。

## 第8章 委員会

第39条 この法人の円滑な運営を図るため、役員会の決議により委員会を設置することができる。

2. 委員会の委員は、役員会において承認し、会長が委嘱する。
3. 委員会の任務、構成及び運営に関する必要な事項は、役員会の決議によるものとする。
4. 委員は無報酬とする。

## 第9章 財産及び会計

(事業年度)

第40条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第41条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

2. 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

第42条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- 一 事業報告

- 二 事業報告の附属明細書
  - 三 公益目的支出計画実施報告書
  - 四 貸借対照表
  - 五 損益計算書（正味財産増減計算書）
  - 六 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
2. 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第5号の書類については、定時総会に提出し、第1号及び第3号の書類についてはその内容を報告し、第4号及び第5号の書類については承認を受けなければならない。
3. 第1号の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款、会員名簿を事務所に備え置くものとする。

## 第10章 定款の変更及び解散

（定款の変更）

第43条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

（解散）

第44条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

（剰余金の処分制限）

第45条 この法人は、剰余金の分配をすることはできない。

（残余財産の帰属）

第46条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第11章 公 告

第47条 この法人の公告は、電子公告により行う。

## 第12章 事務局その他

（事務局）

第48条 この法人に事務局を置き、職員の任免は会長が行う。

ただし、事務局長などの重要な職員は理事会の承認を得て会長が任免を行う。

2. 事務局の組織、内部管理に必要な規則その他については、役員会が定める。

(委 任)

第49条 この定款に定めるもののほか、この定款の施行について必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が定める。

## 附 則

1. この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
2. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、一般法人の設立の登記を行ったときは、第5条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
3. この法人の最初の会長は、真鍋克次郎とする。
4. この定款の変更は、2018年5月23日から施行する。
5. この定款の変更は、2023年5月24日から施行する。

一般社団法人京都私立病院協会  
第6期役員を選出に関し承認を求める件

(任期：令和5年5月24日～令和7年5月定時総会終結時)

(案)

理事	赤木博	(なごみの里病院)
	明石純	(明石病院)
	石丸庸介	(京都田辺中央病院)
	市場真澄	(いわくら病院)
	海藻達	(京都回生病院)
	河端博也	(河端病院)
	久野成人	(京都久野病院)
	児玉直俊	(京都近衛リハビリテーション病院)
	小森直之	(なぎ辻病院)
	清水鴻一郎	(京都リハビリテーション病院)
	清水聡	(新京都市南病院)
	清水史記	(シミズ病院)
	清水幹久	(脳神経リハビリ北大路病院)
	武田隆久	(医仁会武田総合病院)
	武田敏也	(京都武田病院)
	富田哲也	(富田病院)
	仲田昌司	(三菱京都病院)
	畑典男	(長岡病院)
	藤澤明生	(賀茂病院)
	富士原正人	(京都ルネス病院)
	真鍋由美	(八幡中央病院)
	矢野裕典	(洛和会音羽病院)
監事	清水紘	(嵯峨野病院)
	近藤泰正	(堀川病院)
	津田政典	(京都成蹊法律事務所)

一般社団法人京都私立病院協会  
第6期会長及び副会長候補者の選出に関し承認を求める件

(任期：令和5年5月24日～令和7年5月定時総会終結時)

(案)

会長 清水 鴻一郎 (京都リハビリテーション病院)  
(代表理事)

副会長 石丸 庸介 (京都田辺中央病院)

久野 成人 (京都久野病院)

小森 直之 (なぎ辻病院)

武田 隆久 (医仁会武田総合病院)

富田 哲也 (富田病院)

藤澤 明生 (賀茂病院)

富士原 正人 (京都ルネス病院)

真鍋 由美 (八幡中央病院)

## 令和5年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について

### 令和5年度事業計画の重点

京都私立病院協会の目的は、会員病院と会員施設（以下、会員という）の発展及び質的向上にある。私立病院の地域医療・介護に果たす役割は大きく、会員の社会資本としての安定と充実が不可欠であるが、現在存続の危機に瀕している。

京都私立病院協会は、あらゆる機会をとらえて、地域医療の中心的な役割を担う私立病院等の重要性を発信し、会員の向上・発展のために全力を挙げて活動する。会としての力を高めるため、会員間の交流と相互理解に努め、会員の結集を図る。以上を本年度の協会活動の基本とする。

- 1 高齢社会を迎えて持続可能な医療・介護提供体制の維持と地域医療・介護の充実のために他の医療・看護・介護関係団体と協力し、府民の健康増進に寄与する。
- 2 会員が、その公共性に鑑み変化する社会の要望に対応して、医療の質及び病院機能の向上、倫理の高揚に努めることができるように適切な情報及び研修機会等を提供する。
- 3 京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の実現に向け、行政ならびに他の医療団体と連携し、府内の医療提供体制と介護サービス提供体制の確立にむけ、積極的に提言をおこなう。
- 4 医師・医療従事者の働き方改革を推進する観点から、勤務環境改善に資する適切な情報を発信するとともに、研修会等を通じて会員各施設での実践に繋がるよう継続的な活動をおこなう。
- 5 医療の安全管理、危機管理や防災管理等についての対策を更に推進する。
- 6 医療保険制度及び介護保険制度について検討をおこなうとともに、会員の立場に立って提言する。
- 7 診療報酬に対する事業税の非課税化と消費税にまつわる不適切な税制度の改正を粘り強く求めていく。
- 8 人と地球にやさしい環境への取り組みを継続する。
- 9 新型コロナウイルス感染症について、行政並びに各種団体と連携を図りながら対応を協議するとともに、会員への迅速な情報提供をおこなう。
- 10 創立60周年記念事業の実施に向け、検討をおこなう。

### <総務部>

- 1 日常業務の充実と会員への積極的働きかけ
  - 1) 職種・職務別組織活動、地区別組織活動を活性化させ、会員相互の連携と組織の体質強化を図る。
    - (1) 職種・職務別組織
      - ①理事長・院長会 ②事務長会 ③看護部長会 ④薬剤師部会 ⑤放射線技師部会
      - ⑥栄養士部会 ⑦臨床検査部会 ⑧リハビリテーション部会 ⑨臨床工学技士部会

(2) 職種・職務別組織の連携

職種・職務別組織の連携を強化するため、部会連携会議を開催し、各部会の活動の活性化を図るとともに、働き方改革の実行に向け、各職種間の連携についても検討をおこなう。

(3) 地区別組織

①北部地区 ②京都市域 ③南部地区

(4) その他関係職種別部会の設置について、必要に応じて検討する。

2) 会員に必要な情報の迅速な収集・分析・提供に努め、加えて広報活動を充実させる。

(1) 協会ホームページの充実

(2) ICTを活用し、行政からの通知その他会員の経営・運営に資する情報等の迅速な情報提供に努める。

3) 医療・介護従事者の確保と養成に努める。

(1) 京都保健衛生専門学校と京都中央看護保健大学の充実を図り、保健師・看護師、臨床検査技師、臨床工学技士の養成に力を注ぐ。

(2) 無料職業紹介メデイワークセンターへの求人・求職登録を推進し、会員の医療従事者の確保・充実に寄与する。

4) 関係事業所との連携を密にし、それぞれの事業の発展に寄与する。

- ・京都保健衛生専門学校
- ・京都府病院協同組合
- ・京都府病院企業年金基金
- ・京都中央看護保健大学校

2 医療制度問題への取り組み

医療を取り巻く情勢を的確に把握・分析し、医療のあるべき姿を追求する。

3 対外活動の推進

1) 京都における医療・看護・介護関係団体との連携強化を図る。

2) 近畿病院団体連合会の充実・発展に寄与する。

3) 中央における病院団体等との連携を深める。また全日本病院協会ならびに日本医療法人協会の京都府支部の運営をおこない、さらなる連携強化を図る。

4) 協会活動について行政やメディアをはじめ、広く社会・地域へ発信し、医療の実情の理解を得るよう努め、私立病院の果たしている機能と役割の周知を図る。

## <保険部>

1 医療保険

1) 社会保険の諸基準の取得や維持にむけて、会員への積極的な助言・指導、医療関係団体との調整をおこなう。

2) 令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けての情報収集をおこない、対策を講じる。

3) 診療報酬委員会を開催し、良質な医療および療養環境整備のため、診療報酬への適切な対応と改善を求める。

4) 京都における医療保険制度全般について、積極的に提言をおこなう。

## 2 介護保険

- 1) 介護保険の諸基準の取得や維持にむけて、会員への積極的な助言・指導、介護・福祉関係団体との調整をおこなう。
- 2) 令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けての情報収集をおこない、対策を講じる。
- 3) 京都における高齢者の保健・福祉について、積極的に提言をおこなう。
- 4) 会員施設における介護サービス「第三者評価」の受診を推進するとともに介護サービス「第三者評価」の評価調査者の養成と派遣をおこない、調査の質の向上に取り組む。
- 5) 介護保険委員会を開催し、京都府および京都市と連携を図りながら、介護保険制度上の問題解決を図る。また、ケアマネジャーなど介護保険に関わる職種の質の向上を図る。

## <地域医療部>

### 1 医師・看護師等をはじめとする医療従事者確保・定着の推進

- 1) 医師・看護師等医療従事者不足による地域医療の崩壊を防ぐための要望や提言をおこなう。
- 2) 医師臨床研修制度ならびに専門医制度の問題点に対して要望や提言をおこなう。
- 3) 京都市より受託した離職看護師の復職支援に関する事業の推進に取り組む。
- 4) 京都府から受託した看護人材早期復職支援事業に取り組み、京都府内の看護師の潜在化の防止ならびに潜在看護師の就業促進を図る。
- 5) 京都府地域医療支援センター運営会議に参画し、府内の医師確保に取り組む。
- 6) 京都府から受託した京都府医療勤務環境改善支援センターの運営業務として、会員施設の自主的な勤務環境改善の取り組みを支援することにより、医療現場における働き方改革を推進するとともに、医療従事者の健康増進を図る。
- 7) 勤務医の労働管理体制が十分に整っていない医療機関に対し、勤務医の勤務環境改善体制整備事業に取り組み、設備整備の支援をおこなうことにより適切な労働管理の促進を図る。
- 8) 医療従事者勤務環境改善体制整備事業に取り組み、医師事務作業補助者の養成をおこない、医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質の向上を図る。
- 9) 医療従事者確保強化事業に取り組み、病院で不足している薬剤師の復職支援並びに看護補助者の就業支援を強化し、医療従事者の確保・定着を図る。
- 10) 京都労働局から受託した医療労務管理支援事業の運営をおこない、勤務環境改善に係る取り組みをおこなう医療機関に対し労務管理全般にわたり支援する。

### 2 救急医療並びに休日時間外診療体制の推進

- 1) 二次病院群輪番体制の確保事業の推進に協力する。
- 2) 小児救急医療施設の役割分担と連携を推進する。
- 3) 救急病院の質的向上を目指し、病院前救護体制と病院との連携を図る。
- 4) 精神科救急医療の確立にむけて要望ならびに提言をおこなう。
- 5) 認知症患者の救急搬送について検討するとともに、対応力を強化し、診療報酬等での適切な対応を求める。

- 6) 交通事故医療費の請求及び支払いの適正な運用を図る。
- 3 医療・介護サービスの提供体制の推進

京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）に関して検討し、府内の医療・介護提供体制の確立に向け対策を講じる。

またすべての医療従事者が、京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の理解を深め、将来の医療提供体制の充実に寄与する医療従事者キャリア向上事業を実施する。
- 4 感染症対策の推進
  - 1) 感染症対策委員会において、新型コロナウイルス感染症をはじめ感染防止対策ならびに褥瘡ケア・予防対策を検討し、会員に情報を提供する。
  - 2) 新型コロナウイルス感染症の医療提供体制について、行政と連携を図りながら対応する。
- 5 安全対策の推進

医療安全対策委員会において、医療事故防止と医療安全について積極的に啓発をおこなうとともに大規模災害対策について検討し、要望ならびに提言をおこなう。
- 6 京都式地域包括ケアシステムの推進
  - 1) 京都における地域包括ケア体制の確保に向け、在宅療養あんしん病院登録システムの推進に協力し、各種関係団体と連携をとりながら体制の充実を図る。
  - 2) 府民リハビリテーション啓発支援事業に取り組み、リハビリテーション不足地域の高齢者に対し身体機能維持のための運動機能訓練等の啓発をおこなう。
  - 3) 病院認知症対応力向上事業に取り組み、病院の全職員の認知症対応力向上を図るとともに、地域との連携を強化するための研修等をおこなう。
  - 4) 病院地域包括ケアシステム強化事業に取り組み、幅広い視点で地域包括ケアシステムを担うことのできる職員を育成し、多職種・他施設等との連携強化により、医療・介護連携体制の更なる構築を図る。
  - 5) 地域連携型在宅医療支援病院事業に取り組み、地域の各種団体と連携を図り、在宅医療人材の育成及び拠点整備等をおこなう病院を支援する。

## ＜学術研修部＞

- 1 京都病院学会の開催

第58回京都病院学会において、病院に勤務する全職員があらゆる病院機能との連携が可能となるよう必要な知識やスキルを共有し、あわせて会員病院全職種の研究成果を発表する場としてより一層の充実を図る。
- 2 教育研修の充実
  - 1) 新入職員を対象とした教育研修基礎コースを開催する。
  - 2) 看護師の卒後研修の充実を図り、看護職員の質の向上に努める。
  - 3) 看護補助者・介護職員の教育研修をおこなう。
  - 4) 薬剤・放射線・栄養・臨床検査・リハビリ・臨床工学・医療事務等を対象とした教育研修をお

こない、優秀な職員の育成に努める。

5) 保健医療管理者養成講座の更なる充実を図る。

## <経営管理部>

### 1 病院経営に関する取り組み

- 1) 民間病院に対する国庫並びに京都府等の補助制度の周知と活用を推進し、医療政策推進に寄与する。
- 2) 「京都府救急告示等運転資金融資斡旋制度」の運用にあたり、条件の整備に取り組む。
- 3) 新型コロナウイルス感染症関連の医療機関向け補助制度、支援制度について会員向けの情報を収集・周知し、活用を促す。

### 2 病院管理に関する取り組み

- 1) 環境問題委員会において、地球環境問題を認識し、会員の社会的役割の向上に努め、環境の保全にむけて積極的に取り組む。また節電及び省エネ問題について行政ならびに関係諸団体と協力体制のもと、積極的に対応する。
- 2) 病院機能向上委員会において、会員病院の質的向上を目指し、日本医療機能評価機構等の第三者評価の受審や施設基準の取得を支援する。

### 3 病院セキュリティ対策の強化に関する取り組み

サイバー攻撃による病院の被害発生を防ぐとともにセキュリティ対策を強化するため、情報セキュリティ向上対策事業に取り組む、サイバー犯罪への対処能力の向上を図る。

### 4 税制問題への取り組み

- 1) 医療機関における消費税非課税制度の適正化にむけ、引き続き要望や提言をおこなう。
- 2) 医療機関における事業税の特例措置（都道府県税）の存続について要望や提言をおこなう。
- 3) 法人税、相続税等の税問題について研究し、改善を求める。

### 5 禁煙推進への取り組み

禁煙を推進している団体と連携し、健康増進に努める。

## <厚生部>

### 1 機関誌「京都私立病院報」の発行

### 2 会員間の交流と親睦を深める事業の実施

- 1) 第59回病院対抗野球大会を開催する。
- 2) 第43回病院対抗女子バレーボール大会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、可能であれば開催する。
- 3) 第15回病院対抗フットサル大会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、可能であれば開催する。
- 4) 第10回会員親睦ゴルフコンペを開催する。
- 5) 病院職員に対する福利厚生事業の検討をおこなう。

第4号報告

令和5年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに  
正味財産増減予算書について

収 支 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	差 異
1	I. 事業活動収支の部			
2	1. 事業活動収入			
3	① 特定資産運用収入	(10,000)	(10,000)	(0)
4	特定資産利息収入	10,000	10,000	0
5	② 入金収入	(0)	(0)	(0)
6	入金収入	0	0	0
7	③ 会費収入	(58,000,000)	(57,000,000)	(1,000,000)
8	会費収入	58,000,000	57,000,000	1,000,000
9	④ 事業収入	(215,542,208)	(330,098,998)	(12,443,210)
10	参加事業収入	10,000,000	4,500,000	5,500,000
11	広告事業収入	10,000,000	9,000,000	1,000,000
12	その他事業収入	850,000	850,000	0
13	京都市介護認定調査事業収入	32,000,000	30,000,000	2,000,000
14	府民リハビリテーション啓発支援事業収入	5,000,000	5,000,000	0
15	離職看護師能力再開発事業収入	0	500,000	△ 500,000
16	看護人材早期復職支援事業収入	6,750,000	4,000,000	2,750,000
17	病院認知症対応力向上事業収入	4,584,000	4,584,000	0
18	京都市病院認知症対応力向上事業収入	2,292,000	2,292,000	0
19	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収入	9,700,000	9,700,000	0
20	医療従事者キャリア向上事業収入	41,500,000	41,500,000	0
21	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収入	5,000,000	5,000,000	0
22	勤務医勤務環境改善体制整備事業収入	26,000,000	26,000,000	0
23	医療従事者確保強化事業収入	6,000,000	6,000,000	0
24	病院地域包括ケアシステム強化事業収入	4,200,000	4,200,000	0
25	地域連携型在宅医療支援病院事業収入	3,000,000	3,000,000	0
26	在宅療養あんしん病院事業収入	500,000	500,000	0
27	医療労務管理支援事業収入	15,166,208	13,472,998	1,693,210
28	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収入	30,000,000	50,000,000	△ 20,000,000
29	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収入	0	110,000,000	△ 110,000,000
30	情報セキュリティ向上対策事業収入	3,000,000	0	3,000,000
31	⑤ 補助金等収入	(5,300,000)	(4,800,000)	(500,000)
32	交付金収入	5,300,000	4,800,000	500,000
33	⑥ 雑収入	(550,500)	(500,500)	(50,000)
34	受取利息収入	500	500	0
35	雑収入	550,000	500,000	50,000
36	事業活動収入計	279,402,708	392,409,498	△ 113,006,790
37				
38	2. 事業活動支出			
39	① 事業費支出	(257,936,000)	(378,848,998)	(△ 120,912,998)
40	給与手当支出	20,000,000	20,000,000	0

(単位：円)

行No	科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	差 異
41	法定福利費支出	12,000,000	8,000,000	4,000,000
42	福利厚生費支出	100,000	100,000	0
43	会議費支出	3,000,000	3,000,000	0
44	旅費交通費支出	700,000	700,000	0
45	通信運搬費支出	900,000	700,000	200,000
46	消耗品費支出	1,000,000	1,000,000	0
47	印刷製本費支出	500,000	300,000	200,000
48	慶弔費支出	300,000	300,000	0
49	図書資料費支出	900,000	900,000	0
50	私病報発行費支出	6,500,000	6,500,000	0
51	委員会事業費支出	800,000	800,000	0
52	部会・教育事業費支出	1,000,000	800,000	200,000
53	スポーツ・記念式典事業費支出	8,000,000	3,500,000	4,500,000
54	メディアワークセンター事業費支出	1,000,000	1,000,000	0
55	京都市介護認定調査事業費支出	32,000,000	30,000,000	2,000,000
56	府民リハビリテーション啓発支援事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
57	離職看護師能力再開発事業費支出	0	1,000,000	△ 1,000,000
58	看護人材早期復職支援事業費支出	6,750,000	4,000,000	2,750,000
59	病院認知症対応力向上事業費支出	4,584,000	4,584,000	0
60	京都市病院認知症対応力向上事業費支出	2,292,000	2,292,000	0
61	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費支出	9,700,000	9,700,000	0
62	医療従事者キャリア向上事業費支出	41,500,000	41,500,000	0
63	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
64	勤務医勤務環境改善体制整備事業費支出	26,000,000	26,000,000	0
65	医療従事者確保強化事業費支出	6,000,000	6,000,000	0
66	病院地域包括ケアシステム強化事業費支出	4,200,000	4,200,000	0
67	地域連携型在宅医療支援病院事業費支出	3,000,000	3,000,000	0
68	在宅療養あんしん病院事業費支出	500,000	500,000	0
69	医療労務管理支援事業費支出	15,210,000	13,472,998	1,737,002
70	京都市新型コロナワクチン集団接種事業費支出	30,000,000	50,000,000	△ 20,000,000
71	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業費支出	0	110,000,000	△ 110,000,000
72	情報セキュリティ向上対策事業費支出	3,000,000	0	3,000,000
73	租 税 公 課 支 出	6,000,000	14,500,000	△ 8,500,000
74	雑 支 出	500,000	500,000	0
75	② 管理費支出	(10,300,000)	(9,400,000)	(900,000)
76	給 与 手 当 支 出	3,000,000	2,800,000	200,000
77	法定福利費支出	500,000	500,000	0
78	福利厚生費支出	600,000	600,000	0
79	会議費支出	50,000	50,000	0
80	旅費交通費支出	50,000	50,000	0
81	通信運搬費支出	600,000	500,000	100,000
82	消耗品費支出	50,000	50,000	0
83	修繕費支出	20,000	20,000	0
84	印刷製本費支出	80,000	80,000	0
85	慶弔費支出	50,000	50,000	0
86	図書資料費支出	600,000	600,000	0
87	賃借料支出	800,000	800,000	0

(単位：円)

行No	科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	差 異
88	支払手数料支出	2,000,000	2,000,000	0
89	理事会等費用支出	1,500,000	700,000	800,000
90	雑 支 出	400,000	600,000	△ 200,000
91	事業活動支出計	268,236,000	388,248,998	△ 120,012,998
92	事業活動収支差額	11,166,708	4,160,500	7,006,208
93				
94	II. 投資活動収支の部			
95	1. 投資活動収入			
96	① 敷金・保証金戻り収入	(0)	(1,641,360)	(△ 1,641,360)
97	保証金戻り収入	0	1,641,360	△ 1,641,360
98	投資活動収入計	0	1,641,360	△ 1,641,360
99				
100	2. 投資活動支出			
101	① 特定資産取得支出	(5,250,000)	(4,500,000)	(750,000)
102	退職給付引当資産取得支出	3,250,000	2,500,000	750,000
103	創立記念事業積立資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
104	② 固定資産取得支出	(200,000)	(200,000)	(0)
105	什器備品購入支出	100,000	100,000	0
106	ソフトウェア購入支出	100,000	100,000	0
107	投資活動支出計	5,450,000	4,700,000	750,000
108	投資活動収支差額	△ 5,450,000	△ 3,058,640	△ 2,391,360
109				
110	III. 予備費支出	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
111	予 備 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0
112	当期収支差額	4,716,708	101,860	4,614,848
113	前期繰越収支差額	437,962,754	393,305,665	44,657,089
114	次期繰越収支差額	442,679,462	393,407,525	49,271,937

## 正味財産増減予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

行No.	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
1	I 一般正味財産増減の部				
2	1. 経常増減の部				
3	(1) 経常収益				
4	① 特定資産運用益			(10,000)	(10,000)
5	特定資産受取利息			10,000	10,000
6	② 受取入会金		(0)		(0)
7	入会金収益		0		0
8	③ 受取会費		(11,600,000)	(46,400,000)	(58,000,000)
9	会費収益		11,600,000	46,400,000	58,000,000
10	④ 事業収益	(68,612,500)	(139,629,708)	(7,300,000)	(215,542,208)
11	参加事業収益	7,000,000	3,000,000		10,000,000
12	広告事業収益		2,700,000	7,300,000	10,000,000
13	その他事業収益	212,500	637,500		850,000
14	京都市介護認定調査事業収益		32,000,000		32,000,000
15	府民リハビリテーション啓発支援事業収益		5,000,000		5,000,000
16	看護人材早期復職支援事業収益		6,750,000		6,750,000
17	病院認知症対応力向上事業収益		4,584,000		4,584,000
18	京都市病院認知症対応力向上事業収益		2,292,000		2,292,000
19	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000			9,700,000
20	医療従事者キャリア向上事業収益	41,500,000			41,500,000
21	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		5,000,000		5,000,000
22	勤務医勤務環境改善体制整備事業収益		26,000,000		26,000,000
23	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000			6,000,000
24	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000			4,200,000
25	地域連携型在宅医療支援病院事業収益		3,000,000		3,000,000
26	在宅療養あんしん病院事業収益		500,000		500,000
27	医療労務管理支援事業収益		15,166,208		15,166,208
28	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益		30,000,000		30,000,000
29	情報セキュリティ向上対策事業収益		3,000,000		3,000,000
30	⑤ 受取補助金等	(4,770,000)	(530,000)		(5,300,000)
31	受取交付金	4,770,000	530,000		5,300,000
32	⑥ 雑収益		(550,500)		(550,500)
33	受取利息		500		500
34	雑収益		550,000		550,000
35	経常収益計	73,382,500	152,310,208	53,710,000	279,402,708
36					
37	(2) 経常費用				
38	① 事業費	(92,619,400)	(173,582,600)		(266,202,000)
39	給与手当	8,000,000	12,000,000		20,000,000
40	法定福利費	4,800,000	7,200,000		12,000,000
41	福利厚生費	23,000	77,000		100,000
42	賞与引当金繰入額	2,000,000	3,000,000		5,000,000

(単位：円)

行No	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
43	退職給付費	1,300,000	1,950,000		3,250,000
44	会議費	1,200,000	1,800,000		3,000,000
45	旅費交通費	280,000	420,000		700,000
46	通信運搬費	360,000	540,000		900,000
47	消耗品費	400,000	600,000		1,000,000
48	印刷製本費	200,000	300,000		500,000
49	減価償却費	6,400	9,600		16,000
50	慶弔費		300,000		300,000
51	図書資料費	540,000	360,000		900,000
52	私病報発行費	6,500,000			6,500,000
53	委員会事業費	360,000	440,000		800,000
54	部会・教育事業費	1,000,000			1,000,000
55	スポーツ・記念式典事業費		8,000,000		8,000,000
56	メデイワークセンター事業費	1,000,000			1,000,000
57	京都市介護認定調査事業費		32,000,000		32,000,000
58	府民リハビリテーション啓発支援事業費		5,000,000		5,000,000
59	看護人材早期復職支援事業費		6,750,000		6,750,000
60	病院認知症対応力向上事業費		4,584,000		4,584,000
61	京都市病院認知症対応力向上事業費		2,292,000		2,292,000
62	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費	9,700,000			9,700,000
63	医療従事者キャリア向上事業費	41,500,000			41,500,000
64	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費		5,000,000		5,000,000
65	勤務医療勤務環境改善体制整備事業費		26,000,000		26,000,000
66	医療従事者確保強化事業費	6,000,000			6,000,000
67	病院地域包括ケアシステム強化事業費	4,200,000			4,200,000
68	地域連携型在宅医療支援病院事業費		3,000,000		3,000,000
69	在宅療養あんしん病院事業費		500,000		500,000
70	医療労務管理支援事業費		15,210,000		15,210,000
71	京都市新型コロナワクチン集団接種事業費		30,000,000		30,000,000
72	情報セキュリティ向上対策事業費		3,000,000		3,000,000
73	租 税 公 課	3,000,000	3,000,000		6,000,000
74	雑 費	250,000	250,000		500,000
75	② 管理費			(10,304,000)	(10,304,000)
76	給 与 手 当			3,000,000	3,000,000
77	法定福利費			500,000	500,000
78	福利厚生費			600,000	600,000
79	会議費			50,000	50,000
80	旅費交通費			50,000	50,000
81	通信運搬費			600,000	600,000
82	消耗品費			50,000	50,000
83	修繕費			20,000	20,000
84	印刷製本費			80,000	80,000
85	減価償却費			4,000	4,000
86	慶弔費			50,000	50,000
87	図書資料費			600,000	600,000
88	賃 借 費			800,000	800,000

(単位：円)

行No	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
89	支 払 手 数 料 費			2,000,000	2,000,000
90	理 事 会 等 費			1,500,000	1,500,000
91	雑 費			400,000	400,000
92	経 常 費 用 計	92,619,400	173,582,600	10,304,000	276,506,000
93	当 期 経 常 増 減 額	△ 19,236,900	△ 21,272,392	43,406,000	2,896,708
94					
95	2. 経常外増減の部				
96	(1) 経常外費用				
97	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 19,236,900	△ 21,272,392	43,406,000	2,896,708
98	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 19,236,900	△ 21,272,392	43,406,000	2,896,708
99					
100	II 正味財産期末残高	△ 19,236,900	△ 21,272,392	43,406,000	2,896,708

## 京都私立病院報

2023(令和5)年5月24日発行 No.739 - 臨

---

発行所 一般社団法人 京都私立病院協会  
京都市下京区烏丸通四条下ル  
水銀屋町 620 番地 COCON 烏丸 8 階  
TEL (075) 354-8838

発行人 清水鴻一郎

印刷所 ㈱ティ・プラス TEL (075) 462-7889

---